

元老院會議筆記明治二十年五月六日

禁傍聽

○第五百四十一號議案取引所第二讀會五月五日

議長大木喬任

出席議員

一番	箕作麟祥
二番	尾崎三良
七番	大迫貞清
九番	津田出
十一番	渡邊驥
十二番	中村弘毅
十三番	加藤弘之

十五番	小畑 美稻
十六番	伊集院兼寛
十七番	坂本 政均
十八番	榎村 正直
十九番	長谷部辰連
二十番	東久世通禱
二十一番	神山 郡廉
二十二番	西 周
二十五番	綿貫 吉直
二十六番	岩村 定高
二十七番	伊丹 重賢

二十九番	岩下 方平
三十番	宮本 小一
三十二番	岡内 重俊
三十四番	原田 一道
三十五番	楫取 素彦
三十六番	岩山 敬義
三十七番	長岡 護美
三十九番	石井 忠亮
四十二番	井田 讓
四十三番	本田 親雄
四十四番	中島 錫胤

- 四十五番 鍋島 直彬
- 四十六番 大久保一翁
- 四十七番 上杉 茂憲
- 四十八番 細川潤次郎
- 五十一番 調所 廣丈
- 五十四番 田中 芳男
- 五十六番 中村 正直
- 五十七番 長松 幹
- 五十八番 渡邊 清
- 六十番 楠本 正隆
- 六十一番 林 友幸

内閣委員番外 法制局参事官岩崎小二郎

午前第九時五十五分開場

- 六十三番 田邊 太一
- 六十五番 清岡 公張
- 六十六番 村田 保
- 六十八番 三浦 安
- 六十九番 何 禮之
- 七十番 壬生 基修
- 七十一番 久我 通久

○議長 第五百四十一號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク昨日三十二番議官ノ提出セシ修正説方サニ問題ニ在リ

○一番箕作麟祥 第十三條ニ對スル修正說ハ三百圓以上三千圓以下ヲ百圓以上千圓以下ト爲サントスルニ在リ此事ニ關シテハ四十八番ノ詳細ナル辯論モ有リ本官モ甚々同感ナリ元來身元保證金ヲ納メシムルナラハ朱書ノ割合ニテモ可ナラン今些シク多額ニ上ホスモ可ナラン本官ノ考フル所ヲ以テスレハ保證金ハ仲買人ニ之ヲ納メシムルノ理由ハ有レモ會員ハ取引所ノ創立ト維持トニ任シテ其義務ヲ盡セハ足ル者ニテ仲買人ノ如ク賣買者雙方ノ中間ニ立チテ義務ヲ履行スルノ保證ヲ立ルコトヲ要セス故ニ下付原案ニ從ヒ會員ニハ保證金ヲ取ラサルヲ當然ナリトス因テ問題說ニハ同意スル能ハス若シ現問題消滅セハ定メテ四十八番ヨリ本條ヲ削除スル動議出ツ可ケレハ本官ハ之ヲ賛成セント欲スルナリ

○三十番宮本小一

本問題ハ賛成スレモ尙ホ考フル所アレハ晩時ナカラ内閣委員ニ質問セン原案第五條ハ取引所創立費用ノ爲メニハ負債ヲ起スコトヲ許セルモ報告案ニハ此事ヲ抹殺セリ主務省ノ説明書ナトヲ參考スルニ取引所ハ隨分ト盛大ナル景況ヲ爲スヘキ者ニ似タリ地方場處ニ因リテ一樣ニハ非サル可キモ果シテ文明ノ體面ヲ飾ル爲メニ宏壯ノ家屋ヲ建築スルヤ或ハ在來ノ家屋ニテモ其用ニ供スルヤ取引所設立ノ模様次第ニテ會員ハ巨大ノ費用ヲ負擔スルコト爲ラントス此負擔ニ加フルニ本條ノ三百圓以上三千圓以下ノ身元保證金ヲ以テシ尙又仲買人ト爲レハ營業保證金ヲ納メサルヲ得ス都合三重ノ負擔ト爲ルナリ議論ハ暫ク置キ實際ニ於ケル金高ノ目ノ子算用ヲ以テ國力民力ヲモ斟酌セサル可ラス各地方ハ兎モ角

モ東京大坂ノ取引所ノ如キハ主務省モ宏壯ナル體裁ヲ粧ハシメン
ト要スルヤ請フ其目算ヲ聞ン

○番一岩崎小外二岩崎小

三十番議官ノ質問ニ關シテハ内閣委員其答辯ニ困

シマス本條例ニ明記スル如ク取引所ハ會員ヲ以テ組織スルカ故ニ
大厦高屋ヲ用ウルモ將タ然ラサルモ其協議如何ニ在ルノミ大抵當
分ハ其時際ノ模様ニ從ヒ賣買取引業務ノ範域ニ要スル限りノ家屋
ヲ用ウルナラン然レモ後來ニ至テハ隨分ト堅固宏大ナル家屋ヲ建
築スルヤモ知ル可ラス但此一事ハ内閣主務省共ニ何等ノ經畫スル
所モ有ラサルナリ

○三十番宮本小一

明カニ領會ス實ニ其場合景況ノ何如ニ因ル可ケレハ
豫メ目算ヲ立ルコトヲ得サラン 調査委員ノ第五條中「其創立ニ係ル

費用」云云ヲ抹殺シタルハ適當ノ修正ナリ然ラサレハ最初ヨリ宏
壯ナル家屋ノ建築ヲ要スルヤノ看ヲ爲サントス思フニ第五條ノ金
額ハ其土地ノ模様ニ應スル者ナレハ會員ノ痛苦トハ爲ラサル可キ
モ第十三條ノ三百圓以上三千圓以下ノ金額ハ苟モ會員ト爲レハ必
ス供出セサルヲ得ス昨日四十八番ノ論スル如ク全ク第十三條ヲ削
除シテ自由ニ加入スルコトヲ得セシメ以テ壟斷主義ヲ防制スルハ亦
是レ一種ノ見解ナル可シ然レモ全ク朱書ヲ削除スレハ奸商惡徒ノ
濫入スル懸念無キニ非ス要スルニ最初ハ試験中ニ在ルナレハ成ル
ヘク物事ヲ容易ナラシムルヲ善シトス且又亂雜ニ陥ルヲ防クモ大
切ナレハ東京大坂ナトハ三百圓以上三千圓以下ト限ルモ會員ノ痛
苦ト爲ラサラン聞ク現ニ米商會所ニ於テハ千圓ノ身元保證金ヲ納

ムル有リシト一步ヲ進メテ云ヘハ千圓以上萬圓以下ト限リテモ可
ナラン然レモ全國内ニ多數ノ取引所ヲ設立セントノ旨趣ナラハ三
百圓ノ最下限モ尙ホ多額ナルコトニ注意セサル可カラス若シ輒スク
會員タルコトヲ得セシメンニハ百圓ヲ最下限ト爲スモ随分ト痛苦ヲ
感セン大抵百圓ト限ラハ奸商惡徒ノ濫入ハ防制スルコトヲ得ヘシ故
ニ現問題ヲ賛成スレモ不幸ニシテ消滅セハ四十八番ノ壟斷ノ弊害
ヲ防カントスル豫陳說ニ左袒セントス

出席

四十一番

安藤 則命

○十三番加藤 弘之 昨日ノ三十二番ノ修正說ハ身元保證金ヲ百圓以上千
圓以下ニ減セント云ヒ四十八番ハ全ク之ヲ削除センコトヲ豫陳シ且
ツ内閣委員ノ論辯ニ於テモ原案ノ旨趣ハ之ヲ納メシメサルニ在リ

三十二番ハ少ヤニテモ輕減シテ會員ノ負擔ヲ紓ヘント欲スレモ元
來山谷間ノ僻地ニ取引所ヲ設立スヘキニ非サレハ僅僅三百圓ノ保
證金ヲ供出シ得サル如キ小商人ハ取引所ニ於テ賣買セサルモ差支
無ラン又此三百圓ハ豪商富賈ナラテハ供出シ得サル金額ニ非サル
ナリ東京大坂等ニ於テハ三千圓以下ト定メタルハ適度ナラント信
ス又四十八番ノ說ハ只今特ニ辯駁ヲ要セサレモ議場ノ感觸ノ傾向
ヲ防ク爲メニ一應之ヲ辯駁セン四十八番及ヒ賛成者タル一番ハ云
フ現今ノ米商會社及ヒ株式取引所ノ株式組織ハ專有壟斷ノ弊害ア
レハ之ヲ打破ルニハ反對ナル自由入會ノ組織ト爲サル可ラス若
シ奸商惡徒ノ濫入シテ弊害ヲ醸セルモ直チニ之ヲ罰責センノミ
ト是レ極メテ狹隘ナル株式組織ノ弊害ヲ目撃セルヨリ其反對ノ極

端ヲ主張スル者ノミ果シテ自由入會ヲ許サハ直チニ賭博ト一樣ナル舊風習ヲ新取引所ニ移入シ爲メニ今日ヨリモ一層ニ弊惡ノ風習ヲ成スニ至ルヤ必然ナリ歐羅巴諸國ノ商業社會ニ於ル如ク善良確實ナル風習ノ行ハル、ナラハ會員ニ保證金ノ制限ヲ付スルハ無用ナレトモ我カ日本ニ在テハ會員ヲシテ三百圓以上三千圓以下ヲ納メシムルモ尙其取締ハ十分ト爲スニ足ラス只幾分カ弊害ノ少ナカラシムルヲ望ムニ外ナラス後來商業上ノ風習改良セハ自由主義ノ構成ニ變スルモ可ナレトモ今日株式組織ノ弊害ヲ矯メントシテ一足飛ニ反對ノ極點ニ出ントスルハ改革順序ノ宜キヲ得タル者ニ非ス然ルニ四十八番ノ豫陳說ハ恐クハ問題ニ上ホル可ケレハ今ニ及ヒテ聊カ辯駁ヲ加フル爾ミ

○四十二番 井田 本官ハ朱書修正案ヲ賛成ス昨日四十八番ノ陳辯セ
ル所ハ

○議長 四十二番ニ告ク四十八番ノ說ハ未タ問題ト爲ラス

○四十二番 井田 然リ本官モ其未タ問題ニ上ホラサルヲ知レトモ本案ヲ賛成スル爲メニ聊カ之ヲ辯排スルナリ元來四十八番ノ說ハ道理上ニ於テハ甚タ綺麗ナレトモ若シ第十三條ノ保證金ヲ納メシメサレハ狡猾者ノ濫入ヲ防クヲ得ス且ツ會員ニハ場合ニ因テ罰金ヲ科スルコト有リ此保證金ハ其罰金ノ納付ヲ保證スル者ナリ大凡狡猾手段ヲ爲ス所ノ惡徒ハ假令ヒ罰金ヲ科セラルモ之ヲ畏レス除名シテ逐斥セララル、モ之ヲ耻チサル者ヲ多シトス此處ニ引證スルハ少シク不倫ニ似タレトモ彼ノ新聞紙條例ノ如キ保證金ヲ納メシメタル以來

ハ非常ニ不都合ナルコトヲ掲載スル無シ是レ保證金ノ功用ニ因テ幾
旬月ノ禁錮ニモ處セラル可キ惡徳ヲ消滅セシメタルナリ取引所ニ
於テ狡猾ヲ働ラキ奇利ヲ博スルニハ殆ント言フ可ラサル所爲ニ涉
ル者ナレハ若シ罰金ノ納付ヲ保證スル身元金無ケレハ果シテ之ヲ
何如スヘキヤ縱令ヒ本條ノ保證金ヲ以テシテハ十分ナル取締ヲ爲
スニ足ラスト云フモ若シ之レ無ケレハ愈々危險ナラスヤ既ニ罰則
ノ設ケ有ル以上ハ保證金ヲ納メシムルハ極メテ緊要ナリトス然ラ
サレハ只今十三番モ陳ル如ク現ニ今日ニ行ハル、惡習ヲ防クヲ得
サルノミナラス罰則ヲ立タル効果ヲモ見ル能ハサラン故ニ本官ハ
四十八番ノ說ニシテ議場ニ行ハレハ狡猾者ノ續續トシテ濫入セン
コトヲ恐ル、ナリ又三十二番ノ減額說ハ假令ヒ之ヲ減スルモ何等ノ

功益ヲ致ス無カル可シ本案既ニ三百圓ヨリ三千圓マテノ餘裕ヲ與
ヘタレハ自カラ活用ノ地ヲ存ス百圓以上千圓以下ニ減シタレハト
テ別ニ立派ナル活用ヲ生スヘキニ非ス到底問題說モ豫陳說モ共ニ
左袒スル能ハス是レ本官ノ確ニ報告案ヲ賛成スル所以ノ理由ナリ

○三十五番^{輯取}素彦

問題說ニハ賛成スル能ハス本官偶マ席ヲ離レシヲ

以テ減額ヲ要スル理由ヲ聞クヲ得サリシモ本官ノ意見ハ之ニ反シ
テ今少シク増額スルモ可ナリト爲スニ在リ抑モ取引所ハ重要ナル
商品ヲ賣買スル場處ニシテ商業社會ノ標準ト爲ル可キ者ナレハ苟
モ其會員ト爲ル人ハ三百圓ヤ三千圓ノ身元金ニ困マルコト無ラン又
此身元金ニ困マル如キ無資力ノ小商人カ狡猾手段ヲ以テ一時身元
金ヲ辯納シ取引所ニ出入スルモハ遂ニハ取引所ノ破壊ヲモ惹起ス

ナル可シ此新法ハ米商會所等ノ弊害ヲ一洗シ公正直實ニ取引ヲ爲サシムルノ旨趣ニ出テタレハ其會員ハ概シテ有資力ノ大商人ヲ以テ之ヲ組織シ内國商業ノ繁昌ヲ進メ外國貿易ノ駈引ヲモ爲スホトノ實力ヲ有セシメサル可ラス故ニ其保證金ハ一層ニ多額ナルヲ望メ凡目今ハ先ツ三百圓乃至三千圓ト定ムルモ可ナラン之ヲ百圓乃至千圓ニ減スルハ甚タ不可ナリ

○議長 現問題ニ關シテハ討論既ニ盡タリト認ムレハ之カ決ヲ取ラシ三十二番ノ修正說ニ同意スル議官ハ起立セヨ

起立者二人

○議長 少數ニテ消滅ス

○四十八番 細川潤次郎

本官ハ朱書第十三條ヲ削除スル修正說ヲ提出ス

此修正說モ恐クハ同意少數ニテ消滅ニ歸シ徒ラニ議場ヲ累ハスニ過キサル可キモ本官ノ豫陳セシ削除說ハ自カラ一理由ヲ具スト信ス過日ノ論辯ハ自由トカ平等トカ頗ル立派ナル如キモ其實ハ必ス然ルニモ非ス蓋シ法案ノ條項ニシテ一タヒ議場ノ問題ニ上ホレル以上ハ我輩ノ職掌トシテ可否ヲ斷シ其可ニハ可ノ理由ヲ述ヘ其否ニハ否ノ理由ヲ述ヘサルヲ得ス聞ク本案第十三條ハ賢明ナル調査委員諸君ノ一致同認ヲ以テ插入セラレタル者ナリト是レ定メテ大理由ノ存スルナル可ク苟モ「ブルス」即チ取引所ヲ清潔ナラシメント欲セハ身元保證ノ金額ハ尙ホ幾許ヲ多クスルモ可ナレ凡何分ニモ商業ト稱スル普通人類社會ノ日常業務ニ向ヒテ或ル部分ノ若干人ノミニ特權ヲ與ヘ以テ其手中ニ商品ノ運轉ヲ自在ナラシムル

ハ大害ヲ致スヲ免カレス元來取引所ハ知ラス識ラス此傾向ヲ生シ
 易キ者トス何トナレハ多數ノ商人カ集合シテ商品ヲ取引スルヤ猶
 ホ水ノ卑キニ就クコトク其運轉ノ權力ヲ收握スルニ至レハナリ又
 彼ノ仲買人ナル者ヲ設ケ此僅僅ナル仲買人ノ手ヲ經テ商品ヲ賣買
 スルモノナルカ爲メ仲買人ハ商業上ノ權力ヲ占メ隨ツテ壟斷ノ弊
 害ヲ生スルハ實際必至ノ情勢ニシテ人間モ身體無ケレハ疾病モ生
 セサレモ既ニ身體有レハ疾病ノ生スルヲ免カレス昨日モ某議官ヨ
 リ人間進化論ノ出タル如ク商業モ繁多ニ赴ケハ錯雜ノ事項ヲ生シ
 隨ツテ取引所ノ構成ヲ要ス思フニ朱書修正ハ弊害ヲ少ナクセント
 ノ目的ニ成リタルナランナレトモ本官ハ其同一ノ思想ヲ以テ此朱
 書修正ハ却テ反對ノ結果ヲ生センコトヲ懼ル蓋シ一利一害ハ自然ノ

數ニシテ純然ナル利モ無ク又純然ナル害モ無ク調査委員ハ惡徒ノ
 濫入ヲ憂フルモ本官ハ壟斷ノ宿弊ヲ復タヒセンコトヲ憂フルナリ然
 ルニ原案ノ組織ハ誰人モ魚市場ニテ魚ヲ買ヒ青物市場ニテ青物ヲ
 買ヒ得ルト同様ナル趣向ナレモ報告案ノ如ク制限ヲ立ルモハ此自
 由ヲ害スルナリ原案ニ據ルニ取引所ノ會員ハ第十四條ノ資格ヲ具
 フルノ外ニ已ニ第五條ノ費用ヲ負擔ス然ルモ仍ホ三百圓乃至三千
 圓ノ保證金ヲ供出セシムルハ畢竟二重三重ノ關門ヲ設クルナリ本
 官ハ會員ノ加入區域ヲ廣クシ以テ仲買人ノ專有壟斷ヲ防カンコトヲ
 企望ス此保證金ノ制限ヲ立テサルモハ幾分カ反對論者ノ憂フル濫
 入ノ弊害ヲ生ス可キモ普通取引ノ競争ニ因テ仲買人ノ專權ヲ殺ク
 コトヲ得ルハ猶ホ是レ水ヲ一處ニ聚メスシテ各處ニ疏散セシムルト

一般ナリ此兩點ノ可否ハ議場ノ擇フ所ニ委スレハ今強ヒテ之ヲ主張セサルノミ本官以爲ラク許多ノ理由ヲ提擧スルヲ須ヒス只第五條ノ創立維持ノ費用ヲ負擔スル一事ノミヲ以テ朱書第十三條ヲ削除スル大理由ト爲スニ足ルト蓋シ第五條ノ費用ハ會員ノ協議ニ從フテ多少増減ハ有ル可キモ必ス相當ノ家屋ト費用ノ器物トヲ備フル等其創立ノ費用ハ隨分ト鉅額ニ上ホリ會員各自ニ分擔スル金額ハ朱書ノ保證金ヨリモ多キヲ加フルニ至ルヘク又其維持ノ費用ハ年年ニ供出スル者ニシテ一年百圓ト概算スルモ十年千圓ト爲ル然レハ反對諸君ノ心配セラル、胡亂者ハ此負擔ニ耐エスシテ加入スルコト無ルヘシ又此負擔ニ耐ユル會員ニシテ尙ホ不正ノ舉動ヲ爲ストナラハ三百圓以上ノ身元金ハ十分ナル關門ト爲スニ足ラスシテ

此制限ハ取締上何等ノ影響ヲモ及ホスコト無ラン反對論者ハ苟モ創立費用ノ負擔ニ耐ユル有資力者ナラハ身元保證金ノ供出ニ困シマスト云フモ既ニ第十四條ノ資格ヲ以テ制限ヲ立タルニ何ヲ苦ミテ二重三重ノ關門ヲ設ケ且ツ狡黠奸詐ヲ制止スルニ足ラサル防禦線ヲ張り以テ幾分カ商人社會ノ自由ヲ束縛シ其平均ヲ擾ルヲ須ヒン斯ノ如ク論シ去レハ理論上ニ於テモ實際上ニ於テモ共ニ朱書第十三條ノ必要ヲ見サルナリ調査委員ノ第一ニ懸念スルノ點ハ新設ノ取引所カ胡亂者狡黠者ノ巢窟ト爲ルト云フニ在レト之ヲ懸念セハ實際無ラン況シテ第十五條ノ裁制ヲ以テ十分ノ防禦線ト爲スニ足ルヲヤ又若シ第十五條ノ裁制ニシテ尙ホ惡徒ヲ防クニ足ラスト云ハ、是レ此條ノ未タ完備セサルノミ然ルニ起草者モ調査委員モ共

ニ該條ヲ以テ會員ノ不正ノ行爲ハ總テ網羅シタリト信セルナラン
又或ル論者ハ新聞紙條例ヲ援引シテ身元保證金ヲ納メシメサレハ
罰金ヲ科スルモ納メサル者アラント云フモ此場合ニ遭ハ、永久除
名ノ裁制ヲ以テスルモ可ナラン然レモ苟モ創立維持ノ費用ヲ負擔
スル有資力ノ會員ナレハ決シテ此ノ如キノ心配ヲ要セサルナリ本
官ハ甚タ冷淡ナル思想ヲ以テ朱書第十三條ヲ削除スルヲ適當ナリ
ト考フ言論頗ル冗長ニ涉リシモ本官ノ自カラ道理ト認ムル所ヲ陳
述セリ望ムラクハ此削除説ノ問題ト爲ランコトヲ

○一番箕作麟祥

四十八番ノ修正説ハ本官豫陳ノ如ク之ヲ賛成ス其理由
ニ就テ本官ハ本官ノ考案アレハ四十八番ノ言ヘル所ト重複ヲ避ケ
テ陳述セントス今ヤ政府ノ米商會所株式取引所ヲ廢シテ新タニ取

引所ヲ開設スルハ株式組織ノ專有壟斷ヲ打破リ歐米諸國ニ行ハル
、ブルルスノ方法ニ倣ハント欲スルニ在リ是レ本官ノ此法案ヲ
賛成シテ六十四番ノ廢棄説ニ同意セサリシ所以トス抑モ本案第一
條ノ公正直實ノ風ヲ養成スル云云ノ如キハ目下敢テ望ム可キニ非
サレモ此改正ハ專ラ株式組織ノ弊害ヲ除キテ公共ノ構成ニ變スル
ニ存ス歐洲ノブルルスハ商人集會場ト視ルヘキ組織ニシテ日本
橋ノ魚市場又ハ多町ノ青物市場ト同一般ナリ其場處ハ政府ノ所有
ニ係ル有リ商人ノ共有ニ係ル有リ其費用モ種種ノ支辨方法アレモ
多クハ其地方ノ商業稅ノ如キ者ヲ以テ之ニ供ス又苟モ商賈タル資
格ヲ有シ本案第十四條ニ舉ル如キノ人ノ外ハ誰某ヲ論セス此「ブ
ールス」ニ出入シテ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ヘク決シテ會員ト稱ス

ル如キ範域ノ狹隘ナル者ニ非ス是レ實ニ「ブールス」ノ大眼目タリ然ルニ第五條ノ創立費用ナトモ今日創立ノ際ナレハ一タヒハ之ヲ供辨セサルヲ得ス又其維持費用モ歐羅巴ノ商業税ノ類ニ倣ヒテ豫メ納付者ヲ指定セサル可カラス例ヘハ「ブールス」ヲ東京ニ開設スルモ一般ノ府民ニ課シテ此等ノ費用ヲ供出セシム可キニ非サレハ會員ヲ限リテ之ヲ負擔セシムルハ已ムヲ得サルノミ故ニ本官ハ第五條ニ對シテハ既ニ同意ヲ表シタリ獨リ此朱書第十三條ハ何ノ爲メニ會員ノ身元保證金ヲ徵セントスルヤ怪訝ニ堪サルナリ實ニ西洋各國共ニ斯ル類例ヲ見ス但シ仲買人ハ賣買者雙方ノ間ニ立チテ取引ヲ爲サシムル者ナレハ素ヨリ其義務ヲ盡スノ保證ヲ要スレモ會員ハ只タ創立維持ノ費用ヲ負擔スレハ足ル是レ即チ下付原案ノ

趣意ニシテ本官ノ適當ト信スル所ナリ調査委員ハ此保證金ヲ納メシメサレハ不賴者ノ濫入ヲ防ク能ハスト云フナルヘキモ苟モ第五條ノ費用ヲ負擔スルニ耐ユル丈ノ商賈ナレハ決シテ斯ル懸念ヲ爲スヲ須ヒス又此保證金ハ過怠金ノ辨納ニ抵ルト云ハンモ其場合ニハ身代限ヲ爲サシムルヲ得ン又此制限ヲ立テサレハ惡徒ノ賭博場ト爲ルヲ懼ルト云ハンモ現ニ賭博犯處分規則ノ設ケ有レハ此亦掛念ナカラン抑モ我國ノ賭博者ハ歐洲ナトニハ其類ヲ見サル一種ノ弊害即チ四隣ニ横行シ強竊盜ヲ爲ス等ノ暴惡ヲ逞ウスルヲ以テ嚴ニ禁遏セサル可ラサルモ「ブールス」ニ於テ輸贏ヲ鬪ハス如キハ大ナル患害ヲ爲ス者ニ非ス唯其出訴權ヲ奪ヘハ足ル可シ強テ蛇蝎視スルヲ要セス思フニ貧商小賈ノ「ブールス」ニ出入スルハ幾

分カ其清潔ヲ汚ス可キモ若シ嚴ニ之レカ出入ヲ絶タハ陰ニ他ノ場
處ニ於テ密賣買ヲ爲シ其弊害タル却テ大ナラン到底理由ヲ解セサ
ルノ修正ト謂フ可シ凡ソ社會ノ進歩スルニ隨ヒ文明ト相伴フノ弊
害ヲ生スルハ數ノ免レサル所トス然ルニ強テ之ヲ制止セントスル
ハ無理ナル趣向ナリ本官ト雖モ一躍シテ直チニ歐洲ノ成法ヲ我國
ニ施サント云フニ非サレモ未タ嘗テ類例ヲ見サル身元保證金ヲ會
員ニ徵セント欲スルニハ同意スル能ハス現ニ編纂中ニ在ル商法ハ
誰人ニテモ取引所ニ於テ賣買スルコトヲ得セシムルノ精神ナルニ其
會員ニ身元保證金ヲ徵スレハ自カラ抵觸ヲ致サン要スルニ此新取
引所ノ組織ノ如キ務メテ歐洲ノ成法ニ倣フナレハ保證金ノ制限ヲ
削リテ壟斷ノ弊害ヲ防キ廣ク商賈ノ出入ヲ許シテ以テ所謂ループ

「ルス」開設ノ大眼目ヲ貫徹セシムルヲ善シトス因テ四十八番ノ
削除說ヲ賛成ス

○議長 四十八番ノ動議ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

退席 三十七番 長岡 護美

○六十六番 村田保 本問題ニ對シ本官等ノ調査委員席ニ於テ審査研究

ヲ加ヘタル順叙ヲ述ヘ以テ各議官ノ參考ニ供セントス主務省ノ上
申案ニハ會員ノ身元保證金ヲ一千圓以上一万圓以下ト定メシニ内
閣ニ於テ之ヲ削去セリ内閣委員ノ其旨趣ヲ説明セル所ニ據レハ株
式組織ノ弊害ヲ一掃シテ取引ヲ自由ニシ誰人ニテモ出入スルヲ得
セシメ若シ不正不當ノ所爲アレハ直チニ除名スルモノト爲サハ保
證金ヲ徵セスシテ可ナリト云フニ在リ然ルニ主務官ハ其必要ナル

コヲ主張シ内閣委員ト辯論スル幾ント半日ヲ費セリ調査委員モ亦此制限ヲ必要ナリト認メ七名一致シテ第十三條ヲ加ヘタルナリ思フニ其利害得失ハ彼此共ニ免カレサル可キモ百圓以内ノ過怠金ヲ科スル場合ニ當リ若シ保證金ヲ豫納セシメサレハ奸黠ノ手段ヲ防クニ難ク罰金ヲ科スル場合ノ如キ亦然リ折角ト取引所條例ヲ發シテ從來ノ惡弊ヲ洗滌セント欲スルモ向フ鉢卷ノ徒カ囂然トシテ闖入スルハ頗ル困却ナラスヤ四十八番ハ第五條ノ負擔ヲ以テ隄防ト爲スモ本官等之ヲ主務官ニ尋問セシニ一人一年十二圓金許リ供出スルニ過キスト答ヘリ然ルモハ貧商黠賈モ隨意ニ會員ト爲ルコトヲ得ヘシ又四十八番ハ創立費用ヲ重シト云フモ是レ一時ノ負擔ニ係リ爾後ニ加入スル會員ハ創立費用ヲ負擔スルコト無シ原案第十條ニ

於テハ一種又ハ數種ノ商業ニ從事シ云云ノ制限ヲ存セシモ本案第十二條ハ此界域ヲ廣メタルヲ以テ青物屋テモ豆腐屋テモ皆此取引所ニ出入スルヲ得ルナリ今日身元アル商人ノ米商會所等ニ出入スルヲ耻ル如キ情況ヲ見ルハ彼ノ向フ鉢卷ノ徒ノ濫リニ出入スルニ由ル新設ノ取引所ニシテ若シ保證金ノ制限ヲ立テサレハ此弊風ヲ矯正スルコトヲ得サラン問題賛成者タル一番ハ外國ニ類例ヲ見スト云フモ是レ杜撰ノ甚キ者トス佛蘭西ノ「ブルス」ハ其建造物ノ性質ヲモ異ニスレモ彼ノ米利堅ノ如キハ新開國ナルモ其商業ノ進歩ハ佛蘭西ノ企テ及ハサル所ナルニ紐育市高俄等ニ於テハ會員ト爲ルニハ入場券ヲ一千弗ニ購求ス可キノ規約ヲ存ス決シテ海外ニ類例ヲ見ストハ斷言スルコトヲ得ス因テ吾輩ハ此保證金ヲ必要ナリト

確信ス思フニ會員ノ身元鞏固ナラサレハ確實ナル取引ヲ爲スコトヲ得ス且又過怠金ノ取立ニ差支ヲ生セン故ニ某議官ノ云ヘル如ク今些シク金額ヲ多クセンコトヲ欲スレハ原案ニ除ケル者ヲ加ヘタルナレハ三百圓以上三千圓以下ト限定セシナリ各位モ充分ノ勘考ヲ加ヘテ以テ其可否ヲ決センコトヲ望ム

○三十六番 岩山 敬義 當問題ニ對シテハ調査委員タル十三番六十六番等共ニ身元保證金ノ必要ナルコトヲ詳述セラレタレハ復タ本官ノ喋辯ヲ待タサレハ四十八番一番等ノ削除説ハ如何ニモ公平ニシテ立派ナル論旨ナレハ本官ノ精神モ此ノ如クナランコトヲ望メハ如何セン今日ニ在テハ時機尙早シト考フ元來物産ノ旺盛ナルハ其販路ノ開通スルニ在レハ近時商業社會ノ金融ハ殆ント逼塞シテ商品ノ運轉

活潑ナラス隨テ商賈相互ノ信用モ地ヲ掃ハントス故ニ本官ハ今日ニ在テハ三百圓以上ヲ五百圓以上ニモ上サンコトヲ望ムナリ畢竟信用薄弱ナル爲メニ金融逼塞シテ商品ノ澁滯ヲ招クナレハ報告案ノ如ク身元保證金ノ一事ヲ据置ンコトヲ望ム

○二十七番 伊丹 重賢 四十八番ノ動議ハ頗ル勢力ヲ議場ニ占メタレハ一言之ヲ排セサルヲ得ス其動議ノ眼目ヲ舉レハ會員ノ資格ハ第十四條ニ於テ之ヲ確カメ且ツ創立費ヲ負擔セシムルナレハ無資力者ノ濫入スルノ心配ヲ須ヒス假令ヒ間マ濫入スルモ第十五條ノ取締法ヲ以テ之ヲ制スト云フニ在リテ是レ一應道理ナキニ非ス即チ創立費ヲ負擔スル位ノ者ナレハ果シテ有資力者ナル可ク彼ノ寒天ニ單衣ヲ着クル如キ貧困ナル無賴人ハ濫入スルコト無ラン然レハ創立費

ハ償却ノ時期アル者ナレハ其償却ヲ畢リシ上ハ厭惡スヘキ無賴者モ容易ニ濫入スルコトヲ得ン要スルニ此身元金ハ彼ノ過怠金ノ取立ノ時ノ備ヘニモ爲リ且法文ニハ明記セサレモ爭論ノ結局或ハ賠償金ヲ供出セシムル等ノ場合モ有ラン我國目今相場會所ノ景況ヲ察スレハ身元保證金ノ制限ハ其必要ナルコトヲ信ス若シ此制限ヲ立テサレハ組織改正ノ功ヲ見ル能ハサル可シ是レ本官ノ調査委員席ニ在テ此修正ニ同意セシ所以ナリ最早現問題ノ取決ニ際スト認ムルヲ以テ聊カ本條ノ要用ナルコトヲ述フ

○五十六番中村直 本官ハ問題說ヲ賛成セス四十八番ノ意見ハ極メテ公平ナレモ新設ノ取引所ニ於テハ方正誠實ニ商業ヲ營マシムルノ旨趣ナレハ假ニ姑ラク此制限ヲ設ケ以テ其利害如何ヲ試ミルヲ善

シトス

○三十番宮本一 本官ハ第一讀會ニ當リ種種ノ疑點ヲ質サント欲セシニ適マ調査委員ノ設置ニ決シ尋テ修正報告案出テ其修正ノ理由ヲ聽クコトヲ得タルモ其間更ニ大ナル疑點ヲ生シタリ因テ現問題ニ對スル向背ヲ定ムル爲メニ内閣委員ニ之ヲ質サントス抑モ創立委員ノ負擔ス可キ金額ハ空中樓閣ノ想像ナカラ隨分ト鉅多ニシテ三十万圓乃至五十万圓ニ及フヤモ料ラレス是レ第一着ノ負擔ニシテ又更ニ第二着ノ負擔即チ三百圓以上三千圓以下ノ保證金ヲ供出スルナル可シ然ルニ調査委員ハ若シ此保證金ヲ供出セシメサレハ會員ハ一年僅ニ十二圓許リノ維持費ヲ供出スルニ止マリ其責任過輕ナリト說ケリ果シテ然レハ創立費ハ全ク創立委員ノ負擔ニ屬シ爾後

加入スル會員ハ一錢文タモ之ヲ分擔セサル者ノ如シ且此創立費ノ償却方法ハ何様ニ之ヲ設クルヤ若シ償却後ニ加入スルキハ全ク其費ヲ負擔セストナラハ提燈ト釣鐘トノ如キ懸隔ヲ生セン因テ仔細ニ此事ヲ釋示センコトヲ請フ

○番一岩崎小 三十番ノ質問ハ既決第五條ニ對スル者ナレトモ本條ニ關係ヲ有スルヲ以テ之ニ答辯セン會員ハ創立委員ト異ニシテ素ヨリ員數ヲ限ラス又其加入ノ時期ヲ限ラスト雖モ第二項ノ手数料ヲ供出スルハ即チ創立費ノ償却ヲ分擔スルナリ例ヘハ最初ハ相當ノ家屋ヲ借りテ取引所ニ充ルモ永ク借入ノ家屋ニテ營業スルハ不體裁ナリトシテ其家屋ヲ買入レ又ハ新タニ建築スル等種種ノ成リ行ヲ生ス可ク究竟會員ノ協議ヲ以テ農商務大臣ノ認可ヲ經ルルハ

何様ニモ處置スルコトヲ得セシムルハ原案第五條ノ旨意ナリ

○三十番宮本小 尙ホ一應質問セン創立委員ヨリ五千圓ナリ一万圓ナリ出金シテ取引所ヲ開設シ爾後一二年内ニ創立委員ノ一人カ忽然ト死去スルコト有シ其人ノ出金ハ全損ト爲リテ償還セラレサルヤ
○番一岩崎小 是レ其最初ニ於ル一己人ト會員トノ契約ノ如何ニ存ス出金ノ償還ヲ約セサレハ全ク棄捐セル者ト爲リ又其償還ヲ約スレハ普通ノ貸借ト異ナラスシテ家督相續人カ償還ヲ要求スルノ權理ヲ有ス可キナリ

○三十番宮本小 本官モ其然ル可キヲ信ス調査委員ノ一人ハ會員ハ一年十二圓許リノ出金ヲ爲スニ過キスト云フモ本官ハ之ヲ信スル能ハス何トナレハ最初ノ契約ニ於テ償還ヲ約スレハ諸會員ハ間接ニ

創立費ヲ負擔セサルヲ得サレハナリ且又朱書第十三條ノ身元保證金ヲ納ムレハ會員ハ二重ノ關門ヲ通過セサル可ラス本官ハ一應調査委員ノ修正ト四十八番ノ動議トヲ折衷シ宜ク保證金ノ數額ヲ減スヘシト考ヘシモ尙ホ深ク之ヲ考フレハ寧ロ問題說ノ如ク朱書第十三條ヲ削除ニ付シ以テ誰彼ヲ論セス廣ク會員ト爲ルコヲ得セシムルヲ善シトス其理由ノ如キハ發議者及ヒ贊成者已ニ之ヲ詳陳セラレタレハ本官復タ贅辯スルヲ須ヒス只聊カ問題說贊成ノ意ヲ表ス

○六十五番 清岡 公張 元來此身元保證金ヲ設ケタルハ獨リ惡徒ノ濫入ヲ防ク爲メニスト云フニ非ス商人ニシテ取引所ノ會員ト爲リ取引所ニ於テ取引ヲ行フニハ必ス確實ナラサル可ラス然ルニ商品ノ賣買ヲ取組ミタル以後ニ相場ノ高低ヲ生シ爲メニ失敗ヲ取ントスルノ

情勢ヲ察シテ其約定ノ履行ヲ逃ル、此ハ對手ハ之カ爲メニ損害ヲ受ケサルヲ得ス現行條例ニ於テハ此場合ノ損害ハ會所ノ負擔ニ歸スレト下付原案ニ在テハ取引所之カ責ニ任セス故ニ身元保證金ニテモ納メシメサレハ取引所ノ秩序ハ得テ維持ス可ラス反對論者ハ數千万圓ノ取引ヲ爲ス者ニ對シテ僅僅三百圓許リノ保證金ヲ取置クハ何等ノ功用ヲ見スト云フモ若シ其最少限ヲ五百圓乃至千圓ト爲サハ會員ノ困難ヲ致ス可シ今日ノ會所ニ於テハ仲買人ノ手ヲ經サレハ賣買ヲ爲スコヲ得ス故ニ保證金ハ仲買人ノミニ止メテ可ナレト新設ノ取引所ニ在テハ會員相對ノ賣買ヲ許スヲ以テ豫メ身元金ヲ徵セサレハ其取引ノ度毎トニ證據金ヲ出サシムルノ煩勞ヲ取ラサル可ラス況ヤ會員ハ初ヨリ此身元金ノ供出ヲ承諾シテ加入ス

ルナレハ是レ取モ直サス其商業ノ元手金ニ外ナラサルヲヤ若シ此
制限ヲ立テサレハ私利ヲ謀リテ約定ヲ破リ仲裁ヲ受クモ損害ヲ償
ハス過怠金ヲ科スルモ之ヲ納メヌ等ノ輩アリテ終ニ取引所ノ取引
ハ甚タ不確實ノ者ト爲リ本案制定ノ目的ニ反スル結果ヲ生セン苟
モ此條例ヲ發スル以上ハ身元保證金ノ必要ナルコトヲ感スルナリ

○六十三番 田邊 太一 本官ハ初ヨリ四十八番ノ動議ニ左袒ス既ニ發議者
及ヒ賛成者ヨリ詳細ニ其理由ヲ陳述セラレタレハ敢テ蛇足ヲ添ヘ
ス只起立ヲ以テ同意ヲ表セント思ヒシモ追追ト反對ノ辯論ヲ聞ク
ノミナラス只今六十五番ノ言ヲ聞キテ大ニ疑ヲ生セリ本官ハ三百
圓以上三千圓以下ノ等差ヲ設ケシハ例ヘハ東京大坂ハ三千圓其他
ハ貳千圓以下ト地方ノ景況ニ應シテ指定スル者ト認メシニ六十五

番ノ云フ所ニ依レハ個ハ今日米商會所ニ於テ取引上ノ損失利得ヲ
差引勘定スル敷金ナル者ニ類ス因テ其如何ヲ六十五番ニ質サン

○六十五番 清岡 公張 身元保證金ノ等差ハ固ヨリ都鄙ニ因テ區別アルヘ
ク又其商品ノ種類ニ因テ區別アルヘシ例ヘハ米ノ如キ數千萬石ノ
取引ヲ爲ス者ハ隨テ身元保證金モ多額ヲ要シ此他取引所ノ大小ニ
應シテ取引ノ多少アル等色色ナル關係ヲ以テ三百圓ヨリ三千圓マ
テト限定セシナリ本官ハ米商會所ノ敷金ハ何様ノ性質ナルヤヲ知
ラサレヒ本案ノ身元保證金ハ米商會所ニ現行スル仲買人身元金ト
同一物ニシテ罰金ナリ負責金ナリ違約金ナリ皆此身元保證金ヲ以
テ辯償シ即チ會員タル者ヲシテ其義務ヲ盡サシムル爲メニスル
ノミ

○六十番補本
正隆

朱書第十三條ハ取引所ノ弊害ノ存滅ニ大關係アルヲ

以テ爲メニ一辯セサルヲ得ス本官ハ深ク此朱書ノ如ク制限ヲ立タルニ満足セシニ現問題タル削除説ハ頗ル勢力ヲ議場ニ占ムルニ因リ杞憂ニ勝サルナリ抑モ新設ノ取引所ハ現今ノ米商會所株式取引所ノ弊害ヲ去リテ公正ノ商業ヲ爲サシメントスルノ精神ナレハ迪モ面目一新ト云フコトハ覺東ナキモ幾分カハ改良ス可シト信ス既ニ株式組織ヲ改メテ會員構成ニ變スルカラハ會員ノ資格ヲ定メ其身元ヲ確カムルハ大切ノ事ナラン反對論者ハ株式組織ヲ廢シテ有力者ノ壟斷ヲ破リタル以上ハ魚市場青物市場ノ如ク普通商人ヲシテ自在ニ賣買セシメサレハ公平ナラスト云フモ元來新設取引所ハ重要ナル商品ノ大取引ヲ爲シ世間ノ相場ヲ造出スル所ニシテ擔ヒ賣

ノ小商人マテモ出入セシメント望ムハ事實ニ疎ナル空論ニシテ魚類ヤ青物ハ重要ノ商品ト同視ス可キニ非ス現問題ノ意ヲ簡單ニ解釋スレハ身元保證金ヲ納レシメテ壟斷權ヲ有資力者ニ與フルハ公益ヲ害シテ平等平均ノ道理ニ反スト云フノ一點ニ在リ思フニ此制限モ今日創施ノ事ナレハ其美果ヲ結フヤ將タ惡果ヲ結フヤハ知ラサレモ三百圓ヨリ三千圓マテノ等差ヲ付シタルナレハ商業ノ有様ト行政官ノ見込トニ委セテ可ナラン苟モ身元保證金ヲサヘ納ムルコトヲ得サル如キ貧乏商人ハ事實上決シテ重要商品ノ取引ヲ爲ス能ハサルナリ茲ニ各官ノ注意ヲ請フヘキ者アリ前年本院ニ於テ米商會所ノ如キ諸博類似ノ營業ハ斷然禁廢スヘシトノ意見書ヲ提出セシ議官アリテ爲メニ調査ヲ加ヘタルコト有リシ蓋シ當時米商會所ヲ

視テ有害物ト爲シタルハ殆ント輿論トモ謂フ可ク此相場所ノ危険ニシテ商業社會ノ風儀ヲ亂ルハ明白ナル事實ナリ之ニ反シテ新設取引所ハ商業ノ樞軸ニ當リテ以テ重要商品ノ相場ヲ立ルヲ目的ト爲スニ在リ然ルヲ其會員ノ身元ヲ確カムル保證金ヲ設クルヲ不公平ナリ不自由ナリト云ヒテ奸商黠賈ノ濫入ヲ許シ重子テ積年ノ惡弊ヲ新設取引所ニ移入セントスルハ何ソヤ果シテ問題說ノ如クセハ行政上ニ障礙ヲ與フルハ少ク非サラン偕テ道德上ヨリ之ヲ論シ又彼ノ政府ハ國民ノ財産ヲ保護スヘキ點ヨリ之ヲ言ヘハ本案ハ舊米商會所等ノ株主ノ財産ニ損害ヲ與フルノ嫌ヒ有ルモ該相場所ノ宿弊ヲ一掃スル爲メニハ已ムヲ得ス之ヲ省ミルニ違アラサルナリ故ニ六十四番ノ廢棄說ヲ唱ヘタルノ外ハ各官齊シク本案ニ同意

セリ若シ此保證金ノ制限ヲ施シテ後果シテ實際ニ不都合ナラハ何時ニテモ取消スコトヲ得ヘシ然ルヲ若シ之ヲ自由ニ放任シテ一タヒ無賴者ノ群集スル場處ト爲ラハ其際之ヲ制防スルハ容易ノ事ニ非ス究竟此朱書第十三條ハ必ス之ヲ存立セシメンコトヲ望ムナリ

○六十八番

三浦安

四十八番ノ削除說問題ト爲リ發議者贊成者ヨリ陳

ル所ノ理由ハ一應道理アル如クニ聞ユレモ本官等ハ弊害ノ既ニ生セシ後ニ制限ヲ立ンヨリハ豫メ制限ヲ設ケ其成績ヲ察シ徐徐ト區域ヲ廣ムルヲ善シト認メ主務省モ亦同趣旨ニシテ一千圓以上一萬圓以下ノ身元保證金ヲ出サシメントノ說アリシモ本官等之ヲ寬和シテ其金高ヲ減シ先ツ中等以上ナル商人ノ取引所ト爲サントノ見込ヲ以テ朱書ノ金高ト定メタリ然ルニ發議者ハ商業ノ自由平等云

云ノ學理說ヲ提出スルモ是レ人間社會ノ一己一己ノ身分ニ就キテ論スヘキコニシテ凡上ノ討論ニハ或ハ勢力ヲ有スルモ却テ實際ニハ空疎ナルヲ免レス凡ソ數百千人集合シテ賣買取引ヲ爲セハ必ス爭論ヲ起シ弊害ヲ生ス因テ罰則ノ設ケ有リ既ニ初ヨリ罰則ヲ設クル位ノコナルニ惡徒ノ不正ヲ働クアラハ罰センノミ自由自在ニヤラセテ看ヨト云フハ不都合ナル咄シナラスヤ故ニ後日ニ制止ヲ加フルノ面倒ヲ見シヨリハ此保證金ヲ以テ會員ノ身元ヲ確カムルハ適當ノ處置ナラン第五條ノ創立費モ之ヲ永年ニ辨償スルコナレハ僅少ナル金額ニ止マリ年年ノ維持費モ亦僅少ナルハ若シ手ヲ廣ケテ誰テモ彼テモ勝手ニ出入シテ取引ヲ爲セヨト許サハ毎日數百千人ワヤワヤ群集シテ頻ニ不正ヲ働キ喧嘩ヲ爲スハ知レタコナリ故

ニ身元金ヲ以テ保證ニ備ヘ之カ取締ヲ爲スハ當前ノ咄シナリ元來毫モ制限ヲ立テスシテ府民共同ノ取引所タラシメントナラハ其建物ハ府立ト爲シ所長ハ官選勅委任トモ爲スヘキ譯ナレモ本案ノ取引所ハ斯ル性質ヲ以テ成ル者ニ非ス現今ノ相場會所ノ弊害ヲ去リテ取引方法ヲ改良セシムル公平ノ相場會社ト爲スニ在ルノミ既ニ會社仕事ト爲ス以上ハ特權モ與フレハ特罰ヲモ加フルハ必至ノ理勢トス四十八番ハ專ラ學理上ヨリ見解ヲ立ルモ本官等ハ實際上ヨリ觀察ヲ下セリ第五條ノ負擔ハ身元ノ保證ト爲スニ足ラス且ツ身元金ヲ出サシムルモ尙ホ惡徒ノ出入スルコハ決シテ無シト斷言シ難キモ幾分カ之ヲ制スルコヲ得ルハ反對者ト雖モ合點ナルヘシ又反對者ハ若シ不當ノ舉動ヲ爲シ不正ノ契約ヲ結フ等ノコ有レハ直

チニ第十五條ノ罰ヲ科スト云フモ其意ヲ以テ之ヲ處スルハ新設取引所ノ會員ヲ待ツ所以ニ非ス内閣ハ主務省ノ上申セル身元保證金ノ一事ヲ抹殺ニ付セシモ本官等ハ主務官ニ就テ其意見ヲ質シ之ヲ斟酌シテ此條ヲ加ヘタルナリ將來商業進歩シテ取引モ整頓シ風儀モ公正ナルニ至ラハ此制限ヲ廢スルモ可ナレモ今日ムヤミニ門戸ヲ開放シ誰テモ來イト云ヒムチヤクチヤニ立入ルヲ許サハ身元アル商人ハ却テ取引所ニ近寄ルヲ嫌ヒ自然ニ引キ去ル如キノ結果ヲ來スハ明カナリ故ニ會員ハ身元ヲ確カメテ精選スルヲ必要ナリトス願クハ各官共ニ本條ノ精神ノ在ル所ヲ察シテ之ヲ存立セシメンコトヲ

○六十三番 田邊 太一

六十五番ヨリ保證金ニ等差ヲ設クル旨意ノ答辯ヲ

得タリ其答辯ノ如クンハ本官ノ見解ト同様ナルモ商品ノ種類ニ應シテ身元金ヲ出サシムトナラハ取モ直サス會員ノ資格ヲ得ル爲メノ身元金ニシテ是レ第五條ノ費用ト二重ノ負擔ニ任スル者ナリ故ニ本官ハ依然四十八番ヲ賛成ス論者ノ濫入ノ弊害ヲ懼ル、ハ固ヨリ其理ナキニ非サレモ本官等ト雖モ唯自由ニ放任シテ誰テモ御坐レト云フノ旨意ニ非ス苟モ本案ノ精神タル株式組織ヲ一洗スト云フ以上ハ制限ヲ設ケサルヲ善シトスルナリ此兩者ノ利害得失ハ今日ニ於テ豫メ知ル可ラサレハ議場多數ノ決スル所ニ委センノミ

退席

三十七番 長岡 護美

○外一番 岩崎 小 二郎

朱書第十三條ニ對スル四十八番ノ削除説出タルヨリ本員ハ深ク注意シテ各位ノ論辯ヲ傾聽セシカ今ヤ一言セサルヲ

得ストノ感覺ヲ生セリ第一讀會ニ於ル本員ノ説明ハ專ラ大綱ヲ擧
テ細目ニマテ涉ラサリシ爲メニ或ハ内閣ノ旨趣ノ滿場各位ノ貫徹
セサルモノ、如シ本員ノ職分上必ス之ヲ貫徹セシメサル可ラス因
テ此言ハ維持論者削除論者共ニ未タ發言ヲ爲サ、ル以前ニ陳辯シ
タル者ト看做シテ平心ニ聽取セラレンコトヲ請フナリ先ツ維持論者
ニハ二ツノ誤解アリ其一ツハ本員ノ第一讀會ニ株式組織ハ巨利ヲ
壟斷スル云云ト言ヒタル一事カ議場ノ論柄ト爲リタレト是レ其多
ク利益ヲ得ルヲ不埒ノ所行ナリト云フニ非スシテ其壟斷ニ生スル
宿弊カ一般商業運轉ノ機關トモ爲ル可キ賣買取引ノ間ニ大害ヲ與
フルコトヲ云フノミ故ニ本條例モ株主ノ巨利ヲ占ムルヲ惡ム爲メニ
制定スルニ非スシテ只其宿弊ヲ矯濟セント欲スルニ出ルナリ然ル

ニ會員ヲシテ身元金ヲ納メシムレハ多少株式組織ノ體裁ト爲ルハ
必然ニシテ内閣ノ尤モ嫌フ所ノ少數有力者ノ壟斷ニ生スル宿弊ヲ
再燃セシムルニ至ラン是レ調査委員ノ修正ハ誤解ニ出タリト言フ
所以ナリ又其一ツハ主務省ノ上申案ヲ誤解セリ其第三條ニ曰ク
「取引所ニ集會シ賣買取引ヲ爲スヘキ者ハ其取引所ニ於テ賣買取
引スヘキ物品ノ一種若クハ數種ノ商業ニ從事スル者ニ限り之ヲ會
員トス會員ハ身元保證金一千圓以上一萬圓以下ヲ差出スヘキモノ
トス」ト又其第九條ニ曰ク「取引所ニ仲買人ヲ置ク仲買人ハ會員ノ
委託ニ由リ賣買取引ヲ爲スヲ以テ業トス取引所ニ於テ會員ノ爲ス
ヘキ賣買取引ハ總テ仲買人ニ委託スヘキモノトス」トアリテ此上
申案ニ從ヘハ取引所ニ於テハ會員ノミ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ヘク

而シテ其賣買取引ハ總テ必ス仲買人ニ委託ス因テ其賣買ノ順序ヲ云ヘハ會員ハ中間ノ取次ヲ爲ス者ニシテ例ヘハ他人ハ會員ニ依囑シ會員ハ又之ヲ仲買人ニ委託ス即チ英國ノ「ジョツバー」ノ組織ナリ然ルニ修正案ハ會員ノ中間ノ取次ヲ爲スコヲ罷メ而シテ尙ホ其身元金ヲ徵セントスルハ調査委員ノ主務省上申案ノ旨意ヲ誤解セラルニ由ルヤ知ル可シ且其身元金ヲ出サシメサレハ惡徒ノ濫入スル有ラン又會員ハ相對ニテ賣買ヲ爲スコヲ以テ危險ナリ因テ保證金ヲ以テ之ヲ防カント云フモ亦是レ誤解ニ近シトス元來今回ノ改正ノ主義ハ本員ノ第一讀會ニモ陳述セシ如ク普通ノ賣買取引法ト同一ナラシムルニ在レハ假令ヒ惡徒ノ立入コアルモ詰リ不正奸黠ノ賣買取引ヲ爲スコヲ得サルナリ調査委員ハ從來ノ賣買取引法ニ弊害

多キコカ頭腦ニ感セルヨリシテ新法ヲ施行スルニ方リ尙此弊害ヲ生センコヲ虞ルモ今後ハ會員各自ノ信用ヲ以テ賣買取引ヲ爲ス上ハ世間ニ不信用ナル惡徒ノ立入ルモ如何シテ他ト賣買取引ヲ爲スコヲ得ンヤ現行ノ賣買取引法ハ會所ノ資本ノ半額マテハ責任ノ負擔ニ係ルカ故ニ見ス識ラサル人ノ間ニモ賣買約定ヲ取組ミ丁稚又ハ人力車夫ノ如キモ漫リニ立入タレモ今ヤ普通ノ賣買取引法ニ則リ各己ノ信用ヲ以テ約定ヲ取組ムコト爲レハ人人皆之ヲ中心ニ問ヒ彼人ナラハ氣遣ヒ無シト信用セハ約定ヲ取組ムヘク信用セサレハ取組サルヘシ故ニ此相互ノ信用ナル者ハ即チ天然ノ關門ニシテ身元金ヨリモ確實ナルハ萬萬ナリ何人カ自カラ損失ヲ好ミ以テ不信用者ト取引ヲ爲ス有ンヤ是レ實ニ一夫之ヲ守レハ百万ノ敵兵モ

踰ルコトヲ得サルノ天險ニ非スヤ又別ニ人造ノ關門アリ證據金はナ
リ即チ幾分カハ信用スルモ若シ十分ナラスト認ムルハ雙方共ニ
賣買代價ノ一割ヲ出シテ其信用ヲ確カメ以テ損失ヲ救フコトヲ得ヘ
シ此二種ノ關門ノ要害ハ些些タル身元金ノ企テ望ムヘキ所ノ者ニ
非ス彼ノ數百千万圓ノ大取引ヲ爲ス場合ニ於テ僅ニ三百圓乃至三
千圓許リノ身元金ハ果シテ何等ノ保證ニ充ツヘキヤ又某論者ノ初
メハ嚴肅ニシテ徐徐ト寛裕ニスルヲ望ムト云フハ一應ノ道理アレ
ト此ハ尋常ノ場合ニ言フヘキコトニシテ本案ノ如ク廣ク打開キテ何
人ニテモ會員タルコトヲ得セシメナカラ却テ圓整方柄ナル身元金ヲ
以テ保證セシムル如キ凹凸諧ハサル場合ニ言フヘキコトニ非ス故ニ
内閣ノ原案ノ旨趣ニ從ヒ身元金ノ一事ハ削除ニ付シ萬一日後ニ弊

害ノ生スル有ラハ其時ニ至リテ此制限ヲ設クルモ晩カラシ況シテ
萬萬其虞レナキヲヤ少シク過激ノ言ニ似タレト修正案ノ維持者ハ
第一ニ誤解ヲ爲シ第二ニ實際ニ適スト自認セラル、モ反テ内閣ノ
憂慮スル弊害ニ陷ラントス是レ善ク言ヘハ親切惡ク言ヘハ老婆心
ニ出ルニ過キス要スルニ此事ハ本法ノ眼目ニ係レハ本員ハ熱心以
テ原案ヲ維持シテ内閣ノ旨趣ヲ貫徹セシメサル可カラサルナリ
○議長 已ニ午時ヲ過キタレハ一旦退場シ午餐後更ニ開會セン

午後第一時閉場

午後第二時開場

退席

七番

大迫 貞清

- 同 二十六番 岩村 定高
- 同 二十九番 岩下 方平
- 同 四十七番 上杉 茂憲
- 同 六十二番 大鳥 圭介

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○六十八番 三浦安 本官等調査委員ト爲リテ新タニ朱書第十三條會員身元保證金ノ事項ヲ加ヘシニ各位中多ク其當否存廢ヲ論シ殊ニ内閣委員ハ本官等ノ此條ヲ加ヘテ之ヲ維持スルハ二個ノ誤解ニ因由スル旨ヲ辯セリ其言ニ農商務省ノ上申案ヲ取捨セルモ其起草ノ旨意ヲ誤解シ併セテ内閣ニ於テ上申案ヲ修改セシ旨意ヲ誤解セリト云ヘリ然ルニ自己ノ意見ヲ主持シテ他人ノ意見ヲ斷セハ議場ノ論

辯ハ悉皆誤解ニ非サル無ケン本官等決シテ誤解セス請フ其自由ヲ述ヘン最初農商務省ノ起稿セシ取引所條例ハ仲買組織法ニテ成立セリ西洋各國共ニ些少ノ異同ハ有ルモ壞地利ノ例ハ較ヤ此ノ如シ然ルヲ内閣ハ之ヲ會員組織法ニ修改セリ思フニ是レ仲買ノ勢力ノ偏重ニ傾ムクヲ避タルナル可シト雖此力爲メニ折角ト主務省カ會員ノ身分資格ヲ確メシ所ノ身元保證金ヲ除キ去リ此身元保證金タモ供出スル能ハサル無資力者ヲシテ會員ト爲リ自由勝手ニ取引所ニ出入スルヲ得セシムルハ不取締ニ非スヤ蓋シ是レ仲買組織法ヲ打破ラント欲シテ却テ取捨其宜シキヲ失フ者トス然ラハ本官等ノ此條ヲ加ヘシヲ目シテ主務省ノ旨意ヲ誤解セリト謂フヲ得ヘキカ乃チ彼此ノ意見ノ相合フテ然ラシメタルノミ本官等尙ホ主務省

ノ意見ヲ寛和シ新加第十三條ヲ以テ身元保證金ヲ三百圓乃至三千圓ト定メタリ若シ甲乙ノ間ニ議論ノ合ハサルヨリ漫ニ誤解ノ語ヲ下サハ或ハ一場ノ紛紜ヲ生セントス故ニ最初主務省ノ仲買組織ニ編成セシモ其見識ナリ爾後内閣ノ之ヲ修改シテ會員組織ト爲セシモ其見識ナリ本官等ノ會員ノ身分ヲ確カメン爲メニ更ニ身元保證金ヲ設ケタルモ亦其見識ナリ斯ク斷案ヲ下シ來レハ決シテ其誤解ニ非サルコトヲ知ル可シ内閣委員ハ其言語上ヨリ或ル感觸ヲ道理外ニ與ヘント欲シテ漫ニ誤解ナリト云ヒ以テ本官等ノ修正ノ旨意ヲ抹殺セント試メリ如何ソ之ヲ辯排セサルヲ得ンヤ畢竟農商務省ノ身元保證金ヲ要シタルハ誰彼ヲ論セス群集雜沓スル取引所ヲ設立センヨリハ寧ろ穩當ナル制限ヲ設ケ身分資格ノ取引所會員タルニ

恥サル者ヲ以テ之ヲ組織シ事業漸ク擴張シ善良ノ風習稍ヤ行ハルニ及ヒテ其制限ヲ解キ以テ區域ヲ廣ムルヲ容易ナリト爲セルニ由ルナラン然ルヲ内閣ニテ會員組織ニ改修スルト同時ニ要用ナル身元保證金ノ跡ヲ留メスシテ一筆ニ抹却セシハ少シク汎濫ニ過クルノ憾ミ無キ能ハス又其仲買ト會員トノ權力ノ輕重ヲ比較スルハ仲買ハ自己勝手ニ取引スル能ハス甲乙丙丁ヨリ賣買ヲ委託セラレテ始メテ其事ニ從ヒ常ニ他人ノ名義ヲ以テ取引セサルヲ得サルモ會員ハ之ニ反シテ其信用上ヨリ他人ノ委託ヲ受ル有レハ自己ノ名義ヲ以テ隨意ニ取引スルヲ得ルナリ然ラハ會員ハ仲買人ニ比スレハ一層ニ權力重クシテ幾多ノ便利ヲ有スル者トス若シ内閣委員ニシテ會員ハ無權力ナルカ故ニ身元保證金ヲ要セスト云ハハ一理ア

ルニ似タルモ敢テ然ク云フコヲ得サラン且ヤ内閣委員ハ若シ取引
 上ニ混雜ヲ生シ不都合ヲ醸スコ有ラハ其時ニ於テ取締法ヲ設クル
 モ可ナリト云フモ現ニ今日ノ相場會所ノ弊習ヲ認メテ一旦之ヲ打
 破リ更ニ清潔ナル取引所ヲ設立セントスルハ是レ本案ヲ發布スル
 ノ要領ナラン是ヲ以テ本官等ハ今日ヨリ相當ノ制限ヲ設ケ後來ニ
 弊害ヲ生セサラシメンコヲ謀レリ凡ソ人間社會ニ在テハ多ク財産
 ヲ有スル者ハ其地位自ラ高ク貧困者ハ自ラ鄙野ニ流ル故ニ誰彼ヲ
 論セス苟モ商人タル者ハ一切ニ會員タルヲ得セシムルハ其規模ニ
 於テハ觀ル可キモ從來ノ弊風ヲ矯メント欲スル盛意ニ齟齬セン故
 ニ此條ヲ以テ會員ノ身元ヲ確カムルハ寬嚴其中ヲ得ルニ庶幾ラン
 況シテ其身元保證金モ三百圓以上三千圓以下ト定メタレハ東京大

坂等ノ繁華ノ都府モ僻遠ナル市邑ニテモ其場所ト身分トニ應シテ
 之ヲ適用スルコヲ得ヘキヲヤ且夫レ此修正案ノ如クスレハ假令ヒ
 財産ニ富マサルモ才力アリ識見アリテ取引所會員タランコヲ望ム
 者ハ何方ニカ依頼シテ此保證金ヲ調達シ容易ニ會員タルコヲ得テ
 其資格ヲ保ツニ至ラン然ラハ此取引所ヲ相當ノ位地ニ置キ其業務
 ヲ整頓セント欲スルニハ身元保證金ヲ設クルノ外別ニ施ス可キノ
 方法無ラン手短カニ之ヲ言ハハ誰彼ヲ問ハス來リテ會員タルヲ得
 セシムル汪洋ナル制ヲ取ルカ又ハ相當ノ資格ヲ有シテ中等以上ニ
 位スル身柄ノ者ヲ以テ清潔ナル取引所ヲ設立スルカノ二者ノ一ニ
 出ルニ外ナラス本官等調査委員ハ即チ此第二ノ方法ヲ取レルナリ
 然ルヲ内閣委員ハ誤解ト云ヘル一言ヲ以テ新加第十三條ヲ挫折セ

ントスルハ其語辭甚タ巧妙ナルモ本官等ノ意見ノ存スル所ハ略ホ
前述セル所ノ如シ因テ各位ノ之ヲ以テ誤解ニ出タリト認ムル無ラ
ンコヲ望ム

○議長 四十八番ノ動議ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者十二人

○議長 少數ナルヲ以テ四十八番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 昨日不參セシ議官ニ告ク第十三條第十四條方サニ問題ニ在
リ

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ本案ニ可決セリト認メ次條ニ移ル

書記官 森山 朗讀

第十二條 五 取引所ノ會員ニシテ不當ノ舉動ヲ爲シ爲ニ取引所内ニ

於テ紛擾爭論ヲ醸スカ法律命令ニ反シタル不正ノ契約ヲ爲スカ
及規約 違
又ハ故意ニ其商業上ノ責任ヲ果サ、ルトキハ役員ノ決議ヲ以テ
百圓以内ノ過怠金ヲ課シ一時若クハ永久ニ取引所ヨリ之ヲ除名
スルコトヲ得

○十八番 榎村 正直 内閣委員ニ質問セン本條ニ「法律命令ニ反シ」ト有ル
ヲ調査委員ハ「法律命令及規約ニ違反シ」云ヤト修正セリ此ニ法律
命令ニ違反シタル者ヲ取引所役員ノ決議ヲ以テ過怠金ヲ科シ除名
スト爲セシ以上ハ最早其事結局シテ別ニ法律上ノ處罰ヲ加ヘサル
ヤ或ハ法律上ノ處罰ハ先ツ之ヲ行ヒ然ル後チ更ニ本法ノ處分ニ及
ホスヤ從前ノ例ニ從ヘハ會社又ハ其會員ノ規約ハ内輪ノ間ニ成
リ法律命令ト同視ス可キ者ニ非サルカ如シ敢テ其意ノ在ル所ヲ問

フ

○外岩崎小 一番二 質問ノ旨意ハ充分ニ知得セサルモ其大概ヲ推測シ

テ之カ答辯ヲ爲サン十八番ノ説ノ如ク規約ノ文字ハ調査委員ノ修正ニ出テ本員モ亦之ニ同意セリ若シ之レ無キハ規約ニ違反セシ者ヲ處分スルヲ得サラン抑モ法律命令ニ違反シ不正ノ契約等ヲ爲ス如キ法律上其制裁アルモノハ法律自ラ之ヲ制裁スルハ當然ナリ而シテ本案ニ規定スル所ハ此等ニ關セス專ラ取引所役員ノ決議ヲ以テ過怠金ヲ科シ除名ヲ爲スヲ得ルナリ

○十八番榎村正直

内閣委員ノ答辯ヲ得テ了解セリ然ルニ法律命令ニ違反シタル者ハ法律命令ヲ以テ處罰スルハ事理ノ順序ニシテ當然ノ處分トス既ニ本條例ニ於テモ幾多ノ裁制ノ存スル有リ蓋シ若シ罰

則上處罰ス可キ明文ナクンハ已ム苟モ法律ヲ以テ之ヲ罰シ尙ホ取引所役員ノ決議ニ任セテ處分セシムルヲモ同一法律文ニ掲載スルハ體裁其宜キヲ得ス故ニ本官ハ「法律命令及」ノ文字ヲ削リ其語句ヲ縮メ紛擾爭論ヲ醸スカ規約ニ違反シタル云々ト修正セント欲ス現行株式取引所條例及ヒ米商會社條例ニモ規約ニ背犯シタル者ノ處分法ハ存スレモ法律命令ニ違反セシ者ト同視シテ之ヲ法律文ニ掲載シタルノ例ヲ見ス是レ寧ロ體裁ヲ失スル者トス幸ニ賛成者ヲ得テ問題ト爲ランヲ望ム

○三十六番岩山敬義

十八番ノ動議ヲ賛成ス法律命令ニ違反セシ者ヲ罰スルハ既ニ第六條ニ其明文アレハ本條ニ之ヲ掲クルヲ要セサルナリ

○議長 十八番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○五十八番 渡邊清 本條ハ第六條ト同視ス可キニ非ス第六條ハ取モ直サス賣買取引上法律命令ニ違反シタル場合ノ處分法ニシテ專ラ賣買取引ニ關スルモ本條ハ法律命令及ヒ規約ニ違反シタル不正ノ契約ヲ爲セル場合ノ處分法ニシテ單ニ契約上ニ係リ而シテ實ニ其罪ニ該ルカ該ラサルカハ猶未タ定ラス民法ニ於テ所謂ル錯誤或ハ瑕疵トモ云フ可キノ場合ナラン例ヘハ詐偽或ハ偽書偽判ノ所爲ト認メ法律命令ニ違反シタル不正ノ契約ナリトスルモ事實ヲ查明シ其證據ナキハ刑事ノ處分ニ涉ラスシテ已ムコト有リ然レモ修正説ノ如ク規約ノミニ止メハ法律命令ニ違反シタリトスル場合ノ處分ニ支障シ且較ヤ事體ノ鄭重ヲ闕クヲ免レス畢竟本條ハ取引所ノ信用

ヲ重カラシムル爲メニ一種ノ特別ノ處分法ヲ許可セルナレハ主務省ノ草案モ内閣ノ下付案ト同シク此事ヲ規定セリ敢テ本案ノ如ク議定センコトヲ請フ

○十八番 榎村正直 調査委員ノ辯明ヲ聞クニ法律命令ニ違反シタル不正ノ契約ト認ムルモ時トシテハ刑罰ニ觸レサルコト有リ其場合ニ於テハ取引所役員ニ限り處分セシムルナレハ本案ノ如ク議定スヘシト云ヘリ是レ本官ノ解セサル所ナリ法律上ニ明文ナク罰ス可キ限リニ非サル者ハ固ヨリ之ヲ罰ス可カラス然ルヲ取引所役員ヲシテ過怠金ヲ科シ或ハ除名ヲ爲サシムル等法律以外ノ事マテモ法律ニ於テ斯クセヨト命令スルハ如何ニ取引所ノ信用ヲ厚フシ事體ヲ鄭重ナラシムルト云フモ餘リニ權衡ヲ失スルニ非スヤ故ニ本官ハ必此

法律命令ノ文字ヲ削除セント要スルナリ調査委員ハ又云フ農商務省ノ提出セシ草案ニモ法律命令ノ文字ヲ掲クト然ルニ曾テ農務次官ヨリ本官等ニ寄贈セシ草案ニハ此文字ヲ見ス只其第十八條ニ「取引所會員又ハ仲買人取引所ノ規約ニ背反シ又ハ紛擾爭論ヲ醸シ若クハ不正ノ行爲アルトキハ役員ノ決議ヲ以テ百圓以内ノ過怠金ヲ徵收シ又ハ其入場ヲ一時中止シ若クハ之ヲ除名スルコトヲ得但仲買人ヲ除名スルトキハ農務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ト有リ恐クハ五十八番ノ言或ハ誤レル無カラシカ

○六十六番村田保 十八番ノ修正說問題ニ上リタルヲ以テ一言ス本官モ五十八番ノ解釋ハ其當ヲ得スト認ム問題說賛成者ハ法律命令ニ違反シタル者ノ處分ハ第六條ニ規定セシヲ以テ本條ニ掲ルヲ要セ

スト述ヘリ其法律命令ニ違反シタル場合ハ同一ナルモ第六條ハ農務大臣之カ處分ヲ爲スニ在リテ其職權ヲ示シ本條ハ專ラ取引所役員ノ決議ヲ以テ之カ處置ヲ爲サシムルノ權限ヲ與フルナリ故ニ第六條ハ即チ第六條ノ用ヲ爲シ本條ハ別ニ本條ノ用ヲ爲ス彼此自ラ區別アリテ固ヨリ同視ス可キニ非ス又十八番ハ法律命令ニ違反シタル者ハ宜ク法律命令ヲ以テ處斷スヘク更ニ取引所役員ノ決議ニ任セテ二重ノ處罰ヲ行ハシムルハ不可ナリト論セシモ本官ハ内閣ニ於テ本條ニ法律命令ノ文字ヲ加ヘタルハ至當ナリト信ス果シテ十八番ノ修正ノ如クスレハ取引所規約ニ違反シタル者ハ役員ノ決議ヲ以テ過怠金ヲ科シ除名ヲ爲スコトヲ得ルモ法律命令ニ違反シタル者ニ至テハ其處分ヲ施スコトヲ得サラン是レ寧ロ失當ナラスヤ

然ラハ法律命令ニ違反シタルモ規約ニ違反シタルモ均シク不正ノ契約又ハ故意ニ商業上ノ責任ヲ果ササル者ニ對シ役員ノ決議ヲ以テ過怠金ヲ科シ或ハ除名ヲ爲スコヲ得セシムルハ當然ノ事理ナリ論者ハ其處罰ノ二重ニ涉ルヲ不是ナリト云フモ獨リ本案ノミナラス官吏懲戒例、華族懲戒例ノ如キ皆然リ故ニ本案ニ於ルモ法律命令ニ違反シタル者ハ取引所役員ノ決議ヲ以テ過怠金ヲ科シ若クハ除名ヲ爲スコヲ許スハ立法上已ムヲ得サルノミ切ニ問題說ノ成立セサランコヲ望ム

○十八番 横村 正直 六十六番ノ陳辯ヲ聞クモ本官ハ自說ヲ變スル能ハス畢竟法律ニテ罰ス可キ事項ヲ更ニ取引所役員ニ處分セシメ剩サヘ之ヲ法律文ニ明掲シ法律外ノ處分法マテモ規定セントスルハ本官

ノ取ラサル所ナリ若夫レ取引所ノ規約ニ其明文ヲ掲ケ農商務大臣ノ認可ヲ經テ本條ト同様ノ效力ヲ有セシムルナラハ本官敢テ異議ヲ容レス元來規約トハ取引所内ニ於ル互相ノ約束ニ成リ主務大臣ノ認可ヲ得テ施行スル者ナレハ素ヨリ法律命令ト異ナリ本官到底此事ヲ削除センコヲ要ス

○三十六番 岩山 敬義 本官ハ問題說ノ賛成者ナリ六十六番ハ本官ノ第六條ヲ引用セシヲ解ス可ラスト云フカ如キモ本官ハ却テ六十六番ノ言ヲ解ス可ラスト信スルナリ前キニ本官ノ第六條ヲ引用セシハ既ニ第六條ニ於テ法律命令ノ違反ハ農商務大臣除名ヲ爲ス等ノ處分法ヲ立タレハ敢テ第十五條ニ於テ取引所役員ニ權力ヲ假シ以テ會員ヲ除名セシムルコマテヲ法律文ニ掲ルヲ要セサレハナリ若シ此

處分法ヲ必用トセハ自ラ取引所規約ノ在ル有リ其條款中ニ掲ケテ以テ法律命令ノ違反者ヲ處分セシム可キノミ

○二十五番 編貫 吉直 本條ニ對シ諸說紛々タリ本官ハ本條中ノ「役員ノ決議ヲ以テ百圓以内ノ過怠金ヲ科シ」云云ノ一項ヲ削除センコトヲ要ス此ニ之ヲ掲ルモ實際ニ功用ナカラシテ令違反者ト認ムルモ彼レ抗辯シテ過怠金ヲ供出セサルハ刑事裁判所ニ求刑シテ其金額ニ相當スル日數ノ禁錮ニ換フコトヲ得ヘキカ是レ決シテ行ハレサラン民事裁判所ニ出訴シテ違約者ト爲シ純然タル民事上ノ手續ヲ經ヘキカ是亦決シテ能ハサラン故ニ法律上此ノ如キ事項ヲ掲ルモ其功用ナケン十一年第八號布告株式取引所條例第二十三條ニ「取引所諸役員職務上ノ責任權限等ハ其取引所ニ於テ適當ノ規程ヲ設ケ

之ヲ定款中ニ記載スヘシ」ト有リシニ十五年第六十四號布告ヲ以テ「取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其違約ニ依リ取引所ノ取引上ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トヲ其者ノ證據金及ヒ身元金ヲ以テ償ハシメ其者ヲ除名スルニ止ルヘシ」ト改メ以テ賠償ノ質物ト爲セリ然ラハ本條ニ於テモ私約上ノ事件ハ被罰中ニ入レサルヲ要ス既ニ過怠金ト云ヘハ損害ノ賠償ニ非スシテ被罰ノ性質ト爲ルコトヲ恐ル故ニ法律中ニハ之ヲ除キ而シテ取引所規約中ニ掲ケテ可ナランノミ

○議長 二十五番ニ告ク是レ一個ノ動議ト認ム今ヤ十八番ノ動議問題ニ在レハ其成否決定ノ後ニ提出セヨ

○議長 十八番ノ說ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ十八番ノ修正説ハ消滅ス

○五十六番 中村正直 本官一ノ修正説ヲ提出ス即チ「法律命令」ノ上ニ賣買取引所ノ五字ヲ加ヘ「及規約」ノ三字ヲ削ラントス單ニ法律命令ト言フハ茫漠トシテ解釋ニ困シム且其規約ノ如キハ自ラ法律命令ノ中ニ包含スル者ト信ス

○議長 五十六番ノ修正説ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○二十五番 綿貫吉直 本官ノ修正ヲ要スル旨趣ハ前キ已ニ陳述シタレハ各位之ヲ知ラレシナラン即チ「百圓以下」ノ過怠金ヲ科シ「云云」ヲ削除シ而シテ十五年第六十四號布告ヲ以テ株式取引所條例ニ改正ヲ加ヘタル如ク取引所ニ損害等ヲ蒙ムレルハ身元保證金ヲ以テ賠

償スル者ト爲サンコトヲ希望スルナリ

○三十番 宮本小一 二十五番ハ取引所ノ事ニ關シテハ實際ニ經驗アレハ其説ノ確當ナルヘキヲ以テ之ヲ賛成セントスルモ少シク解セサル所アレハ之ヲ問ハン從前ノ法律ニ過怠金ヲ科スルコトヲ規定セシ者間マ之レ有ルヲ覺フ今其金額ノ多少ハ姑ク置キ二十五番ノ言ノ如クハ假令過怠金ヲ科スルコトヲ法律ニ掲載スルモ或ハ徒法ニ屬シテ實行スル能ハサルヨリ其動議ヲ發スルニ至リシヤ

○二十五番 綿貫吉直 過怠金ヲ科スト言ヘハ恰モ罰金ヲ科スルカ如シ私罰ニ等シキ事項ヲ法律ニ掲クルヲ不可ナリト思惟スルカ故ニ「百圓以内」云云ヲ削除セント欲スルナリ

○三十番 宮本小一 略ホ二十五番ノ旨趣ヲ解セリ其修正文ハ「役員ノ決議

ヲ以テ一時若クハ永久ニ云云ト接續セシムルヤ或ハ別ニ文字ヲ加
ルヤ

○二十五番編實 吉直 唯吾カ修正ノ意見ヲ述タルノミ畢竟會員ニシテ不
當ノ舉動ヲ爲シ營業上不正ノ所爲アリテ取引所ニ多少ノ損害ヲ蒙
リタルハ其會員ノ身元保證金ヲ以テ賠償セシメ一時又ハ永久ニ
除名スルコトヲ得ルノ精神ト爲レハ足レルノミ

○議長 二十五番ノ動議ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○議長 他ニ發議ナクンハ本條ヲ可決セリト認メ次條ニ移ル

書記官森山 茂 朗讀

第三章 役員

第十三條六 取引所ニ役員ヲ置クコト左ノ如シ

一 理事長

一 理事

一 常置委員

第十四條七 取引所役員ハ一箇年ヲ以テ任期トシ會員中ヨリ多數投
票ヲ以テ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但理事長及理事ハ
會員ノ協議ニ由リ會員外ヨリ選舉スルコトヲ得

任期中ト雖モ其職務ヲ盡サ、ルカ又ハ不正ノ所爲アルトキハ會
員ノ決議ヲ以テ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ退職セシムルコトヲ
得

○三十二番岡内 重俊 本官試ニ修正說ヲ提出セン第十七條ニ役員ハ一箇
年ヲ以テ任期トシ會員中ヨリ投票ヲ以テ選舉シ農商務大臣ノ認可

ヲ受クヘシト言ヒ其下ニ「但理事長及理事ハ會員ノ協議ニ由リ會員外ヨリ選舉スルコトヲ得」ト言ヘルヲ以テ或ハ上文ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ルハ勿論ナルモ但書以下ハ會員協議サヘスレハ農商務大臣ノ認可ヲ受サルモ可ナリト解スル有リ或ハ文意ヲ推究シテ認可ハ自ラ上文ニ含蓄セリト解スルモ有リテ各人ノ見解兩岐ニ涉ル無キヲ能ハス故ニ之ヲ修正シテ投票ヲ以テ選舉シ又ハ理事長及理事ハ會員ノ協議ニ由リ會員外ヨリ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシト爲サン此ノ如クセハ更ニ疑ヲ容ル無ケン

○議長 三十二番ノ動議ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○一番笑作 麟祥 本官ハ第十七條朱書第二項ノ冒頭ニ役員ノ二字ヲ加ヘント欲ス此項ニハ唯タ「任期中」ト雖モ其職務ヲ盡サ、ルカ又ハ不

正ノ所爲アルトキハ會員ノ決議ヲ以テ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ退職セシムルコトヲ得」ト言フノミナレハ其誰人ヲ任期中ニ退職セシムルヤ分明ナラス前後ノ文意ヲ考察スレハ或ハ誤解ナカル可キモ甚々明瞭ヲ缺ク又文章ノ體裁ヨリ觀ルモ第一第二ト項ヲ分ツ以上ハ其誰人ナルヲ容易ニ判知セシムヲ善シトス是レ本官ノ此修正説ヲ出ス所以ナリ

○六十八番三浦 安 賛成ス調査委員席ニ於テハ役員ノ文字ナキモ解得スルニ妨ケスト爲セシモ一番ノ説ヲ聞クニ及ヒテ更ニ之ヲ加フルノ可ナルヲ知ル

○議長 一番ノ動議ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○六十六番村田 保 本官等調査委員中ニモ一番ノ如キ説出タリシニ終

ニ之ヲ加ヘサリシカ再考スレハ第二項トシテ別ニ掲ル以上ハ役員ノ二字ハ要用ナルカ如シ因テ本官モ之ヲ賛成ス

○議長 一番ノ動議ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ一番ノ修正説ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第十五條 八 理事長及理事ハ其在任中取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ許サス

コトヲ許サス

第十六條 九 取引所ノ役員ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ農商務大臣ノ認可ヲ經其業務ニ關シ規約及細則ヲ定ムルコトヲ得

認可ヲ經其業務ニ關シ規約及細則ヲ定ムルコトヲ得

○議長 可決ト認ム

書記官 森山茂 朗讀

第四章 仲買人

第十七條 一 取引所ニ仲買人ヲ置ク仲買人ハ他人ノ委託ニ由リ賣買取引ヲ爲スヲ以テ業トシ自己ノ爲ニ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

取引ヲ爲スヲ以テ業トシ自己ノ爲ニ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條 一 仲買人ノ營業ハ一部ニ限り數部ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第十八條 二 仲買人タラント欲スルモノハ農商務大臣ノ免許ヲ受ク

ヘシ之ヲ受ケタルトキハ免許料金五十圓ヲ納ムヘシ

○議長 可決ト認ム

書記官 森山茂 朗讀

第十九條 三 仲買人タルヘキモノハ取引所會員ニシテ營業保證金一

千圓以上二萬圓以下ヲ差出スコトヲ要ス

第二十條 取引所ノ仲買人ニシテ必要ノ資格ヲ失フトキ又ハ其業務ヲ怠ルトキハ仲買人タルコトヲ差止ムヘシ

退席

五十一番 調所 廣丈

同

六十二番 大鳥 圭介

○六十五番 清岡 公張

第二十三條ニ聊カ修正ヲ加ヘン此說ハ已ニ調査委員席ニテ提唱セシモ終ニ採用セラレサリシ因テ今之ヲ提出シ其成

否ヲ試ミントス抑モ本案ハ原案ニ比スレハ稍ヤ穩當ヲ得タルモ獨リ仲買人ノ資格ヲ定ムルニハ不可ナル者アリ原案第十二條ニ「取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ル者ハ其取引所所在ノ地ニ居住シ取引所ニ於テ賣買取引スヘキ物件ノ一種若クハ數種ノ商業ニ從事シ會員タルノ義務ヲ盡スコトヲ得ル者ニ限ル」ト言ヒテ先ツ會

員ト爲ル者ノ資格ヲ定メタルモ本案第十二條ハ「會員タルコトヲ得ル者ハ其取引所所在ノ地ニ居住スル商人ニシテ會員タルノ義務ヲ盡スコトヲ得ル者ニ限ル」ト修正セシヲ以テ其區域廣濶ニ變シ凡ソ商人ナレハ如何ナル物件ノ商業ニ從事スルヲ問ハス何人ニテモ會員タルヲ得ルコト爲レリ思フニ會員ニ在テハ不可ナル無キモ本條ニ規定スル仲買人ハ其業務甚タ世上ノ信用ヲ占メ巨額ナル賣買品ノ委託ヲ受ケ商業社會ニ必要ナル機關ト爲リ專ラ取引所全體ノ興廢ニ關係スル者ナレハ其性質ヲ鞏定セサル可カラズ然ラサレハ徒ラニ不良ノ徒ノ集合所ト爲ランノミ既ニ會員資格ノ區域ヲ廣メタル以上ハ仲買人ノ性質ニ相當ノ制限ヲ立テ張弛其宜キヲ得セシメ弊患ヲ未萌ニ防ク可キハ自然ノ理勢ナリ從來仲買人ハ資力モ無ク

識見モ無ク隨テ世間ノ輕蔑スル所ト爲リテ之ニ才取ナル名目ヲ付シ如何ニモ無賴者ノ爲ス可キ業務タル如キノ感觸アリ然ルニ歐米諸國仲買人ノ風俗業體ハ大ニ之ニ反シテ甚タ嚴正ナル者ナリト云フ思フニ此條例ニ依テ設立スル取引所ハ文明諸國ノ成例ニ則トリ我國ノ慣行ヲ酌ミタル者ナレハ其仲買人ノ業務及ヒ其責任ノ重大ナル固ヨリ從前ノ比ニ非ス幸ニ仲買人其人ヲ得テ取引所ノ面目一洗セハ商業社會ノ改良モ足ヲ跂テ期ス可キナリ不日ニ商法ノ編制成リテ之ヲ實施スル場合ニ至ラハ仲買人ハ最も重要ノ地位ヲ占ム可シト信ス現行米商會社條例ニ依ルモ仲買人ハ會所所在ノ地ニ滿一年以上住居シ米商ヲ爲シタル者ニ限レル程ニテ仍是レ其性質ニ制限ヲ設ケリ本案特リ放任ニ付シテ可ナランヤ若シ濫リニ寬優ノ

ミヲ事トセハ折角ノ改良モ遂ニ其目的ヲ達スル能ハサラン故ニ本官ハ第二十三條ヲ修正シ仲買人タルヘキ者ハ一ケ年以上其取引所ニ於テ賣買取引スヘキ物件ノ一種若クハ數種ノ商業ニ從事シタル會員ニシテ營業保證金一千圓以上二萬圓以下ヲ差出スコトヲ要スト爲サント欲ス其一ケ年以上ノ文字ハ現行米商會所條例ニ取レリ或ハ之ヲ二ケ年三ケ年ト延ルモ可ナラン取引所ニ於テ云云ノ文字ハ原案第十條ニ依リ此以下ナル營業保證金云云ハ直ニ本條ノ文字ヲ襲用セリ但本條例ニ規定スル會員ト仲買人トノ保證金ニハ甚タ徑庭アリテ仲買人ハ多クシテ會員ハ少ナシ其然ル所以タル若シ會員ニ對シテ嚴制ヲ設クルハ商人ノ會員ト爲リテ隨時任意ニ出入スルヲ妨ケ商業ノ不活潑ヲ致スヲ懼レテナリ會員ヲ處スルニハ此

ノ如クシテ可ナルモ仲買人ハ是ト異ニシテ許多ノ資本ヲ預リ彼我
ノ委託ヲ受ケ專ラ信用ヲ要スルナレハ一ニ保證金ノミヲ以テ足レ
リトセス尙ホ制限ヲ立テ相當ニ其營業上ノ經驗アル者タラサル可
ラス然ラサレハ新ニ取引所ヲ設置スル商事改良ノ主旨ニ背カン彼
ノ代言人ノ如キモ試験ヲ受ケシメ合格者ヲ以テ其業ニ從事セシム
ルニ非スヤ然ルヲ他人ヨリ財産ノ委託ヲ受ケ賣買取引ヲ堅固ニ取
扱フ仲買人ニシテ其實際ノ業務ニ通熟セスシテ可ナランヤ賛成者
ヲ得テ此說ノ問題ト爲ランコトヲ望ム

○六十番縮本
正隆 六十五番ノ說ノ如ク仲買人ニ制限ヲ立テ其信用ヲ厚
カラシムルハ今回取引所ヲ改良スル旨意ニ適ハン只聊カ問フ可キ
ハ修正文ニ據ルニ仲買人ト爲ルニハ一年以上其取引所ニ於テ賣買

取引スヘキ物件ノ一種若クハ數種ノ商業ニ從事シタル會員ニ非サ
レハ能ハス今ヤ新タニ取引所ヲ設クルナレハ其一年以上從事スト
ハ未タ從事セサル者ニハ一年以上從事セシ後ニ仲買人ト爲ルヲ許
スノ意ナリヤ

○六十五番清岡
公張 一年以上トハ例ヘハ米商ナラハ一年以上取引所ニ
於テ米商營業ニ從事シ其賣買取引ノ事柄ヲ熟知セル者ヲ謂フノ意
ナリ昨日マテ官吏タリ或ハ小使タル者カ俄カニ取引所ニ飛込ミテ
仲買人ト爲ル如キコト有ラハ更ニ經驗モ無ク面識モ無ク實際不都合
千萬ナルヲ以テ兎モ角モ一年以上ハ其商業ニ從事セシ者ヲ以テ仲
買人タラシムルヲ要スルナリ

○六十一番林友
幸 本官モ賛成ノ意アルニ依リ一應質問セン只今六十

○番ノ質問セル如ク一年以上其商業ニ従事セシ者ニ非サレハ仲買人タルヲ得スト定ムルヤ新設ノ取引所ナレハ一年以上従事セシ者ハ差向キ之レ無キ筈ナリ發議者ノ意ハ一年以上其商業ニ従事セシ者ナラハ先ツ會員ト爲リ即日仲買人ト爲ルモ可ナリ其他ハ一年以上ノ經驗ヲ要スト云フニ在リヤ

○六十五番 清岡 公張 一年以上従事シトハ取引所ニ入レル以後ノ謂ヒニ非ス即チ原案第十條ニモ「取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ル者ハ」ト言ヘル如ク素ヨリ新設ニ係レハ取引所ニ於テ其賣買取引ス可キ物件ノ商業ニ従事セシ者ノ之レ無キハ勿論ナリ故ニ其一年以上云云ハ米商ニ在テハ米商業ニ茶商ニ在テハ茶商業ニ各曾テ其商業ニ従事セシ者ニ非サレハ仲買人タルヲ得セシメサルノ意ニシテ

經驗モ無ク隨テ信用モ無キ者ヲシテ之ニ當ラシムノ理ナケレハナリ

○六十一番 林友 幸 賛成ス

○議長 六十五番ノ動議ヲ問題トス念ノ爲メ書記官ニ修正文案ヲ朗讀セシメン

書記官 森山 茂 朗讀

第二十三條 仲買人タルヘキ者ハ一ケ年以上其取引所ニ於テ賣買取引スヘキ物件ノ一種若クハ數種ノ商業ニ従事シタル會員ニシテ營業保證金一千圓以上二萬圓以下ヲ差出スコトヲ要ス

退席 三十九番 石井 忠亮

○四十八番 細川 潤 次郎 仲買人ノ資格ヲ確定スル以上ハ務メテ會員タル

區域ヲ廣濶ナラシムルヲ要ス故ニ六十五番ノ仲買人ノ性質ヲ嚴格ニ規定セントスルハ本官素ヨリ同感ナルモ其修正文中僅ニ數字ノ意向ヲ殊ニスルヲ以テ遺憾ナカラモ賛成スルコト能ハス六十五番ノ趣意ハ一ヶ年以上取引所ニ於テ賣買取引スヘキ商業ニ從事シタル會員ヲ以テ之ニ充ント云フニ在ルモ本官ハ之ヲ延ヘテ五年以上ト爲サント欲スルナリ苟モ商人ニシテ其業體ニ熟練スルニハ幾多ノ歲月ヲ經サル可ラス殊ニ堂堂タル取引所仲買人其人ノ資格ヲ定ムル如キ五年以上ト爲スモ尙ホ充分ノ能力ヲ逞フスルヲ得サルコトヲ恐ル況ンヤ一年以上ノ短期間ニ於ルヲヤ是レ本官ノ問題ヲ賛成スル能ハサル一因ナリ又本官ハ別ニ一説アリ個ハ三十二番等ノ論述セシ身元保證金ト營業保證金トヲ重複セシムルヲ不可ナリト爲ス

是レナリ調査委員ノ言ニ依ルモ修正ヲ加ヘテ此重複ヲ避ルハ敢テ異議ナキカ如シ三十二番ヨリハ未タ修正ヲ發言セサルモ試ニ本官ノ修正ノ大意ヲ述レハ但身元保證金ハ營業保證金ニ算入スルコトヲ得ト云フニ在リ是レ本官ノ問題ヲ賛成スル能ハサル二因ナリ

○三十番宮本

現問題ノ關係タル極メテ重要ナリ元來取引所條例中仲買人ハ實ニ其眼目ニ居リ其人物ノ適否ニ因テ翻然取引所ノ風俗ヲ革ム可ク或ハ依然其弊習ヲ襲フ可シ故ニ深ク討議ヲ盡スヲ肝要トス六十五番ノ動議ハ其理アルカ如ク四十八番ノ豫陳說ハ修正ニ修正ヲ加ヘテ彌ヨ可ナルニ似タルモ畢竟此等修正說ノ出ル原因ヲ尋ヌレハ原案第十條ノ「賣買取引スヘキ物件ノ一種若クハ數種ノ商業ニ從事シ」云云ヲ抹銷セシヨリ本條ニ此事ヲ掲ルヲ要スルニ至

レルカリ思フニ彼ニ削レハ此ニ存セサルヲ得スト雖モ或ハ其實行
 上有名無實ニ流ル、如キ弊患ナキヤニ掛念ス例ヘハ何年間米商業
 ニ従事セシト云フモ其商人ハ僅カニ數俵ノ現米ヲ店頭ニ並列スル
 ノミニシテ敢テ其業務ニ従事セシト無キモ米商ハ即チ米商ナリト
 シテ仲買人タルヲ得セシメハ其人假令ヒ米商ノ名アルモ本ト其實
 ナク素人ト相距ルト幾許ソヤ若シ發議者ニシテ名案妙機ノ此弊患
 ヲ救済スル有リテ着實ニ商業ニ従事セシムルナラハ其仲買人ハ從
 前ノ才取ニ非スシテ眞ニ改正取引所仲買人タルニ恥サル可キモ然
 ラサル以上ハ何様ノ法令ヲ定ムルモ恐クハ徒法ニ屬セン尙ホ一事
 ノ憂フ可キハ今回ノ仲買人ハ營業保證金ヲ差出シ農商務大臣ノ免
 許ヲ受ル等其資格ノ立派ナル商人ヲ以テ之ニ充ルノ仕方ナルモ從

前ノ仲買人ハ左マテ身元財本ナキ者多キニ居レハ自然ニ世人ノ賤
 ム所ト爲レリ今ヤ純粹ノ商人ニシテ相應ノ資力ヲ有シ而シテ今日
 マテ經營セル自家ノ業務ヲ抛チ多年間他人ノ信用ヲ得タル著名ノ
 暖簾ヲ疊ミ剩サヘ巨額ノ營業保證金ヲ差出シテ取引所ノ仲買人タ
 ルトヲ熱望スル者アル可キカ若シ之レ有リトセハ是レ別ニ或ル目
 的ヲ有スル者ナラン故ニ本官ハ深ク其結果如何ヲ憂慮ス故ニ十分
 ノ考察ヲ下スニ非スンハ未タ遽カニ六十五番ノ動議ヲ賛成スル能
 ハサルナリ

退席

二十一番

神山 郡廉

同

四十八番

細川潤次郎

同

六十番

楠本 正隆

同

四十二番 井田 讓

○六十五番 清岡 公張 人人ノ意想各異ナレハ本官ハ修正ヲ加フルノ必要ヲ認ルモ他人之ヲ不是トセハ復タ奈何トモスル能ハス且ツ前述ノ外ニハ別ニ三十番ニ對シテ名案妙機ト稱ス可キ奥ノ手ヲ呈示ス可キ無シ現行法ト雖モ或ハ徒法ニ屬スルモノ有ラン新設ノ法律ハ其徒法ニ屬セシメサルヲ欲スルヤ勿論ナレモ實行ノ後ニ非サレハ容易ニ其成跡ノ如何ヲ斷言スル能ハス要スルニ實際ノ適否ト執行者其人ノ如何トニ存スト信スルノ外ナキナリ唯本官ノ憂フル所ハ本案ノ儘ニ經過スルモ或ハ其商業ニ通セス算法タモ知ラサル商人ニシテ一タヒ會員ト爲レル以上ハ何時ニテモ仲買人ト爲ルコト得テ折角ノ改正モ其實ヲ舉ル能ハサラントスルニ在リ然ルニ本官ノ

此制限ヲ設ケントスルヲ視テ本案ヲ徒法ニ歸セシムルノ幫助ヲ爲スト云フハ非ナラン又三十番ハ些少ノ現米ヲ店頭ニ置キ未タ其取引ヲモ知ラサル者ト雖モ自ラ米商ナリト云ハハ是レ米商ナリト難スレモ本官ハ敢テ其配慮ヲ要セスト信ス若シ三十番ノ云ヘル如キ者ヲシテ容易ニ取引所仲買人タルヲ得セシメハ實ニ徒法タルヲ免レサルモ主務省アリ地方官アリテ之ヲ監督シ又取引所役員ノ查察スルナレハ其取締甚タ備レリ彼レ豈ニ容易ニ欺罔スルコトヲ得ンヤ

○議長 討議已ニ盡タリト認ムルヲ以テ取決セン六十五番ノ動議ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者四人

○議長 少數ナルヲ以テ六十五番ノ修正説ハ消滅ス

退席

十二番

中村 弘毅

○十八番 榎村正直 第二十四條ニ修正ヲ加ヘン本條ハ調査委員ノ修正ニ成リ「仲買人ニシテ第十五條ニ掲クル所爲アルトキハ役員ノ決議ヲ以テ二百圓以内ノ過怠金ヲ科シ其營業ヲ停止若クハ禁止スルコトヲ得」ト爲セシモ本官未タ以テ充分ナリトセス何トナレハ其過怠金ヲ科シ一時營業ヲ停止スルハ役員ノ決議ニ任シテ可ナルモ其營業ヲ禁止スルハ稍ヤ重事ニ屬ス故ニ第二十四條ニ但書ヲ加ヘ但營業ヲ禁止スルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシト爲シ以テ此場合ニ於テハ必ス主務大臣ノ認可ヲ受ケシメント要スルナリ

○三十六番 岩山敬義 十八番ノ修正ハ深ク本官ノ心ヲ獲タリ是レ必ス主務大臣ノ認可ヲ取ラシム可キ者トス因テ之ヲ賛成ス

○議長 十八番ノ動議ヲ問題ト爲ス

○六十八番 三浦安 本官ハ調査委員ノ一人ナルニ拘ラス十八番ノ動議ヲ賛成ス是レ調査委員席ニ於テ其議ノ至ラサリシ所ナリ此修正ノ如クシテ始メテ完全ナルヲ得ヘシ

○議長 十八番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者三十二人

○議長 多數ナルヲ以テ十八番ノ修正ニ決ス

○三十二番 岡内重俊 第二十三條ノ營業保證金ハ第十三條ノ身元保證金ニ牽連シテ疑義ヲ存スレハ之ヲ修正セン其理由ハ前會ニ質問セシ并已ニ辯述セシヲ以テ此ニ再陳セス即チ第二十三條ニ但書ヲ加ヘ但仲買人ト爲リ營業保證金ヲ出スモノハ第十三條ニ掲クル身元保

證金ヲ出スニ及ハス然レトモ同條ニ依リ既ニ身元保證金ヲ出シタルモノニシテ本條ニ掲クル金額ニ滿タサルモノハ尙ホ本條ニ照シテ相當ノ金額ニ増加セシムヘシト爲スナリ其賛成ノ有無ハ措テ問ハス聊カ意見ノ在ル所ヲ陳フ

○議長 三十二番ノ修正說ハ賛成ヲ得サルヲ以テ消滅ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ第二十三條第二十四條ハ本案ニ可決セリト認ム

書記官 森山 朗讀

第二十一條 仲買人ハ自ラ取引所ノ賣買取引ニ從事シ代理人又ハ手代ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十二條 仲買人口錢ノ額ハ各取引所役員會議ニ於テ議決シ農

商務大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ定ム

○一番繁作麟祥 第二十五條ニ對シ字句ノ修正ヲ提出ス是レ本案ノ削除セシ取引所ノ四字ヲ原案ニ復スルニ在リ本案中多ク取引所ノ文字ヲ除ケルモ他所ハ役員等ニ冠ラスル場合ニ係リ敢テ別意有ラサルモ此第二十五條ノ場合ハ聊カ異ナリ抑モ本條ハ仲買人タル者自宅私店ニ於テハ代理人又ハ手代ヲ使用シテ妨ケ無キモ取引所ニ於テハ仲買人自身ニ非サレハ其賣買取引ニ從事スルヲ得サルノ主旨ヲ明示セリ思フニ調査委員ハ此ニ之ヲ掲ケサルモ讀者必其取引所ナルヲ知得ス可シトシテ削除セルカ人皆眼光紙背ニ透ル者ノミニ非スヤハリ之ヲ存スルニ如カス且商法草案中ニモ同一ノ文字ヲ掲ケリ若シ原案ニ無キ文字ナラハ強テ之ヲ加フルヲ要セスト雖氏已

ニ原案ニ掲クル者ナレハ之ヲ存スルヲ明白穩當ナリトス

○六十八番 三浦安 一番ノ言ハ至當ナリ之ヲ削リシハ疎忽ニ出ツ原案ニ復センコトヲ望ム

○議長 一番ノ動議ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○六十六番 保村田 六十八番ハ疎忽ニ削レリト云フモ本官ハ敢テ然ラズ一番ハ若シ取引所ノ文字ナキハ自宅ニテ營ム商業ニモ代理人手代ヲ使用スル能ハサル如キノ疑惑ヲ與フルコトヲ恐ル、ナランモ本條ハ元ト是レ第二十條ト同一ノ意味ニ係リ已ニ第二十條ニ於テ仲買人ハ取引所ニ置ク者タルコトヲ明示セシ以上ハ別ニ本條ニ取引所ノ文字ヲ存スルヲ要セス加之若シ之ヲ存スルハ第二十條ノ仲買人ハ自己ノ爲メ賣買取引ヲ爲スコトヲ得スト言ヘルニ對シ仲買

人ハ取引所外ニテモ自己ノ爲メニ商業ヲ營ム能ハサルヤノ疑惑ヲ來サン故ニ之ヲ削リシナリ

○一番 箕作麟祥 本官聊カ修正説ヲ提出セシニ調査委員中ノ一人ハ之ヲ賛成シ其一人ハ取引所ノ文字ヲ削リシハ反覆審議ノ末ニ出タレハ必ス本案ノ如クセント主持セリ然ルニヤハリ賛成者ノ言フ所其實ニ近キヲ覺フ反對者ハ第二十三條ハ第二十條ト同文意ナリト云フモ第二十條ハ全ク原案ニ從ヒ而シテ其冒頭ニ取引所ニ仲買ヲ置クト言ヒ首尾一貫シテ文意甚タ分明ナリ且ツ假令自己ノ爲メ賣買取引ヲ爲スコトヲ得スト言ヘルニモセヨ紙一枚筆一本ヲモ購買スルヲ得ストハ解セサル可シ然ルヲ第二十三條ニ取引所ノ文字アリトテ他所ニ於テモ取引スル能ハサル者トスル如キ誤解ヲ來スコトハ萬

モ之レ無ラン況シテ第十八條ニモ其文中ニ取引所ノ文字アリテ本條ト例ヲ同フスルヲヤ

○五十八番渡邊清 賛成ス六十八番ノ云フ如ク不用ノ文字ナリトシテ削去セシハ偶然ノ致ス所ナリシ

○議長 一番ノ提出セシ問題説ヲ可トスル者ハ起立セヨ
起立者二十六人

○議長 多數ナルヲ以テ修正ニ決ス

○議長 發議ナキヲ以テ第二十六條ハ可決ト認ム

書記官森山茂 朗讀

第五章 賣買取引

第二十三條七 取引所ニ於テ爲ス所ノ賣買取引ハ現物直取引及定期

約定取引ノ二様トス其方法ハ農商務省令及取引所ノ規約細則ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 取引所ニ於テ賣買取引スヘキ物件ノ種類ニヨリ農商務大臣ハ取引所外ニ於テ取引所ノ賣買取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲ爲スヲ禁スルコトヲ得

第二十五條 取引所ニ於テ賣買シタル物件ノ相場ヲ以テ公定相場トス

○議長 發議ナキヲ以テ朗讀セシ各條ハ可決ト認ム

書記官森山茂 朗讀

第六章 仲裁

第二十六條三 取引所ニ於テ爲シタル賣買取引ニ關シ爭論ヲ生スル

トキハ役員ニ申告シテ仲裁和解ヲ受クヘシ仲裁ノ取調ヲ受クルトキハ代理人ヲ出スコトヲ得ス

第二十七條 前條ノ場合ニ於テハ常置委員ノ多數說ヲ以テ其爭論ヲ裁決調停スヘシ

第二十八條 法律上ノ見解ニ關スルモノヲ除クノ外前條ノ裁決ニ對シテ裁判所ニ上訴スルコトヲ得ス

○議長 各條共ニ可決ト認ム

書記官 森山 朗讀

第七章 罰則

第二十九條 第五條第三項第九條第十五條及第十七條ヲ犯シタルトキ又ハ第二十三條ニ定ムル農商務省令及取引所ノ規約ニ違ヒ

賣買取引ヲ爲シタルトキハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第二十四條ニ依リ農商務大臣ノ禁止シタル賣買取引ヲ爲シタル者八十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 第二十五條ニ違ヒ公定相場ヲ偽リタル者八十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

○六十五番 清岡 公張 本家中ニ朱書第二十一條ヲ設ケタル以上ハ必之カ

裁制ナカル可ラス故ニ第三十三條ノ「第二十條」ノ下ニ第二十一條ノ五字ヲ加ヘン此修正ノ必要ナルハ別ニ多辯ヲ待タスシテ知ル可シ

○二十七番 伊丹 重賢 賛成ス第二十一條ヲ此ニ加フ可キハ勿論ナリ諸條ノ順序ニ種種ノ變更アリシヲ以テ偶然ニ遺脱セシナラン

○議長 六十五番ノ動議ヲ問題ト爲ス

○五十八番 渡邊清 本案ノ修正ハ極メテ火急ニ成リタルヲ以テ此遺漏ヲ致セリ因テ問題說ヲ賛成ス

○二十番 東久世通禧 調査委員ニ質問セン第四條ニ「農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ト有ルニ其處罰ヲ言ハス然ルニ第二十一條ニ限り罰則ヲ立ントスルハ彼此權衡ヲ得サルニ似タリ

○六十五番 清岡公張 第四條ノ事項タル農商務大臣ノ認可ヲ經サレハ之ヲ行フ能ハス是レ第二十一條ト異ナル所ニシテ初ヨリ罰則ヲ要セサルナリ

○十八番 榎村正直 六十五番ノ辯解ヲ聞クニ第四條ノ場合ハ主務大臣ノ認可ヲ受ルニ非サレハ分合ヲ爲ス能ハサルヲ以テ罰則ヲ要セスト云フ然ルニ第二十一條ニ於ルモ亦同シ仲買人タラントスル者ハ農

商務大臣ノ免許ヲ受ルニ非サレハ營業ニ從事スル能ハス若シ數部ノ營業ヲ兼帶セント欲スル有ルモ免許ヲ與ヘサレハ足レリ敢テ罰則ヲ要セス故ニ本官ハ問題說ニ反對ス

○五十八番 渡邊清 本官ハ問題賛成者ナルヲ以テ爲メニ一言セン第四條ハ取引所ノ分課ニシテ例ヘハ米商部ト云ヒ糸商部ト云フノ類ナラン而シテ其分合ハ必ス農商務大臣ノ認可ヲ受ルヲ要ス然ルニ第二十一條ハ取引所仲買人ノ營業ヲ規程シ凡テ其營業ハ一部ニ限り數部ヲ兼ヌルヲ得スト制限ス故ニ若シ罰則ヲ立テスンハ其從事ス可キ一種ノ商業ノ外ニ於テ隱カニ他ノ商品ノ取引ヲ爲スモ之ヲ制スルコトヲ得ス是レ第二十一條ノ罰則ヲ要スル所以ニシテ素ヨリ第四條ノ場合ト同シカラサルナリ

○十八番^{榎村} 第四條ニ對スル質疑ハ二十番ノ爲セル所ニシテ本官ハ止タ之ヲ引用シタルノミ單ニ言ヘハ第二十一條ニハ罰則ヲ設クルヲ要セスト云フニ過キス個ハ第二十二條ニ「仲買人タラント欲スル者ハ農商務大臣ノ免許ヲ受クヘシ」ト有ルカ故ニ若シ仲買人ニシテ不都合ノ出願ヲ爲サハ一切ニ之ヲ差止メ免許ヲ與ヘスシテ可ナルナリ又五十八番ハ第二十一條ハ專ラ仲買人ノ業務ニ係ルヲ以テ宜ク罰則ヲ加フヘシトノ旨ヲ辯セシモ已ニ第三十條ニ「但代言人ヲ出スコトヲ得ス」ト言ヒ第三十二條ニ「前條ノ仲裁ニ對シテ裁判所ニ上訴スルコトヲ得ス」ト言ヘル等皆禁止ノ例ニ係ルモ其罰例ヲ設ケス畢竟代言人ニ於テ引受ヲ爲サス裁判所ニ上訴スルモ受理セサル可キノミ

○六十八番^{三浦} 現問題ハ調査委員ノ一人ヨリ提出スル所ニ係リ其言ニ依レハ第二十一條ニ罰例ヲ立テサルハ遺脱セシ者ノ如ク論セシモ本官ノ考フル所ヲ以テスレハ是レ自ラ意味アリテ然セルナラシ取引所ノ場内ニハ限界ヲ設ケ而シテ仲買人ノ取扱フ商品ニハ區別ヲ存ス故ニ米商仲買人ニシテ株式仲買人ヲ兼帶セントスルモ能ハサル可シ本官ハ徐カニ第三讀會ヲ待チ果シテ罰例ニ掲クルノ必要ヲ感セハ其時ニ同意ヲ表センノミ然ルニ調査委員中ニ種種ノ異議ヲ生シ以テ多ク各位ノ辯論ヲ煩ハセルモ第二讀會ニ於テハ本案ノ儘ニ經過センヲ望ム

○二番^{尾崎} 本官モ調査委員ノ一ニ列セシモ本條ヲ修正セシ日ハ偶々^{三頁}闕席シテ其議ニ與カルヲ得サリシ退テ考フルニ第二十一條ノ

場合ハ仲買人ノ營業ハ特リ一部ニ限り免許セラレ敢テ數部ヲ兼ヌルヲ得ス若シ之ヲ犯シテ他部ノ取引ヲ爲セハ是レ即チ陰密ノ所爲ニシテ所謂ル法律命令ニ違反スルノ場合ヲ成スナラン然ルヲ第二十條等ノ場合ト同視スルハ少シク不倫ナルカ如シ本官ハ寧ロ第二條ノ農商務大臣ノ認可セサル商品ヲ取引スル所爲ノ法律命令ニ違反セル者ニ同視セントス蓋シ第二條ハ取引所全體ニ關シ第二十一條ハ仲買人一己ニ係ルモ其事柄タル相類ス故ニ本官ハ問題說ニ同意スルヲ能ハス

○六十五番 清岡 公張 反對論者ハ第二十條ト第二十一條ト其事柄ノ同シカラサル如ク論スルモ本官ハ斷シテ異ナラサル者ト信ス若シ第二十一條ノ場合即チ仲買人ニシテ數部ヲ兼業スレハ法律命令ノ違反

ヲ成スト云ハハ第二十條ノ場合モ同一ナラスヤ然ルヲ一ハ罰則ヲ設ケ一ハ之ヲ省クハ甚タ權衡ヲ得ス果シテ論者ノ言ノ如クンハ復タ一一ニ罰則ヲ掲クルヲ要セス法律命令ノ違反ヲ以テ處分セハ可ナランノミ本官敢テ問題說ヲ主持スル所以ノ者ハ從前ノ經驗ニ於テ仲買人ニ種種ノ弊習ヲ存シ向來ト雖モ陽ハニ米商ノ取引ニ從事シテ陰カニ株式ノ取引ヲ爲ス等ノ所爲ナキヲ保セス是ヲ以テ第二十一條ニ罰則ヲ付シテ實施ニ便ナラシメント要スルナリ

退席

十六番

伊集院兼寛

同

三十五番

楫取 素彦

○十八番 榎村 正直 發議者ヨリ數回ノ辯解ヲ爲セルモ本官未タ之ニ從フヲ得ス第二十一條ノ數部ヲ兼ヌルコトヲ得ストハ兼業ヲ爲スヲ

禁スルノ意ナレハ初ヨリ主務大臣ニ於テ免許ス可キニ非ス若シ仲買人ニシテ隠カニ之ヲ爲ス有レハ處スルニ法律命令ノ違反ヲ以テセンノミ何ソ之ニ罰則ヲ具フルヲ要セン若シ果シテ第二十一條ヲ以テ兼業ニ非ラス部外ノ取引ヲ爲ス者トセハ其明文ヲ掲ケテ部外ノ取引ヲ爲スヲ禁シ且之ニ罰則ヲ加ヘテ可ナリ此第二十一條ノ如キハ敢テ罰則ヲ加フルヲ須ヒス

○六十六番保村田 新設ノ取引所ハ米商ナリ系商ナリ各其部ヲ別ニシ冠ラスルニ商品ノ名稱ヲ以テシ且其仲買人ニハ銀牌ヲ佩ハシムル者ナリト聞ケリ又其仲買人ノ一分上ニ於テモ米商仲買人ハ自ラ米商仲買人ノ部類ヲ成ス系商仲買人等モ亦然リ其業務上判然ノ區別アリテ實際決シテ我カ受持ノ部類ヲ離レテ他部ノ取引ニ従事スル

如キ所爲ナカル可シ若シ米商仲買人ニシテ生系ノ取引ヲ爲スヲ望マハ生系仲買人ニ委囑スルナラン然ラハ別ニ罰則ヲ立ルヲ須ヒサル可シ

○五十四番田中芳男 本官ノ意見モ決シテ罰則ヲ要セスト認ム若シ第二十一條ニ違反セハ即チ法律命令ニ違反セル罰ニ處ス可キノミ

○議長 六十五番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ
起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ修正説ハ消滅ス

○三十二番岡内重俊 本官ハ第三十四條ノ次ニ第三十五條ヲ置キ此條例ヲ犯シタルモノニハ刑法ノ不論罪及減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒストノ條文ヲ掲ケント欲ス是レ煙草稅規則其他モ多ク然ルヲ

以テナリ

○三十番宮本一 此事項ハ他ノ法律規則ニモ多ク掲クル所ノ者ナルヲ以テ三十二番ノ修正説ヲ賛成ス

○議長 賛成者アリ問題ト爲ス

○六十六番村田保 三十二番ハ近來ノ法律規則ニ多ク掲クル所ノ事項ナルヲ以テ特ニ第三十五條ヲ加ヘント云フモ公證人規則其他ニモ問題説ノ如キ條文ヲ掲ケス殊ニ現行株式取引所條例、米商會所條例ニモ無キ所ノ者ナレハ本條例モ亦之ヲ省キタリト信ス且此ニ之ヲ掲ケサルモ刑法ノ總則ニ從ヘハ可ナリ別ニ一條ヲ設クルノ要用ヲ見ス

○三十二番岡内重俊 六十六番ハ現行條例ニ之レ無キヲ以テ此ニ掲クル

ヲ要セスト云フモ現行條例ハ十一年ノ布告ニ係レリ既往ハ兎モ角モ近來發布セル法令ニハ大抵其例ヲ同ウス若シ刑法ヲ適用スレハ足ルト云ハハ煙草稅則其他ノ法律ニ掲ケタルモ又不用ナリト爲サシ

○議長 三十二番ノ動議ヲ可トスル者ハ起立セヨ
起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ修正説ハ消滅ス

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ本案ニ可決セリト認ム

書記官 森山茂 朗讀

第八章 雜則

第三十二條 本條例施行ニ關スル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第三十三條 取引所ノ賣買ニ關スル稅則ハ別ニ定ムル所ニ依ル
 第三十四條 本條例ハ明治二十年 月 日ヨリ施行ス但米商會所
 條例及株式取引所條例ハ米商會所及株式取引所ノ營業滿期ヲ待
 ツテ廢止スルモノトス

○十三番加藤弘之 附則ニ對シ修正ヲ加ヘン調査委員席ニ於テハ但書以
 下ノ明文ヲ以テ本條例ヲ發布スルモ米商會所株式取引所ハ其營業
 滿期マテ之ヲ廢止セサルコトヲ示シタルハ餘程人心ヲ安ンスル結構
 ノ處置ナリト議決シタリ抑モ新取引所ハ其取引スル物品ノ界限甚
 タ廣ク單ニ米、株式、公債證書ニ止マラスシテ有リト有ラユル重要
 ノ商品ニ及フ故ニ本官初メ本案發布後人民新ニ出願シテ取引所ヲ
 設立スルモ米、株式、公債證書ノ外ナル諸商品ヲ取引スルノミ而シ

テ米商會所、株式取引所ノ其營業期限ノ最モ永キハ明治二十四年
 ニ及フヲ以テ其滿期ニ至ルマテハ米、株式、公債證書ニ限り依然其
 取引ヲ專占スル者ナリト解セシニ原案ノ旨意ハ然ラス此兩會所ハ
 各其營業滿期ヲ待チテ廢止スルニ止マリ新取引所ハ其設立後直ニ
 米、株式、公債證書ノ取引ヲ爲スヲ得ルニ在ルコトヲ知レリ因テ此
 意味ヲ附則ノ行文上ニ明示シ得ヘキ如ク修改セントノ論起リシカ
 遂ニ纏ラスシテ原案ヲ存セリ併シ折角ニ人心ヲ安ンセシムル精神
 ニ出テナカラ兩會所ノ營業期限内タルニ拘ラス新取引所ニ許スニ
 米、株式、公債證書ノ取引ヲ以テセハ復タ改良ノ甲斐ナカラン法律
 ハ兩會所ノ營業滿期マテハ依然現行條例ニ據テ米、株式、公債證書
 ノ取引ヲ爲ス可シト言ヒ而シテ一方ニハ新取引所ニモ之ヲ許ス如

キ理窟上ニハ其口實モ有ランナレモ詰マリ新條例ヲ以テ現行條例ヲ潰シ人民ノ困難ヲ顧ミサル者ト謂ハサルヲ得ス故ニ從來兩會所ノ所在地ニ於テハ其營業滿期マテ米、株式、公債證書ノ賣買ニ限り之ヲ兩會所ニ專屬シ而シテ新取引所ニハ此他ノ重要ナル商品ノミ其取引ヲ許スニ非サレハ大ニ人民ノ感觸ヲ損シ政府ノ信用ヲ隕サントス啻ニ然ルノミナラス追迫内地雜居ノ時機ニ迫リタレハ一朝外國人民ノ日本人民ト共ニ日本法律ノ保護ヲ受ルニ至リ斯ノ如キ不親切ナル法律ヲ布カハ政府ノ信用ヲ失スルヤ必セリ已ニ某會所ハ明治二十四年マテ營業期限ヲ有ス向キニ政府カ更ニ延期ヲ許シタルハ新取引所條例ヲ發布スルノ要用ニ氣付サリシナラン兎ニ角ニ政府一旦期限ヲ許シテ保護ヲ約セシ以上ハ其約ヲ踐ミテ信用ヲ

保ツヲ最モ肝要ナリトス本條例ハ餘程公平ニ出テ一般人民ノ利益ヲ謀ルノ精神ニ成リタレハ縱令ヒ少數人民タリモ此法律ノ爲メニ損害ヲ被ラシムル無ランコトヲ希望ス因テ但書以下ヲ「但米及公債證書株式ノ賣買取引ニ限り米商會所及株式取引所所在ノ地ニ於テハ其營業滿期ニ至リ之ヲ施行シ米商會所條例及株式取引所條例ハ其營業滿期ニ至リテ之ヲ廢止スト修正セン此ノ如クシテ三四年間即チ營業滿期ニ至ルマテ米、公債證書并ニ諸株式ノ賣買ヲ兩會所ニ專屬シ而シテ新取引所ノ取引ヲ此他ノ商品ノミニ制限スルモ大ナル不都合ヲ見サラン之ニ反シテ兩會所新取引所共ニ同時ニ之ヲ許サハ法律上ニ得タル營業期限ヲ破リ其利益ノ幾分ヲ殺クノ結果ヲ生ス此ノ如キハ人民ノ不幸タル甚タ大ナリ又政府ハ附則ノ如

キ嚴格ナル精神ヲ表セサルモ地方ノ情況次第ニテ或ハ營業者相ヒ協議シ舊會所ヲ廢シテ新取引所ノ設立ヲ願出ルコト有ラン個ハ是レ政府ノ干涉ニ因リ生スルニ非スシテ人民ヨリ願出ル者ナレハ甚タ結構ノ出來事ナリ前陳ノ如ク政府苟モ人民ノ利害ヲ慮ラハ人民ハ啻ニ困難ヲ感セサルノミナラス大ニ満足ヲ致シ内外人ニ於ル政府ノ信用ヲ厚ウスルハ期シテ待ツ可シ敢テ諸君ノ此修正說ニ左袒セシコトヲ望ム

○二番尾崎三良 十三番ヲ賛成ス其理由ハ已ニ發議者ノ詳悉セル所ノ如キモ尙ホ聊カ之ヲ敷衍センニ元來今回ノ變革ハ少シク急激ニ屬シ商業社會ノ或ル部分ニハ容易ナラサル影響ヲ與フ可シ併シ是モ公同利益ノ爲メトナラハ詮方ナキモ已ニ兩會所ハ營業滿期マテハ今

日ノ儘ニ存セシムルノ精神ナラハ此精神ヲ飽マテ貫徹シ得ルタケニ名實併行セシメサル可ラス政府自ラ其名ヲ與ヘテ其實ヲ殺ク如キ狡猾主義ヲ執ルハ彼ノ公正直實ノ風ヲ養成スト言ヘル立派ナル文面ニ對シテ耻ツ可キノ次第ナラスヤ且ヤ兩會所ノ營業滿期ヲ待タス新取引所ヲシテ直チニ三品ノ賣買ヲ爲シ以テ兩會所ト競争セシメサレハ本案ノ目的ヲ達セサル譯ニモ非サル可ク若シ果シテ競争セシメスンハ改革ノ目的ヲ達スル能ハストナラハ宜シク兩會所ハ新取引所ノ設立ト同時ニ斷然之ヲ廢止スヘキノミ併シ政府ハ何處マテモ營業滿期ヲ待ツトノ精神ナラハ何ソ故サラニ新取引所ニ許スニ三品ノ賣買ヲ以テスルヲ要セン陽ハニ保護ノ旨意ヲ粧ヒ陰カニ毀壞ノ主義ヲ執ル如キハ本官ノ甚タ取ラサル所ナリ今十三番

ノ修正ノ如クスルモ強カチ改革ノ旨意ノ成立セサルニモ有ルマシ
況シテ人民ノ一部分タモ損害ヲ與ヘス且ツ政府ノ信用ヲ害スルノ
恐レ無キヲヤ故ニ此修正ハ實ニ穩當ナル處置ナリト信シ一言以テ
賛成ノ意ヲ表ス

○議長 十三番ノ修正ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十五番 小畑 美稻 十三番ノ修正ハ如何ニモ穩當ナリト信スレハ之ヲ賛
成ス

○五十四番 田中 芳男 問題說ハ至極尤モナレモ本官ハ元ト内閣ノ精神如
何ヲ審ニセサレハ一應内閣委員ノ辯明ヲ煩ハサン全體本案發布後
新取引所ノ所在地ニテハ類似ノ營業ヲ爲サシメサルノ精神ナリヤ
例ヘハ東京府下兜町ノ近傍ニ於テ新取引所ヲ設立セハ從來ノ株式

取引所ハ勢ヒ衰微セサルヲ得ス此等ハ別段ニ單行布告ヲ發シテ取
締ヲ爲スナルヤ

○番一 岩崎 二郎 原案ノ精神ハ決シテ然ラス附則ノ本文ニ本條例ハ
二十年月日ヨリ施行スルヲ示セルモ其但書ハ本ト人民ノ安心ヲ
買フ爲メニ非ス現行法ノ存在スルヲ以テ本案發布後ト雖モ兩條例
ハ其營業滿期マテ之ヲ存持シ其期限ノ盡ルヲ待チテ廢止スルヲ
示セルノミ各位中或ハ本案ハ假ニ人民ニ安心セシメ而シテ狡猾手
段ヲ施シテ陰ニ利益ヲ害スルヤノ感覺ヲ抱カルル如キモ原案ノ旨
意ハ決シテ然ラス聊カ五十四番ニ答ヘ併テ一言ヲ付ス

○六十六番 村田 保 問題說ハ向キニ調査委員席ニ於テ聞キシ所ノ者ナ
ルカ其際議論兩分シテ遂ニ成立セサリシ本官篤ト考フルニ到底原

案ノ旨意ヲ貫徹セシメサルヲ得ス反對論ハ一應理由ナキニ非サレ
 氏新ニ取引所ヲ設立シナカラ米、公債證書、株式ノ賣買ヲ之ニ許サ
 スンハ折角ト新條例ヲ施行スルノ甲斐ナカル可シ何トナレハ現時
 ノ有様ニテハ此三品ノ外ニ廣ク賣買取引ス可キ商品甚々僅少ナレ
 ハ若シ三品ヲ禁スルヤ恰モ頸首ヲ存シテ手足ヲ奪フ如キノ結果ニ
 歸スレハナリ本官ハ更ニ一步ヲ進メテ兩會所ハ本案ノ發布ト共ニ
 廢止スルモ可ナリト思惟ス論者ハ政府カ内外人ノ信用ヲ失ハンコ
 ヲ憂フルモ此事ハ獨リ取引所條例ヲ發スル場合ノミニ限ラス現行
 條例ニ依リテ更ニ米商會所、株式取引所ヲ増設スルモ亦同様ノ結
 果ヲ生セン然ラハ新取引所ノ設立ニ關シテ内外人ノ信用ヲ顧慮ス
 ルハ無用ノ心配ト謂フ可シ今日三品ノ定期賣買ニ於ル弊害ハ已ニ

世人ノ論難スル所ニシテ政府モ亦疾ク此ニ氣付キ其弊害ヲ矯正セ
 ント欲シテ本條例ヲ創定スルナレハ彼ノ三品ノ賣買ヲ新取引所ニ
 屬セシムルハ一日モ早カラシムコトヲ要ス假令ヒ取引所條例ヲ發布シ
 タレハトテ直チニ兩會所ヲ廢止スルニ非ス而シテ人民ハ兩會所ヲ
 脱シテ新取引所ニ來リテ營業スルノ自由アレハ敢テ心配ヲ要セス
 兎モ角モ已ニ發布シナカラ其一部ヲ實施セサル如キ腰ノ弱キ法律
 ナラハ寧ろ廢棄ニ付ス可キノミ本官ハ厭マテ原案ノ旨意ヲ徹底セ
 シメンコトヲ希望スルナリ

○六十五番

清岡
公張

十三番ノ修正ハ最モ要用ナル問題ナリト信ス本官

モ調査委員席ニ在リテ種種討論ヲ盡セシカ到底此修正ノ感覺ハ之
 ヲ捨ル能ハス本官ノ考案モ十三番ト旨意ヲ同ウスレ氏十三番ノ修

正文字ハ少シク長キニ失スルニ似タリ左程ニ長文ヲ用ヒサルモ簡單ニシテ意味ヲ盡スノ文字アラント信スレハ一應十三番ニ協議セントス一見スレハ最モ容易ナル事柄ノ如クナレトモ深ク考フルトモハ附則ノ如何ハ大ニ政府ノ信用ニ關係シ延ヒテ人民ノ財産ニ關係スルカ故ニ其關係ノ及フ所ノ範圍及ヒ輕重ハ十分ニ之ヲ討究スルヲ要ス敢テ慢然ニ決定ス可キニ非サルナリ本官ハ最初ヨリ成ル可ク原案ニ從フコニカメタレトモ此一段ニ至テハ到底明瞭ヲ缺キ疑惑ヲ免レサレハ一應本官ノ所考ヲ陳述セン初メ主務官ニ質問セシニ主務官ハ本案ヲ發スルモ現在兩會所ニ屬スル米、株式、公債證書ハ依然其取引ニ委シ敢テ新取引所ニ競争ノ機會ヲ與フル如キコトヲ爲サスト答辯セリ實ニ弊害アルニモセヨ一旦法律ヲ以テ兩會所ニ公許シ

タルニ今俄カニ其實力ヲ剝キ或ル一部人民ノ生業ヲ害スル如キハ法律ノ爲スマシキ所タリ故ニ調査委員席ニ於テハ附則ハ主務官ノ答辯セシ如キ旨意ナリト信シ原案但書ニ修正ヲ加ヘントセシニ其時ニ至リ主務官ノ答辯ハ全ク誤謬ニ出テ新取引所ニ於テモ同時ニ三品ノ賣買ヲ爲サシムルノ旨意ナルコトヲ悟レリ然ルヲ以テ十三番ノ説ク如ク本條例創定ノ精神ヲ貫徹スルコト能ハス蓋シ原案ノ精神ハ到底附則ノ文面上ヨリ推測スルヲ得サル者ニシテ競争ノ弊患ハ遂ニ免ル可ラス其競争ノ結果タル恰モ三菱會社ト共同運輸會社トノ競争ニ因テ郵船會社ヲ造リ出セル如キニ至ラント思ヘハ此附則ノ關係スル所ハ餘程重大ナリト信ス固ヨリ本條例ヲ發布スル以上ニハ從前ノ仕來上ニ果斷ノ處置ヲ施スヲ要スレトモ實際ニ立入りテ

之ヲ考フルハ政府ハ時ニ忍ハサルヲ得サルノ場合アリ法律ハ此ニ因テ信用ヲ得ヘク然ラスンハ人民ハ迎モ法律ノ下ニ立ツ能ハサラントス又本案ノ發布ハ或ル一部ノ人民ニ多少ノ損失ヲ與フル有リテ其間自ラ苦情ヲ生セン是亦無理ナラヌコナリ然レモ憐憫ノ情ヲ以テ姑息ノ法律ヲ布ク如キハ甚タ好マサル所トス又本案ノ爲メニ損害ヲ被ル人民ノ困苦ヲ喋論セル有レモ其損害ハ將來ニ生スル者ニシテ若シ非常ノ熱心ト勉強トヲ以テセハ幸ニ之ヲ免ル可シト論スルコトヲ得ン故ニ其損害ノ有無ハ明年五月ニ至ルニ非サレハ斷定スル能ハス米、株式、公債證書ノ賣買モ然ク急キテ之ヲ新取引所ニ委セサルモ明年五月ニ至ラハ各地ノ兩會所ハ大抵廢止ニ歸ス可ク又最モ速ニ準備スルモ新取引所ノ開設ハ明年四五月ノ頃ニ及フ可

ケレハ實際新取引所ノ開業ト兩會所ノ廢業トノ間ニハ僅僅ノ時日ヲ隔ツルニ過キスシテ兩會所カ新取引所ノ爲メニ損害ヲ被フルハ事實上之レ無カル可シ然ルニ法律ニ於テ明カニ兩會所ノ營業滿期マテ三品ノ賣買ニ猶豫ヲ與フルト否ラサルトハ其人民ノ感觸果シテ如何ナルヤ若シ原案ノ旨意ヲ實行シ人民ヲシテ政府ノ無慈悲ニ泣カシメハトテ政府ニ幾許ノ利益アルヤ新取引所ノ開業ノ支度整頓スル頃ハ恰モ兩會所ノ營業期限ノ滿了スル時ナレハ附則ノ旨意ハ其實効ヲ得サランノミ現行條例ハ儼然タル一個ノ法律ニシテ兩會所ハ此法律ノ認許ヲ經テ設立シタル者ナルカ故ニ毎戶每町ニ設立シ得ヘキニ非ス是レ主務大臣ノ必要ト認ムル場處ニ非サレハ其設立ヲ許可セサル所以トス斯ク制限ヲ加ヘナカラ新取引所ヲ兜町

蠣殻町ノ近傍ニ設立スルヲ許可シ兩會所ト相并ヒテ米、株式、公債
證書ヲ賣買取引セシメントスル如キハ抑モ法律ノ精神ニ於テ抵觸
ヲ致ス無キ乎全國内ノ兩會所ニシテ其最モ長キ營業期限ヲ有スル
ハ明治二十四年ニマテ迄フ有リ此等ハ其滿期ヲ待ツハ甚々退屈ナ
ランモ其場處ハ酒田ノ如キ佐賀ノ如キ共ニ格別繁華ナル地方ニ非
サレハ個ハ之ヲ忍フニ難カラス東京大坂等商業繁盛ナル土地ノ兩
會所ノ營業期限ハ明年五月ニ盡ルヲ以テ今其滿期ニ至ルマテ修正
ノ旨意ヲ以テ試ミニ此法律ヲ實施シ人民果シテ其實益ヲ知ル有ラ
ハ假令ヒ長キ營業期限ヲ有スル會所ニ出入セシ商人モ彼レヲ捨テ
、取引所ニ聚マリ來ラン本官ハ上來陳述セル主意ヲ以テ修正ヲ加
ヘント欲ス因テ十三番ニ協議ス修正文案ヲ改メテ但米商會所及

株式取引所所在ノ地ニ於テハ米及公債證書、株式ノ賣買取引ニ限り
營業滿期ニ至リ之ヲ施行スト爲サハ如何ン斯ク言ヘハ兩條例ノ
廢止ノ一事ハ別ニ之ヲ明記セサルモ可ナラン十三番ノ修正ハ少シ
ク長文ニ過レハ議場各位ノ同意モ如何ヤト懸念ス若シ十三番ニシ
テ此協議ニ應セハ本官ハ熱心ニ賛成セントス元來此附則ノ精神ハ
左程ニ込入りタル者ニ非ス主務省内閣ニ於テ充分ニ調査討議ヲ經
タリトハ信スレハ附則ノ精神ハ到底修改セサルコトヲ得サルナリ

○四十一番^{安藤則命} 問題說ハ最モ不同意ナリ米商會所、株式取引所ハ已
ニ今日ノ時世ニ適セス本官嘗テ警察ノ職ニ在ルヤ親シク米商會所
ノ弊害ヲ目撃セリ實ニ是レ一種ノ賭博場ニシテ公益安寧ヲ害スル
尤モ甚シク爲メニ警察官ノ處分ヲ煩ハスコト今ニ至リテ絶ヘス此際

幸ニ本條例ヲ發布セハ舊來ノ弊害ヲ一掃シテ商業上ノ便益ヲ増加シ不正ノ賣買取引ヲ取締ムルコトヲ得ントス故ニ一日モ早ク本條例ヲ實施シ一日モ早ク舊會所ヲ廢止センコトヲ企望ス

○六十八番^{三浦安}

本官ハ原案ヲ是認スレハ問題說ニハ同意スル能ハス過刻某議官ノ言ヒシ如ク本官等モ初メハ原案ノ旨意ヲ誤會シ問題說ノ如ク解釋シ去レリ是レ獨リ本官等ノミニ止マラス内閣委員及ヒ主務官モ一時疑惑セシ所ナリ故ニ當時ニ在テハ原案ノ文字其旨意ヲ顯ハスニ不十分ナリトシテ修正ヲ加ヘシモ本官ハ先ツ本案ニ附則ヲ設ケテ他ノ法律ヲ世話スルハ無用ノ事ナリトノ感覺ヲ生セシニ因リ更ニ内閣委員ニ質問シ遂ニ本官等ノ誤會ニ出タリシコトヲ發見シ此ニ於テ一旦加ヘシ修正ヲ取消タリ實ニ原案ノ精神ノ如

ク已ニ會所ノ弊害ヲ認メ之ヲシテ社會ニ存在セシム可ラスト斷定セシ以上ハ何ソ參酌ヲ施スヲ須ヒン若シ情實ニ立入りテ參酌ヲ施サハ公衆ノ利益ノ爲メニセントスル美意ヲ貫クヲ得サラン已ニ調査委員席ニ於テ加ヘシ修正ノ誤會タルヲ知ルカラハ問題說ハ全ク原案ノ趣意ニ反對スル新論旨ニシテ只々無情ナリ苛酷ナリト云フ緩慢主義ニ過キサルノミ本官ハ誤會ヲ覺リシ以來更ニ熟考スルニ到底原案ノ趣意ニ勝ル可キ無ク而シテ其趣意ハ附則ノ文字ヲ待タサルモ明瞭ナリト信セリ然ルニ奇妙ナル參酌論說ヲ持チ來ラハ遂ニ如何ナル趣意トモ分ラヌ曖昧ナル法文ヲ成スニ至ラン故ヲ以テ本官ハ斷行主義ニ出ルニ如カスト考フ但シ現問題ト本官ノ意見トハ素ト主義ヲ異ニシ寬裕主義ト斷行主義トニ分レテ各其主義ヲ固

執スルニ止マレハ最早ヤ論辯ヲ費ササル可シ只終リニ於テ一言ヲ呈セン論者ニシテ若シ寛裕主義ヲ貫カント欲セハ全ク本案ヲ廢棄スルニ如カサルナリ

○十三番加藤弘之 本官ノ修正說ハ幸ニ賛成者ヲ得シカ只今六十八番ヨリ駁撃ヲ被レリ論者ノ說ク如ク調査委員會ニ於テ論說二派ニ分レシモ其以前總員盡ク誤解セシキニ在テハ一モ異論ヲ聞カス各其誤解ノ意義即チ問題說ノ趣旨ヲ是認シタルカ如シ然ルニ今其誤解ヲ覺ルニ至リテ其所說頓ニ變シ原案ハ善良ナリ修正說ハ原案ノ美意ヲ破リテ之ヲ無効ニ歸セシムルト云フハ如何ニモ不可思議ナル變說ト謂フ可シ六十八番ハ調査委員會ニ於テ歐洲ノ政治主義ヲ援キテ少數ノ困苦ハ多數ノ幸福ニ換ヘ難シ多數ノ爲メニスル壓制ハ斷

行セサル可ラスト說ケリ成程歐羅巴ノ舊時ニ在テハ多數ノ利益ノ爲メニハ少數ノ損害ヲ顧ミサルヲ以テ施政立法ノ主義ト爲セシモ文明ノ進歩スルニ隨ヒテ學者政治家ノ議論漸ク一變シ多數者ノ爲メニ少數者ヲ犠牲ニ供スルハ眞理ニ適セス假令ヒ少數者ノ利益ト雖モ尙ホ之ヲ保護セサル可ラスト言フニ至レリ實ニ多數ノ爲メニスル壓制ハ政治ノ主義ナリトシテ毫モ少數者ヲ顧ミスンハ到底少數者ハ頼ム無ラントス又論者ハ米商會所株式取引所ハ天下ノ弊害物タルヲ痛論セリ實ニ弊害物タレハコソ此改革ヲ要スルナリ然レモ業已ニ法律ヲ以テ其設立ヲ許可セル以上ハ營業滿期ヲ待タスシテ斷然ニ廢絶ス可キニ非ス或ハ實際ニ就カハ壓制ノ處置ニ因テ甚シキ損害ヲ被ル無キヤヲ知ラサレモ本官ハ人民ノ受ル利害ヨリモ

寧ロ人民ニ對スル政府ノ信用ヲ墜サンコトヲ懼ル且ヤ外國人民モ日本人民ト共ニ日本法律ノ下ニ立ントスル時機ニ迫レルヲ以テ政府ノ信用ハ一層ニ大切ナリ故ニ多數者ノ爲メニハ少數者ヲ顧ミサル如キハ努メテ注意センコトヲ要ス日本人民ハ從來久シク壓制ニ馴レテ深ク感觸ヲ起ササランモ外國人民ニ至テハ常ニ自由制度ニ浴スルカ故ニ自國ノ制度ニ比ヘテ其壓制ヲ感スル尤モ甚カラン殊ニ兩會所ノ營業滿期モ最早ヤ僅僅タル歲月ニ過キサレハ政府ハ努メテ允當ノ處置ヲ施シテ信用ヲ缺サランコトヲ望ム是レ本官ノ此修正說ヲ提出セル所以ナリ只今六十五番ヨリ修正文ヲ改更スル協議ヲ受タリ如何ニモ本官ノ修正文ハ少ク冗長ニ過ルヲ覺フレハ六十五番ノ協議ニ應シテ之ヲ改メ但米商會所及株式取引所所在ノ地ニ於テハ米及公債證書株式ノ賣買取引ニ限リ其營業滿期ニ至リ之ヲ施行スト爲サントス請フ各位之ヲ領セヨ

○三十六番 岩山 敬義

論者ハ歐洲ノ學說ヲ援キテ親切ニ辯明セリ如何ニモ尤ナル理論ナレモ他ノ一方ヨリ之ヲ考フルニ米商會所株式取引所ニシテ弊害ヲ見サレハ決シテ斯ル改革ヲ要セサレモ已ニ其弊害ノ甚シキヲ認メテ改革ヲ加ヘ廣ク公衆ノ利益ヲ謀ル以上ニハ少數者ノ困苦ハ左程ニ斟酌スルヲ要セサラン若シ今ニシテ踟躕願望シ斷行ノ處置ヲ爲サスンハ却テ一般人民ノ疑惑ヲ惹起スニ至ラン原案ノ如ク議定センコトヲ望ム

○五十八番 渡邊 清

問題說ニ不同意ナリ此事ハ調査委員席ニ於テ大ニ議論アリシカ本官ハ當初ヨリシテ本條例ノ發布ヲ熱心ニ希望セシ

ナリ。儲テ原案ノ精神ハ内閣委員ノ數回ノ辯明ニ因テ益明瞭ナルヲ得シカ已ニ内閣ノ本條例ヲ施行スルニ決意シ本院ノ其大體ヲ可認スル以上ハ兩會所ノ營業滿期ヲ待タス新取引所ニ於テ米、公債證書、株式ヲ賣買スルコトヲ許スルハ人民ノ利害ニ幾許ノ關係アルヤヲ稽查セサル可ラス實ニ人民ノ營業ヲ害スルハ甚タ好マシカラサレトモ本案果シテ其營業ヲ害スルヤ本官ハ實際ニ暗ケレトモ想像スルニ然ク懼ル可キノ損害ヲ及ホス無ラント思惟ス論者ハ口ヲ開ケハ人民人民ト云フモ其人民トハ兩會所ノ株主ヲ謂フナラン成程現株主タル多少者ハ本案ニ利害ノ關係ヲ有センモ其株ハ實際二三商人ノ手中ニ歸シ會所ハ即チ二三商人ノ會所タル有様ナレハ賣買額減少シ株券價格少シク低落スルモ損害ハ左マテ甚シト思ハス只彼ノ仲

買人等カ中間ニ在リテ充分ノ利ヲ獲ル能ハサルニ止マル可シ元來本條例ヲ設クルハ各商品ノ取引ヲ支配シ以テ市價ヲ平準ニシ公正直實ノ風ヲ養成スルニ在リテ謂ハハ資本ノ流通ヲ便利ニシ商業ヲ繁盛ナラシムルニ在リ思フニ本案ハ商業社會ノ一新ト謂フ可キナリ凡ソ如何ナル良法ト雖モ之ヲ實施セン爲メニハ多少人民ノ權利ヲ伸縮スル無キ能ハス即チ少數者ノ損害ハ一國公同ノ利益ニハ換ヘ難シ故ニ商業社會ノ弊風ヲ改良シ善良ナル法律ヲ施行セントスルニハ些少ノ困難ハ顧ミル能ハス米商會所、株式取引所ハ商業社會ノ肺病人ニシテ如何ナル良法ヲ以テ療治セントスルモ得ル能ハス到底全ク取除キ去ルニ非サレハ善良ナル商業社會ヲ造ル能ハス實ニ慨ク可キ次第ナラスヤ此等ハ政府モ深く考察ヲ下セル所ナラン

下付原案ノ附則ニ言ヘル「明治二十年月日ヨリ施行ス」トハ讀テ字ノ如ク斷然ニ實施スルノ覺悟ナリ故ニ但書以下ハ之ヲ削除スルモ可ナリ因テ現問題幸ニ消滅セハ本官或ハ但書削除説ヲ提出スルモ知ル可ラス聊カ反對ノ意見ヲ陳ヘ併セテ修正ノ事ヲ豫言ス

退席

五十七番 長松 幹

○番一岩崎小外二郎 一應各位ニ申陳ヘタキコト有リ各位ノ論スル政府ノ信用ト人民ノ困苦トノ二點ハ深ク熟考ヲ要スルコトナルモ個ハ現行二條例ノ成立ニ就キテ研究セハ自ラ之ヲ明カスコトヲ得ン抑モ新條例ヲ施行スルニ當リ尙ホ舊條例ヲ保護セントスルハ施政ノ主義ニ撞着スルヲ免レス此ニ兩會所成立以來ノ沿革ヲ略述センニ明治五六年マテハ相場所ハ所謂ル自由取引ニシテ一モ之ヲ檢束スル法令

ノ存セサリシカ故ニ路傍ニ立チテ空相場ヲ賭スルニ至レリ是ニ於テ政府ハ之カ取締ヲ爲サスンハ其弊害益々加リ遂ニ風俗ヲ害シ國安ヲ紊ルニ至ランコトヲ懼レ七年ニ至リテ米商會所條例ヲ制定セリ同年ニ於テ株式取引條例ヲ制定セシモ又此理由ニ出タリ元來此ニ法律ノ成立テルハ固ヨリ殖産ヲ勸獎シ國家ノ富力ヲ増サン爲メ特ニ法律ヲ設ケテ保護ヲ加フルノ趣意ニ出ルニ非スシテ彼ノ密賣淫者ヲ驅リテ之ヲ公然ノ遊廓ニ集ムル如ク風俗ヲ害スルノ點ヨリ衆投機者ヲ一ノ狹隘ナル場處ニ聚ムルノ制限主義ニ出シナリ過刻以來各位ハ兩會所條例ハ一般商工業ニ保護ヲ與ヘ殖産興利ヲ獎勵セルト同一ノ趣意ヲ以テ制定シナカラ今俄カニ之ヲ廢止スルハ不都合ナリト論セルモ是レ畢竟兩會所條例ノ成立テル眞意ヲ解セサル

ニ坐スルナラン前陳ノ如ク殖産興利ノ爲メニ法律ノ特例ヲ與ヘテ保護スルニ非ス只施政上其弊害ヲ取締ムル爲メニ之ヲ一所ニ聚集セルコトノ明瞭ナル以上ハ今回新條例ヲ發シテ之ヲ他ニ許スモ決シテ人民ノ權利ヲ害シ政府ノ信用ヲ隕ササルナリ某議官ハ調査委員席ニ於テ會所外ニ於テ米株式等ノ賣買ヲ禁セル單行布告ハ即チ兩會所ヲ保護スル證據タル如ク論シタレモ是レ恐クハ誤解ナラン蓋シ其單行布告トハ十三年第二十一號布告ナランカ此布告ヲ出セシハ條例ニ從ヒ會所内ニ於テ賣買ヲ爲セハ多額ノ證據金ヲ要スルカ故ニ奸商輩ハ之ヲ潜クリテ路傍ニ輸贏ヲ賭スルニ至リ大ニ取締ノ爲メニ設タル法律ノ效能ヲ薄クスルヲ恐レテナリ故ニ此單行布告ヲ視テ取引者ヲ一所ニ集メテ相場所ノ利益ヲ保護スト做セル見解

トハ全ク反對ニ出ツ又新取引所ヲ設ケテ現行兩會所ト並立セシムルハ猶ホ共同運輸會社ヲ設ケテ三菱會社トノ競争ヲ生セシメタルカコトシト論スレモ是亦誤着ノ見解タルヲ免レス新取引所若シ株式組織ニ係ラハ或ハ論者ノ言フ如キ競争ノ弊ヲ生センモ是レ決シテ然ラス一般ノ商人相集リ廣ク商業上ノ取引ヲ營ムニ在レハ彼ノ株式組織ニ係レル兩會所ト競争ヲ生スル無キヤ明白ナリ又某論者ハ累リニ人民ノ信用云云ト論スレモ此事タル果シテ一般人民ノ利害ニ直接ノ關係ヲ及ホス者ナル耶又其政府カ施政上ニ信用ヲ失フト論スルハ果シテ適實ノ理由ナル耶例ヘハ政府カ土地ノ開墾ヲ特許シ其工事ニ着手セシ中途ニ至リテ漫然ニ之ヲ禁停セハ其レコソ政府ノ信用ヲ失フ可シ然レモ現行兩會所條例ハ素ト取締ノ爲メニ

設ケタル法律ナレハ施政上ノ便宜ヨリ更ニ其營業ヲ他ニ許シ兩會所ハ營業滿期ヲ待チテ廢止スルハ決シテ政府ノ信用ニ關係セス寧ロ舊會所ヲ持續スルコソ政府ノ信用ヲ害センノミ殊ニ外國人ノ思想ヲ以テセハ外國ニ於テハ相場會所カ法律ノ下ニ成立テルハ甚タ稀ニシテ多クハ默許ノ有様ナリ唯タ獨乙ニ於テ其一二ノ例ヲ見ルノミ今其區域狹クシテ壟斷ノ弊害甚シキヲ改メ一般商業取引ノ仕組ヲ以テ新取引所ヲ設立スルハ施政ノ最モ宜キヲ得タル者トス外國人若シ此立法ノ精神ヲ覺ル有ラハ却テ信用ヲ我カ政府ニ置ントス是レ實ニ本邦ノ施政上ニ於ル一進歩ナレハナリ內閣ニ於テハ充分ニ詮議ヲ盡シ一時ハ沿革上ヨリ見解ヲ下シテ新條例ノ發布ト共ニ兩會所ヲ廢止ス可シトマテ論シタリシナリ尙ホ此ニ實際ノ點ヨ

リ申陳フ可キ一要件アリ即チ若シ兩會所ノ營業滿期マテ新取引所ニ於テ米、株式、公債證書ノ賣買ヲ實行セシメストセハ折角ニ改良ノ趣意ニ從ヒ新取引所ニ入りテ賣買ヲ爲サントスルモ能ハス爲メニ自カラ新取引所ノ發達ヲ害スルノ恐レ有リ已ニ斯ル傾ムキ有ルコトハ農商務省ノ調査ニ因テ知ル所ナリ加之ナラス論者ノ說ノ如ク兩會所ノ營業滿期ヲ待ツ可シトセハ其殘餘ノ期限ハ僅ニ一年若クハ數月ナルモ會所ノ役員ハ大ニ喜ヒ之ニ反シテ仲買人ハ大ニ不利ヲ感セン何トナレハ孰レニスルモ口錢ノ割合ハ同一ナレトモ新取引所ニ於テ米、株式、公債證書ノ賣買ヲ許サハ廣ク他ノ商品ト共ニ之ヲ取扱フヲ得ヘク利益モ隨テ多ケレハナリ論者若シ實際ノ有様ハ如何ナルモ問題說ノ關係スル所ニ非スト言ハハ復タ已ムヲ得サル

ナリ要スルニ本員ハ各位ノ參考マテニ陳述スルノミ但シ本員ノ主トシテ維持ス可キ原案ノ精神ハ現行兩條例ハ特例ヲ以テ一部人民ト約束セシニ非ス單ニ取締上ヨリ之ヲ設ケタリ而シテ今日ハ社會商人ヲ驅リテ改良ノ新取引所ニ入ラシムルニ在ルノミ然ラハ現在ノ兩會所ニサヘ其營業滿期マテ三品ノ取引ヲ許スニ改良ノ新取引所ニ其取引ヲ許ササルノ理由ハ万万之レ無キヲ信スルナリ

退席

四十六番

大久保一翁

○六十五番 清岡 公張 内閣委員ノ陳述ハ幾ント辯舌ニ任セテ他ノ人ヲ言込ムルニ過キス凡ソ施政ノ事ハ内閣委員ノ陳ル如ク手輕キ者ニ非サルハ素ト明白ニシテ敢テ反駁ヲ要セサレモ若シ眞ニ手輕キ者ナラハ本案ノ如キ商業改良法案ノ出ツ可キニ非ス本官ハ此附則ノ趣

意タル大ニ法律ノ尊嚴ヲ傷リ政府ノ信用ヲ害センコトヲ心配スルナリ内閣委員ハ現行兩條例ハ取締ノ爲メニ設タル者ニシテ保護ノ爲メニ設タルニ非ス假令ヒ幾數箇ヲ設クルモ可ナリ又會所ノ弊害ヲ認メハ斷然廢絶スルモ可ナリ故ニ續續設立ヲ許シテ後日ニ弊害ヲ生スル有ラハ直ニ之ヲ廢止スルモ可ナリト論スレモ個ハ是レ代言者流ノ法庭ニ於ル辯論ト一般ナルノミ又云フ現行兩條例ハ弊害甚シク却テ政府ノ信用ヲ害スルカ故ニ營業滿期ヲ待タス廢止シテ可ナリト此ノ如キハ實地爲シ得ヘキノ事ニ非ス又云フ新取引所ハ株式組織ニ係ラサレハ其株式組織ナル兩會所ト競争ヲ生ス可キニ非スト是レ強辯ノミ内閣委員ハ頻リニ語勢ヲ張リテ陳辯スレモ本官ハ眞面目ノ議論ヲ以テ之ヲ視サレハ少シモ驚カス只其此ノ如キ論

鋒ヲ以テ本問題ヲ挫折セントスルハ本官ノ甚タ好マヌ所ナリ又云
 フ兩會所ノ營業期限間ト雖モ新取引所ヲシテ米、株式、公債證書ノ
 賣買ヲ爲サシメスンハ改良ノ主義ヲ貫ク能ハス即チ新取引所ニ入
 ラントスル者ヲ阻碍スルノ不利ヲ見ルト是レ又先走リタル論ナリ
 內閣委員モ宜ク法律ノ明文ヲ取テ論スルト立法ノ初ニ在テ得失可
 否ヲ論スルトノ區別ニ注意センコトヲ望ム果シテ內閣委員ノ云フ如
 ク本案ノ發布ト共ニ兩會所ヲ廢止セハ如何ン政府ハ兩會所ニ向テ
 損害ノ責ニ任セサルヲ得サラン此ノ如キハ本ト政府ノ此法案ヲ制
 定セシ精神ニ非サレハ此論モ亦是レ代言者流ノ議論タルニ過キサ
 ルノミ本官ハ徹頭徹尾內閣委員ノ辯論ニ反對スルナリ過刻六十八
 番ハ頻リニ自ラ調査委員等ノ誤解ヲ訴ヘリ論者ハ然ク誤解セルヤ

ヲ知ラサレモ本官ハ決シテ誤解セス只タ原案ノ不明瞭ヲ感セシノ
 ミ論者何ヲ證シテ誤解ナリト云フヤ本官等ヲ引キテ誤解ノ仲間ニ
 入レシハ即チ是レ論者ノ誤解ナリ詰マリ調査委員席ニ於テハ議論
 ニ派ニ岐レ而シテ只其一派ノ議論ノ議場ニ現ハレタルニ止マル然
 ルヲ一般ニ誤解ヲ以テ評シ去ルハ其意ヲ得ス却テ説ク政府ハ初メ
 營業期限ヲ許可シ而シテ中コロニ之ヲ廢止セハ人民ノ損害實ニ言
 フ可ラス蓋シ此損害ハ事實上政府ノ賠償スル所ノ者ニ非サルヲ以
 テ一旦許可セシ營業期限ハ當然ニ繼續セシメサル可ラス又某論者
 ハ多數者ノ利害ニ關シテ論辯シタレモ米商會所、株式取引所ハ多數
 人民ヲ害スル如キ結果ヲ生スル者ニ非ス故ニ多數者少數者ノ損益
 利害ハ素ヨリ之ヲ論スルヲ須ヒス何トナレハ兩會所ハ假令ヒ弊害

甚シトスルモ日本全國ノ安寧秩序ヲ紊ル程ノ者ニ非サレハナリ畢
竟爲メニ損失ヲ被フルハ會所内ノ一二人即チ投機者社會ノ少數者
ニ在ルノミ然ラハ則チ人民ノ多數ニ關シテ然ク思想ヲ費スヲ要セ
ス過刻以來陳タル所ハ只是レ理論ノミニ涉リシヲ以テ今聊カ一言
ヲ費スノミ

○議長 討議已ニ盡タリト認ムレハ決ヲ取ン十三番ノ修正ヲ可トス
ル者ハ起立セヨ

起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ十三番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 發議ナキヲ以テ附則ハ可決セリト認メ第二讀會ヲ畢ル明日
例刻ヨリ第三讀會ヲ開カン明日ハ土曜日ナレト要急ノ法案ナレハ

午後尙ホ開會スルモ測リ難シ豫メ爰ニ之ヲ告ク各位散會セヨ

午後第六時四十五分閉場

元老院會議筆記 明治二十年五月七日

禁傍聽

○第五百四十一號議案 取引所 第三讀會

議長 東久世 通禧

出席議員

一番	箕作 麟祥
二番	尾崎 三良
九番	津田 出
十二番	中村 弘毅
十三番	加藤 弘之
十五番	小畑 美稻
十七番	坂本 政均

十八番	榎村 正直
十九番	長谷部辰連
二十一番	神山 郡廉
二十二番	西 周
二十三番	宍戸 璣
二十五番	綿貫 吉直
二十七番	伊丹 重賢
三十番	宮本 小一
三十二番	岡内 重俊
三十四番	原田 一道
三十五番	楫取 素彦

三十六番	岩山 敬義
三十七番	長岡 護美
三十九番	石井 忠亮
四十二番	井田 讓
四十六番	大久保一翁
四十七番	上杉 茂憲
四十八番	細川潤次郎
五十四番	田中 芳男
五十五番	野村 素介
五十六番	中村 正直
五十七番	長松 幹

内閣委員番外一番法制局參事官岩崎小二郎

- 五十八番 渡邊 清
- 六十番 楠本 正隆
- 六十一番 林 友幸
- 六十三番 田邊 太一
- 六十五番 清岡 公張
- 六十六番 村田 保
- 六十八番 三浦 安
- 六十九番 何 禮之
- 七十番 壬生 基修
- 七十一番 久我 通久

午前第十時開場

○議長 本日ハ第五百四十一號議案ノ第三讀會ヲ開ク簡單ナル條條
ハ書記官ニ連帶朗讀セシメン

書記官森山茂 朗讀

取引所條例

第一章 總則

第一條 取引所ハ商業上ノ取引ヲ便利ニシ市價ヲ平準ニシ商業上
公正直實ノ風ヲ養成シ商業上ノ慣習ヲ統一維持シ須要ノ報道ヲ
發作傳播シ及取引所會員ノ間ニ生スル爭論ヲ仲裁和解スルヲ以
テ目的トシ商業上便宜必要ノ地方ニ於テ其地方ノ商人農商務大
臣ノ特許ヲ得テ設立スルモノトス

○議長 發議ナクハ決ヲ取シ本條ニ同意ノ議官ハ起立セヨ

起立者三十八人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ可決ス

書記官 森山茂 朗讀

第二條 取引所ニ於テ賣買取引スヘキ物件ハ重要ノ商品公債證書
證券株式等其他創立員又ハ取引所ノ出願ニ依リ農商務大臣ノ認
可シタルモノニ限ル

第三條 取引所ヲ設立スルニハ東京大阪ニ於テハ三十人以上其他
ノ地方ニ於テハ十五人以上創立員トナリ地方官廳ヲ經テ農商務
大臣ニ願出ヘシ

第四條 取引所ハ其實買取引スヘキ物件ニ就キ便宜之ヲ各部ニ分

チ又ハ數物件ヲ合セテ一部トシ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○五十四番 田中芳男 第三條ニ文字上ノ修正ヲ爲サント欲スレハ一應内

閣委員ニ質問ス其地方官廳ト言ヘルハ從前ハ管轄廳又ハ管廳等ノ
文字ヲ用ヒシモ近來ハ大抵地方廳ト言フカ如シ然ルニ本案ニハ地
方官廳ト爲セシハ別ニ何等ノ趣意ノ存セルヤ

○番一 岩崎小外 番二 岩崎小 起草者ノ用字ノ習慣ニ因テ地方廳地方官廳又ハ管

轄廳ト爲セルニ在リテ別ニ官ノ字ヲ入ル、ヲ必要ト爲セシニハ非ス

○五十四番 田中芳男 然ラハ本官ハ官ノ字ヲ削ルヲ可トス他ノ法律ニテ

ハ官ノ字ナクシテ通用セリ且從前ノ法律ニ管廳ト言ヘルハ管轄ノ
管ノ字ヲ用ヒ此案ノ官職ノ官ノ字ヲ用ヒタルト意義相違セリ第一
條ニモ地方ノ文字アレハ地方ノ二字ヲ用ウルハ可ナルモ官ノ一字

ハ削ルニ如カス因テ此修正ヲ提出ス

○三十六番岩山 敬義 五十四番ヲ賛成ス近來ハ大抵地方廳ト爲シ官ノ字

ヲ用ヒサルニ似タリ

○議長 五十四番ノ發議ハ賛成者一人ノミニシテ定數ニ滿タサレハ消滅ス他ニ發議ナクハ朗讀ノ各條ハ可決ト認メ次ニ移ル

書記官森山 朗讀

第五條 取引所ノ創立ニ係ル費用及之ヲ維持スルニ必要ナル費用ハ會員之ヲ負擔スヘシ其創立ニ係ル費用ヲ支辨スル爲メ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ一時取引所ノ負債ヲ起スコトヲ得
取引所ハ前項ノ費用ヲ補充スルカ爲ニハ各會員ニ賦金ヲ課シ及各賣買取引ニ就キ相當ノ手数料ヲ徵收スルコトヲ得其賦金及手数料ノ割

合ハ役員之ヲ議定シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ手数料ハ之ヲ分配スルヲ得サルモノトス

第六條 農商務大臣ハ取引所ノ賣買法律ニ違反シ或ハ公衆ノ安寧

ヲ妨害スルト認ムルトキハ之ヲ禁止又ハ停止シ其賣買取引ニ關

涉シタル役員會員及仲買人ヲ除名スルノ權ヲ有ス

○四十二番井田 讓 第五條第二項ニ修正ヲ加ヘン其理由ハ原案ノ「其

創立ニ係ル費用ヲ支辨スル爲メ」云云ヲ除キタルヲ以テ取引所ヲ創立スル費用ノ出途ナキニ至レリ故ニ昨日モ朱書第十三條ヲ削リテ會員ノ負擔ヲ輕ムルノ動議出タリ然ル所以ハ會員タル者ハ第五條ノ創立費用ヲ負擔スルニ由リテナリ本官此第五條ヲ熟讀スルニ

創立維持ノ費用ハ會員之ヲ分擔スルモ其領收スル手数料ハ會員之ヲ分配スルヲ得ス然ルニ東京ニ於テ取引所ニ充ル家屋ヲ創立スルニハ大凡ソ千人以上ヲ容ル、ニ足ル可キ者ヲ要スレハ定メテ莫大ノ費用ナラン會員ヲシテ此莫大ノ費用ヲ分擔セシムルトセハ會員ハ其創立ニ踟躕シ十分ニ成立スル能ハサラントス假令此取引所ヲ開設スル熱心ナルモ還償ヲ得ルノ目途ナキニ數十萬金ヲ投シテ創立ニ從事スル者ハ無カルヘシ但シ主務省ハ定メテ創立費用ニ關シ考案アルナランモ法律上之ヲ許サ、ルキハ詮方ナカラシ已ニ過日内閣委員ニ質問セシニ取引所ハ會員ノ有ニ屬スト答ヘタレハ創立費用負擔者ノ所有ト爲ルナラン果シテ然ラハ後來必ス危險ノ性質ニ變センコトヲ心配ス此取引所ハ始終共ニ無形人ニシテ相當ノ手數

料ヲ領收スル者ナレハ其集金ハ何レヘモ動カス能ハサルモ既ニ之ヲ會員ノ有ニ屬スト云ヘハ會員ハ其創立費用ヲ負擔シ隨テ手数料ヲモ擅マニ處置スルヲ得ルコト爲ルナリ故ニ第二項ヲ改メテ取引所ハ前項ノ費用ヲ支償シ又ハ補充スル爲メ云云ト爲サント欲ス此支償ナル文字ハ朱書修正ニ於テ「其創立」云云ノ文字ヲ抹殺シタルニ因リ更ニ創立費用ノ出途ヲ示サン爲メナリ此ノ如クスレハ創立費用ハ手数料ヨリ補充支償スルコト爲リ會員ハ一時出金シテ繰替置クコト爲ルヲ以テ法律上明カニ其支辯ノ方法ヲ立ルカ故ニ會員モ安心シテ出金ヲ爲サントス是レ僅カニ二字ヲ加フルニ止マルモ取引所ニハ大關係ヲ有スルヲ以テ必ス之ヲ加ヘサル可ラス今ヤ第三讀會ニ於テ此說ヲ提出スルハ其成立甚タ覺束ナキモ何分本案ノ

如クニテハ安心スル能ハサレハ諸君ノ賛成ヲ得テ此修正ノ成立セ
ンコト切望スルナリ

○五十四番 田中芳男 第五條ハ第一項ニ於テ「其創立ニ係ル費用」云云ヲ
抹殺シ而シテ第二項ハ「前項ノ費用ヲ補充スル」云云ノミヲ存スル
ヲ以テ取引所ハ創立費用ノ半額又ハ三分一ヲ補充スルニ止マリ其
他ハ悉ク會員ノ負擔ト爲リテ取引所ハ會員ノ私有物ニ歸スルナリ
然レハ壟斷ノ弊ヲ防クト云ヒナカラ却テ之ニ反スル結果ヲ致シ俗
諺ニ所謂ル血ヲ以テ血ヲ洗フニ至ラン因テ四十二番ヲ賛成ス

○三十五番 榊取素彦 賛成

○五十六番 中村正直 賛成

○四十六番 大久保一翁 賛成

○六十六番 村田保 成程只タ補充ノ文字ノミニテハ意味未タ足ラス支
償ノ二字ヲ加フルヲ可トス故ニ本官ハ修正委員ノ一人ナルニ拘ハ
ラス之ヲ賛成ス

○六十八番 三浦安 調査委員席ニ於テ必ス此事ニ氣付カ子ハナラサリ
シニ終ニ其儘ニ經過セリ實ニ補充ト言フノミニテハ債金ヲ償フノ
途アラス只今ノ修正ハ最モ綿密ニシテ復タ遺憾ナケレハ喜テ賛成
ヲ表ス

○六十五番 清岡公張 修正說ハ至極道理アルニ似タルモ少シク疑惑ヲ生
セシカ故ニ四十二番ニ質サン本官初メ調査ノ際ニ於テ補充ノミニ
テハ意義足ラサレハ寧ロ填補ノ文字テモ用ヒテ漸漸ニ創立ノ入費
ヲ支辯スル方法ヲ立テサル可ラストノ考案ヲ有セシモ斯クスルモ

ハ負擔ノ文字ニ障ハルヤヲ思惟シテ終ニ此考案ヲ捨テタリ只今ノ修正說ノ如ク支償ノ文字ヲ加ヘテ支償補充ト爲セハ或ハ補充ノ場合ハ絶テ之レ無キカヲ疑フ即チ創立ノ費用ト維持費用トヲ支償スル爲メトセハ手数料ヨリ之ヲ支償スルカ故ニ實際ニ於テ負擔ノ一事ハ之レ無キト爲リ此法律ハ前後撞着ヲ致サン今若シ割合ヲ定メテ手数料ヲ領收スルキハ維持費用ハ固ヨリ其額内ヨリ支辯スルヲ得ン即チ此等ヲ指シテ補充トモ謂フ可ク然ルキハ創立費用ノ補充ハ名目ノミニシテ實際ハ之レ無ラン而シテ會員ハ手数料ヲ以テ其繰替金ヲ辯償セラルルコトヲ得ルノミ現ニ負擔ノ文字アレハ維持費用ハ補充スルニ止マルトハ言フヲ得サル可キモ修正說ノ如クセハ如何ナル處置ニ出ル者ナルヤ一應ノ答辯ヲ得テ賛成スルト否ト

ヲ決セント欲ス

○四十二番

井田

疑問ハ其理ナキニ非サルモ負擔ノ文字ハ全体ニ差

支ヲ起サル可シト考フ何人ヲ論セス會員タルヲ得ルト云フニ非スシテ農商務省ノ内規ニ於テハ一年ニ十二圓位ヲ諸入費トシテ供出スルヲ得ル者ニ限ルナラン是レ負擔ノ文字アル所以ナリ又創立部分ヨリ之ヲ觀ルモ創立費用トシテ金圓ヲ立替ルハ即チ負擔スルナリ是事タル會員ノ義務ト云フ程ニハ非サルモ取引所ヨリ支償スルマテハ會員ニテ負擔セサル可ラス此點ヨリ之ヲ言ヘハ負擔ノ文字アル爲メニ差支ヲ生スルコトハ無ル可シ本官モ此處ニ氣付カサルニ非サレモ會員タル者ハ每人一年ニ十二圓前後ノ金額ヲ供出シ猶ホ足ラサレハ之ヲ補充シ創立費用モ其支償方途ノ定マルマテハ會

員ノ負擔スル所ト爲シテ前後矛盾ヲ致ス_レ無シト信シ以テ支償ノ文字ヲ用ヒタリ又假令ヒ瑣細ノ疑義ヲ存スト見ルモ此法律ニ關スル解釋ヲ以テ之ヲ明カスヲ得ヘシ然ルニ若シ補充ノ文字ノミニ止メハ大体上ニ於テ取引所ニ大ナル差支ヲ起シ其成立モ甚々覺束ナキニ至ラン本官モ初メ支償ノ文字ハ負擔ノ文字ト撞着ス可キヤト考ヘシモ自ラ解釋ヲ下シテ其事ナシト認メ此修正說ヲ提出シタルナレハ六十五番モ安心シテ賛成セラレン_レヲ請フ

○議長 四十二番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○五十四番田中芳男 本官ノ四十二番ヲ賛成セシハ敢テ漫然ニ賛成セシ

ニ非ス別ニ一己ノ見解アルニ由ルナリ支償トハ例ヘハ一萬圓ノ數額ヲ直チニ正金一萬圓ニテ拂出シ而シテ補充ハ其補填ヲ爲スニ在

リ又或ハ創立委員中ノ有志者ヨリ建物其他ヲ寄贈スル等ノ_レモ之レ有ル可ケレハ創立委員ハ必シモ悉皆正金ヲ以テ供出セサルモ永久一時共ニ維持費用ヲ補充スルヲ得ルナラン此等ハ總テ補充ノ部分ニ入ルナレハ支償ト補充トハ固ヨリ別様ノ意義ヲ有シ決シテ撞着スル_レ無キナリ

○二番尾崎三真 修正說ハ既ニ問題ト爲レリ素ヨリ支償ノ文字ヲ加ヘシ

トテ差支ヲ見サレ_レ之ヲ加ヘサルモ亦缺點ヲ見ス本條ノ補充トハ單ニ不足ヲ補填スルノミトハ思ハレス立替金ヲ補償スル爲メニ手數料ヲ取ル_レナリトハ初メヨリ考察セシ所タリ如何ニモ負擔ト言ヘハ會員各自ニ出金シ而シテ其補償ヲ求ムル能ハサルカトノ說モ出ツ可ケレ_レ必シモ此ノ如ク解釋スルヲ須ヒス創立委員ヨリ一時

其入費ヲ立替ルコト見テ可ナリ然レハ取引所ヲ開設スルマテハ創立委員ニテ入費ヲ負擔スルモ開設セシ後ハ口錢ヲ領收シテ其立替金ヲ補償シ得ル者ニシテ決シテ解釋スルニ難カラス然レハ支償ノ文字ヲ加ヘタリトテ差支ハ見サレ_レ故サ_ラニ原案ヲ修正スルノ要用ナキナリ某議官ハ取引所ニ寄贈スル有志者モ有ラント云ヒシモ此事ニ關係スル人人ハ利益ノ一方ノミニ目ヲ注ク者ナレハ此等徳義上ノ所爲ヲ責メ難シ創立委員ハ只初メ入費ヲ立替へ後日ニ之ヲ補填スル者ト云フノ外ハ望ム可キニ非ス故ニ修正說ニハ同意セサルナリ

○三十番宮本 小一 本官モ二番ト同様ノ感觸ヲ有ス本條ノ第一項ニ「負擔」ト言フハ重キヲ荷フノ意ニシテ其下ニ「負債ヲ起ス」ヲ得「ト言

ヒ而シテ第二項ニ補充スル爲メト言ヘルカ故ニ文章ノ照應其宜キヲ得テ意義分明ナレ_レ負債云云ノ文句ヲ抹殺セハ補充ト照應セス然ルニ本案ノ重キヲ荷ハシメ又之ヲ補充スルト爲セルハ意味少シク重複ニ似タルモ是レ猥リニ手数料ヲ領收セシメサルノ手段ニ出タルナリ若シ會員ニ此入費ヲ負擔セシメサレハ會員ハ立替金ヲ填補スルト利益ヲ收得スルトニ其心ヲ傾ケ隨テ手数料ヲ重クシ一般商人ノ迷惑ヲ致ス可ク然ル_レハ啻ニ取引所創立ノ趣意ニ背クノミナラス會員ヲシテ急ニ立替金ヲ取戻サントスルノ念ヲ起サシメン故ニ支償ノ文字ヲ加ヘサルヲ善シトス

○六十八番三浦 安 二番及ヒ三十番ノ反對說アルニ拘ラス充補ノ文字ノミニテハ分明ヲ缺クヲ以テ支償ノ文字ヲ加ヘ何人ニモ瞭解シ易

○二十七番 伊丹重賢 本官モ問題ヲ賛成ス論者ノ負擔ノ文字ニ差支アリト云フハ本官モ初メハ然ク思ヒシモ猶ホ熟考スレハ其心配ヲ須ヒス取引ノ繁盛ナルニ隨テ手数料ハ漸ク多額ト爲ル可キモ維持ノ費用ハ常ニ絶ルヲ無シ修正説ノ如クシテ差支ヲ見サルナリ

○四十八番 細川潤次郎 本官ハ現問題ニ不同意ヲ表ス其理由ハ區區タル文字ノ當否ニ在ラスシテ大體ノ趣旨ニ關係ス凡ソ事ハ利ヲ興セハ害ヲ招キ常ニ利害ノ相伴フ者ニシテ利ヲ獲テ害ヲ消スル如キハ先ツ爲シ能ハサルトス故ニ本官ハ害ノ在ル所ハ避ク可ラスト考ヘ而シテ利ノ在ル所ハ法律ニ於テ成ル可ク之ヲ助成スルノ意思ヲ以テ現問題ヲ論スルナリ補充ナル文字ノ意義ハ充分ニ填償スル能ハ

サルモ缺欠ヲ生スレハ之ヲ補足スト云フニ在ル可シ故ニ補充トハ甚タ手輕キ文字ニシテ豫メ餘計ノ金額ヲ積ミ置クニ非ス本官ハ只今三十番ノ述ヘラレタルト同感ニテ本案ハ多額ノ手数料ヲ領收セシメサルノ旨意ヲ以テ起草シタル者ト信ス何トナレハ手数料多額ナルハ人人皆賣買取引上ニ於テ之ヲ補償セントシ物品自ラ高價ヲ現ハシ共給者需用者共ニ損害ヲ受ケ隨テ一般商人ニ患害ヲ及ホシ以テ「ブルス」ノ便利トモ爲ラス市價平均ノ資助トモ爲ラサルナリ全体世間ノ商品ニシテ人民ノ需用ニ一日モ缺ク可ラサル者ハ成ル可ク其價直ヲ低クシ人民ヲシテ容易ニ購買スルヲ得セシムルヲ緊要ナリトス故ニ此事ノ爲メニ「ブルス」ヲ設置スト云フモ至當タルニ若シ重キ手数料ヲ領收スルト爲レハ「ブルス」ヲ設置

スル趣意ニ反セン此第五條ノ第二項ハ只第一項ノ費用ヲ補充スト云フニ止メリ斯クスルモ設置後ノ常費ヲ支持スルニ不足ヲ見ル無ル可シ且ヤ手数料ノ額ヲ定ムルニモ農商務大臣ノ認可ヲ取リ「ブルス」ヲシテ私ニ之ヲ定メシメサルハ即チ其額ヲ適當ニ置ンカ爲メニシテ此亦「ブルス」ニモ便利ナリト謂ハサル可ラス其故ハ若シ「ブルス」ニシテ創立及ヒ維持ノ費用ヲ償却スル爲メニ手数料ヲ重クスルキハ取引ノ數額隨テ少ナクシテ利益ヲ得ルニ難カラシ故ニ支償等ノ文字ハ之ヲ加ヘサルヲ善シトス然ルキハ費用ノ出途ハ之ヲ如何ス可キヤト云ハンモ是レ素ヨリ已ムヲ得サルコトニシテ會員ハ徹頭徹尾其費用ヲ負擔スル者ナレハナリ楮テ事此ニ至レハ前述ノ如ク一害ヲ生シ「ブルス」ハ會員ノ私有物ト爲ルナリ思

フニ修正說ノ主意ハ今回ノ改革タル株主專有ノ弊ヲ矯正スルニ在ルニ創立費用ノ負擔ヲ全ク會員ニ歸スルキハバブリック即チ一般共同ノ趣意ニ乏シク若干少數ノ株主トカ社員トカ云ヘル者ノ所有ニ落ツ可キコトヲ憂フルニ在ルモ是レ到底之ヲ拯フコトヲ得サラン何トナレハ此法律ノ全体ノ構成素ト此ノ如クナルヲ以テナリ今若シ之ヲ嫌ハ、初ヨリ創立ニ係ル費用ハ會員之ヲ負擔ス可キコトヲ明掲セサルニ如カス元來修正說ノ主意モ專有ノ弊ヲ救フニ在リ本官モ亦然セント望メ凡全ク此法律ヲ改更スルニ非サレハ此弊ヲ防クコト能ハス故ニ本官ハ已ムヲ得ス只僅カニ補充ノ文字ヲ以テ維持ノ費用ヲ助クルノミニ止ムルコト爲サント欲シテ修正說ニハ同意ヲ表セサルナリ

○一番笑作
麟祥 本官モ現問題ニハ不同意ナリ只今四十八番ヨリ詳ニシテ且巧ミニ其不可ナル所以ヲ辯排シタルモ調査委員諸君ノ之ヲ贊成セルヲ以テ甚々勢力ヲ占ルヲ見ル然ルニ本案第五條ノ第一項ニ於テ創立維持ノ費用ハ會員ノ負擔スル者ナルコトヲ示シ而シテ第十二條ニ會員ハ會員タルノ義務ヲ盡スコトヲ得ル者ニ限ルコトヲ言ヘルハ即チ創立維持ノ費用ヲ負擔スルコトヲ指セルナラン然レハ多少壟斷ノ勢ヲ成スハ數ノ免レサル所ナリ又既ニ會員ト爲リタル以上ハ必ス費用ヲ負擔セサル可ラス然ルヲ若シ手数料ヲ以テ悉皆支償スルコト爲スハ自ラ手数料ノ金額ヲ増シ一般商人ニ不便ヲ與フルヤ必セリ尙ホ此他ニ不都合ナルハ支償又ハ補充ト爲スハ甚々不定ノ有様ト爲リトチラヘナリ凡會員ノ都合好キ方ニ從フナルヘシ

然レハ創立費用ハ問題説ノ如クシテ差支ナキモ會員ハ終ニ其義務ヲ盡サスシテ一向ヲ手数料ニノミ依頼スルニ至ラン故ニ寧口原案ノ如ク補充ニ止ムルヲ以テ却テ立草ノ精神ヲ貫徹シ得ヘシト信ス此他ハ同感ナル議官ノ論辯ニ讓リ只聊カ現修正ノ原案ノ意旨ニ反スルコトヲ一言ス

○五十八番渡邊
清 本官ニモ問題ニハ左袒セス若シ支償スト言ヘハ創立費用ハ一時ノ立替ト看做ス可キナリ然ルニ創立後數十年ヲ經テ加入スル會員モ之レ有ランニ最初創立費用ヲ負擔セシ會員ニ對シテ既ニ其立替ノ金額ヲ支償シタル後ナレハ固ヨリ維持費用ノ供出ニ任スルノミナルモ取引所ノ建物ハ會員ノ共有財産ト爲ス可シトセハ創立費用支償ノ以前ニ加入セシ會員ト其以後ニ加入スル會員

トハ大ニ權利ニ厚薄ヲ生セシメン支償ノ後ニ加入セル會員ノ創立費用ヲ負擔セサルハ已ムヲ得ストスルモ是ノ如キハ會員取扱上ノ精神ニ違ハンコヲ恐ル故ニ支償ノ文字ヲ加ヘサルヲ可トス又熟考スルニ創立費用ハ創立委員其他創立ニ關係セル者ノミニ負擔セシム可キニ非ス別段ノ申合ヲ以テ其以後ニ加入スル者ニモ創立費用ノ償却ニ任セシムル方法ヲ立ツヘキナリ

○四十二番井田讓 反對者ノ論旨ハ誠ニ深切ナルモ大体上ニ於テ或ハ本案ノ組織ヲ誤解セルニ似タリ其誤解セリトノ證據ハ取引所ハ到底會員ノ私有物ト爲ルハ致シ方ナシト放任シナカラ只其手数料ノ重キヲ致サンコトヲ憂フト云フハ實ニ氣ノ毒ナル次第ナリ元來此法案ニ於テハ取引所ナル無形人ヲシテ公然ニ負債ヲ起スヲ得セシムル

ノ精神ナルニ會員カ創立費用ヲ負擔スル以上ハ取引所ハ其私有物ナリト云フカ如キハ是レ誤解ニ非スシテ何ソヤ内閣ノ旨意ハ會員ヲシテ重モニ後來ノ維持ヲ負擔セシメ而シテ創立建築ノ費用ハ取引所之ヲ負擔シ以テ取引所ヲ會員ノ私有ト爲サ、ルニ存ス然ルニ調査委員ニ於テ「其創立ニ係ル費用」云云以下ヲ削除セシハ頗ル殘念ナレト他別ニ削ラサル可ラサルノ理由アルナラン且各議官モ異論ナケレハ今ニ及ヒテ之ヲ原案ニ復スルハ甚タ難キコト信シ以テ支償ノ文字ヲ加ヘタルナリ某議官ハ支償ノ文字ヲ加フル爲メニ手数料ノ重キヲ致サンコトヲ心配スルモ此等ノ心配ハ恐ラク無用ナラシ創立者ハ畢竟自ラ其費用ノ負擔ニ任スル程ノ熱中者ナレハ決シテ猥リニ手数料ヲ高クスル如キ氣遣イハ無カルヘク好シヤ之ヲ高

クセント欲スルモ農商務大臣ハ相當ト認ムルヨリ外ハ之ヲ許サ、
 ラン六十一番議官ノ言ハ分明ニ聽取リ難カリシモ分配セサル金圓
 ハ會員ノ利益ト爲ルト云ヒシニ似タルモ其ノ分配セサル金圓ハ即
 チ支償ニ用フルナリ縱令ヒ或ル論者ノ云ヘル如ク創立費用ヲ全ク
 會員ニ負擔セシメ取引所ヲ會員ノ私有ト爲サシムルハ彼レ親カラ取
 引ニ關係セス只タ他人ノ取引ヲ傍觀スルノミナレハ彼ニ於テ何ソ
 益セン豈ニ愚カニモ斯ル場所へ出金スル者アラシヤ其既ニ出金ス
 ル以上ハ返償ヲ求メサルヲ得ヌ又タ支償ノ文字ヲ掲ケサルモ自ラ
 返償ノ目途ナキニ非スト云フノ論者アルモ是レ僥倖ノ出來事ニシ
 テ初ヨリ期待ス可キニ非ス然レハ會員ノ負擔セシ金圓ハ必ス支償
 ノ方途ヲ與ヘサル可ラス手数料ヨリ貯蓄セル金圓ハ何事ニ用フル

ヤ無形人ナル取引所カ此金圓ヲ匣ノ内ニ藏メ置クヲモ爲シ能ハサ
 ラン創立費用ヲ會員ノミニ負擔セシメ而シテ手数料ハ之ヲ減少シ
 其ノ手数料ノ剩餘ハ多分ニ貯蓄スルト云フハ眞ニ奇怪ナル組織ナ
 ラシヤ會員ニシテ創立費用ヲ負擔スルハ後來相當ナル償却ノ方途
 アルヲ樂シミトスルカ故ニ重荷ヲ負フヲ厭ハサルナリ反對論者ノ
 云フ如ク創立者ニ創立費用ヲ負擔セシムルハ終ニ其私有ニ歸ス
 ルモ已ムヲ得ストセハ折角ニ商業ヲ活潑ナラシムル爲メニ設クル
 新條例モ従前ノ米商會所條例株式取引所條例ト同一ノ結果ニ陷ル
 可キヲ信ス是レ政府ノ本條例ヲ布キテ壟斷ノ弊害ヲ防カントスル
 盛意ニ反ス故ニ諸君ハ反對者ノ論說ニ惑ハス取引所ヲ設立スルニ
 ハ創立委員之カ費用ヲ負擔スルモ其支償スル方途ヲ備ヘ以テ壟斷

者ノ迹ヲ絶チ取引所ヲ完善ノ者ト爲サントスル意旨ヲ以テ本官ノ修正説ヲ賛成セラレシコトヲ希望ス

○六十五番清岡公張 先キニ一番ハ調査委員モ競テ問題ヲ賛成セリト云ヘ此調査委員中二番ト本官ナトハ肯テ賛成セサルヲ以テ今其理由ヲ陳述セン四十二番ノ修正説ヲ提出セラレシ心配ハ一應道理ナルモ先刻四十二番ヨリ本官ノ質問ニ答ヘシ所ト各議官ノ説ケル所トヲ参考スルニ終ニ支償ノ文字ヲ加ヘルコトニハ同意スル能ハス若シ之ヲ加フルルハ本案第五條ノ精神ハ殆ント消滅スルニ至ル可シ畢竟手數料ハ補充ノ用ニ供セハ足ラン其金圓ノ使用マテヲ心配スルハ餘計ノ事ナルノミ

退席

三十九番

石井 忠亮

○外番一番岩崎小 問題ニ關シ一應申述ヘキコト有リ調査委員席ニ於テ負債ヲ起スノ一事ヲ削除スル時ニ方リ本員モ敢テ維持説ヲ唱ヘス之ヲ削除スルモ意義ハ明瞭ナリト認メシカ只今ノ紛論ハ其削除ヨリ起レルヲ以テ一言セサルヲ得サルニ立到リタリ抑モ何故ニ本員ハ其削除ニ反對セスシテ同意セシヤト云フニ本條例ハ大凡ノ要領ヲ示シタル迄ニテ各條共ニ細目ニ涉ラス即チ負債ヲ起スハ會員負擔ノ細目トモ稱ス可キ者ナレハ之レ無クモ可ナリト爲セシナリ然レハ何故ニ負擔ト言フノミニテ明瞭ナルヤト云ヘハ新取引所ハ殘念ナカラモ府民ノ共有物ト云フマテニハ至ラス其創立ハ會員ニ委スルモ幾分カレバブリック即チ共同ノ資格ヲ具フル者ナレハ何人タリ此ニ來リテ賣買取引スルヲ得ルコト爲シ苟モ人權ヲ有ス

ル府民ナレハ其所有者タルコトヲ得ヘクシテ一般ノ共同物即チ歐米諸國ニ行ハル、「ブールス」ト相去ルコト其間一髪ノミ將來ハ兎モ角モ先ツ今日ハ此等ノ品位ノ取引所ヲ立ツルノ目的ナリ然レハ新取引所ハ此資格ヲ有スル無形人ニシテ此無形人ノ費用ハ縱令ヒ第五條ノ明文ナキモ其組立ニ任スル會員ノ負擔ス可キハ論ヲ俟タス故ニ會員ノ此取引所ニ於テ取引ヲ爲スノ利益ニ對シテ當然ニ其費用ヲ負擔スル者ト爲セシナリ仲買人ハ他ノ委託ヲ受ル者ナルモ矢張り會員内ノ一部ナリ然レハ手数料ヲ收メサルヲ本意ト爲スモ若シ然スルキハ會員ハ巨額ノ費用ヲ負擔セサル可ラサルカ故ニ手数料ノミハ收メシムルコト定メリ故ヲ以テ若シ或ハ會員ノ取引上ノ利益ノミヲ以テ維持スルコトヲ得ハ手数料ヲ收メシメサルコトモ有ラン

トス且此取引所ハ苟モ商業ノ斯世ニ行ハル、限りハ必要闕ク可ラサル者ナレハ其創立費用ハ一時政府ヨリ無利息永年賦等ノ法ヲ以テ之ヲ借用シ年年其幾分カヲ償納スルモ可ナラン然レハ負擔ト云フモ一時ニ負擔セヨト云フニ非ス一旦ハ負債ヲ起スモ幾十年間ニ漸漸還償スレハ足レルナリ又單ニ補充ト言フノミニテハ出金ヲ取戻スコト能ハスト云フノ理ナケレハ負債ヲ起スノ一事ヲ削除セルモ差支ヘサルナリ去リ乍ラ支償ノ文字ナケレハ分明ナラストセハ之ヲ入ル、モ亦可ナリ然レモ四十二番議官ノ發議ハ削除セシコトヲ心配セラル、ニ出ダレハ本員ハ一言シテ其疑點ヲ解キ去ント欲スルナリ

○六十六番保村田

本官ハ四十二番ヲ賛成ス其之ヲ賛成スルハ原案ノ

旨意ヲ貫カント欲スルニ由ルナリ若シ支償ノ文字ヲ加ヘサルハ四十二番ノ心配スル如ク創立者ト爲ルモノ無キハ明白ナリ故ニ調査委員席ニ於テモ前項ノ負債ヲ起ス一件ヲ削除スルニ際シ末項ニ支辯等ノ文字ヲ入ル可シトノ議モ出タリシ今補充ノ下ニ支償ノ文字ヲ加ヘテコソ始メテ原案ノ旨意ヲ全フスルヲ得ヘシ反對者ハ補充ノ文字ニ支償ノ意ヲ含メリト云フモ補充トハ到底其時ノ不足ヲ補填スルニ止マリ創立費用マテヲモ償却スルノ義ヲ有セス然ルニ原案ノ旨意ハ假令ヒ負債ヲ起スモ創立費用ハ返償ヲ得セシムルニ在リ思フニ會員タル者ハ一時創立費用ヲ負擔スルモ後來其出金ヲ取戻スヲ得ルヲ以テ一時出金ヲ爲スヲ肯ンス可シト雖モ否ラサレハ恐クハ出金ヲ爲ス者ナカル可シ故ニ本官ハ支償ノ文字ヲ加

フルヲ可トスルモ反對者甚タ多ケレハ或ハ問題ノ成立セザランヲ憂フ若シ支償ノ文字ヲ加ヘサルヲ決セハ必ス原案ニ復セサル可ラス又タ朱書修正ノ儘ニ据置ント要セハ宜シク支償ノ文字ヲ加ヘテ明カニ創立費用ヲ返償スルヲ示スヘク補充ノ中ニ支償ノ意ヲ含ムト云フハ只是レ推測ニ過キスシテ法律上必ス明文ナカル可ラス故ニ若シ問題成立セス而シテ原案ニ復スルノ動議起ラハ本官復タ之ヲ賛成セントス

○四十二番 井田讓 本官ハ

○議長 第三讀會ニハ二回ノ發議ニ止マル即チ修正ヲ提出スル時ニ一回ト其問題ト爲リシ後ニ一回トノ發議ヲ得ルノミ故ニ四十二番ハ最早發議スル能ハス

○六十六番^{村田} 三回マテハ發議シ得ルト思ヘリ

○議長 否ナ二回ニ止マル但シ前意ヲ補フナラハ特別ナリ

○議長 四十二番發議ノ決ヲ取ラン之ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者 十二人

○議長 少數ニ付キ四十二番ノ修正說ハ消滅ス

○六十八番^{三浦安} 前問題タル第五條第二項ニ支償ノ文字ヲ入ル、ノ

說ハ第一項ノ「支辯スル爲メ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ」云云ヲ削除セルヨリ起リ段段議論ヲ經タリシモ終ニ成立セサリシカ若シ此ニ支償ノ文字ヲ入レサルト爲レハ前項ノ末文ヲ削除シタルトニ不都合ヲ生ス元來原案ハ每條只タ大体ヲ示スニ止マレルニ第五條第一項ノミ獨リ細密ニ涉リテ總体ト反スルカ故ニ調査委員席ニ於テ

モ之ヲ削除センコトヲ協議セシニ内閣委員モ強テ抗辯セス主務省官吏モ事柄ニ差支ヲ生セスト云ヒシヲ以テ之ヲ削除シタリシナリ然レモ追迫ノ議論ニ因テ考察スレハ此削除ヨリシテ法律上會員ノ負擔ヲ重クシ其支償ノ道ヲ絶テル如キノ嫌ヒヲ生シタル以上ハ少シク細密ニ過ルモ寧ロ原案ノ如クセハ何人モ明カニ解スルコトヲ得ン俎テ取引所ノ未タ設置セサルノ日ニ起セル負債ハ會員ノ擔任スル所ナルモ既ニ設置セルノ後ハ隨テ取引所ノ負債ト爲ルナレハ取引所自ラ之ヲ返償セサル可ラス即チ農商務大臣ノ認可ヲ受ル以上ハ負債ヲ起シテ創立ノ費用ヲ償却スルコトヲ得ルナリ取引所既ニ自ラ負債ヲ償却セサルコトヲ得サルモハ手数料ノ額内ヨリモ之ヲ補充スルハ當然ナリ負債ヲ起スノ一件ヲ削除シタルハ別ニ深意アリテ然

セルニ非ス之ヲ削除スルモ事實上同一ナリト爲スニ在リシモ既ニ前陳ノ如キ嫌ヒヲ生スルノ不都合アルカ故ニ第五條ハ一項二項共ニ原案ニ復セント欲ス但シ徵ノ字ヲ領ノ字ニ改メシノミハ朱書修正ノ如クセン因テ原案ニ回復スル修正説ヲ提出シ並ニ調査委員席ニ於テ削除シタルノ不行届ヲ謝ス

○四十二番 井田 議 六十八番ヲ賛成ス因テ一應其理由ヲ陳セン元來本官ハ此第一項ノ末文ヲ削除スルコトヲ不是ト視タルモ勢ヒ挽ク可ラサルヲ思ヒ已ムヲ得ス支償ノ文字ヲ加ヘント試ミシカ不幸ニモ少數ニシテ消滅シタリ然ルニ六十八番ノ説ノ如ク原案ニ復スルコトヲ得ハ却テ本官ノ動議ノ成立セサリシコトヲ喜ハントス元來此法案ノ精神ハ番外モ創立費用ハ政府又ハ其他ヨリ百年五十年ノ永年賦等

ヲ以テ負債ヲ起スヲ得セシムルニ在ルコトヲ明言セルカ如ク原案既ニ此良法ヲ具フルニ却テ創立費用ヲ會員ノ負擔ト爲シ以テ終ニ壘斷ノ弊ヲ生セシムルハ遺憾ナラスヤ本官ハ只今ノ修正説ノ成立スルヲ得ハ自己ノ修正説ノ消滅セシヲ幸トスルノ精神ヲ以テ賛成ヲ表ス

○七十番 壬生 基修 原案ニ復スル動議ハ四十二番モ明瞭ニ述ラレタル如ク甚タ尤モナリト認ムレハ之ヲ賛成ス

○四十六番 大久保 一翁 賛成

○三十五番 楫取 素彦 賛成

○四十八番 細川 潤 次郎 賛成

○議長 六十八番ノ提出説ハ定數ノ賛成者ヲ得タレハ問題ト爲ス

○二番尾崎 第五條第二項ニ支償ノ文字ヲ加フル修正説成立セル故ニ更ニ第一項ニ遡リ原案ニ復スルノ修正説出タルモ本官ハ之ニ同意セス其故ハ原案ノ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ負債ヲ起スヲ得ルト言ヘルハ甚タ疑ヒ有ル事柄ニシテ農商務大臣カ取引所ニ負債ヲ起サシムルニハ郵船會社ノ負債券ニ於ル如ク政府ニ於テ之ヲ保證スルヤ否ヤ明カナラス元來取引所ノ負債ヲ起スニハ其責任ノ何如ヲ明示セサル可カラサルニ此等ノ事項ヲ掲ケサルヲ以テ甚タ不揃ナル法文ト認メテ之ヲ削除シタルナリ儲テ之ヲ削除スルモハ取引所ノ創立費用ハ素ヨリ會員ノ負擔ニ歸シテ取引所ノ負擔ニ非サルハ明白ニシテ是レ本ト至當ノ處置ナレハ一向ニ差支ヲ見ス原案ノ如クシテハ何分ニモ其區域ノ在ル所明瞭ナラス旁々以テ朱書ノ如ク

ニ決定センコトヲ要ス

○一番箕作麟祥

現問題ニ關シ質問セント欲スルモ生憎ニ發議者ハ其座席ニ在ラス併シ他ノ調査委員ニテモ可ナレハ必シモ發議者ノ答辯ヲ望マス儲テ第五條ノ「負債」云々ヲ削除セシ趣意ハ何如ナルヤヲ知ラサレモ元來取引所ハ一箇ノ無形人ニシテ會社ニ似タル者ナレハ其負債ハ尙ホ鐵道會社ノ負債ヲ鐵道會社ノ責任ニ置ク如キ者ナラン然ルモハ取引所ヲ無形人ト看做シ有形人ト同様ニ權利ヲ有シ義務ヲ負フヲ得テ財産ヲ所有シ品物ヲ購買シ又之ヲ抵當ト爲スヲ得ルト云フナラン將來民法ヲ制定スル以上ハ無形人ノ性質モ定ル可ケレト現今ニテハ此取引所ヲ無形人ト看做サ、ルヨリシテ之ヲ削除シタルヤ又ハ他ノ理由アルヤ第二項ノ賦金ヲ削除セシハ至當

ナリト思フモ其理由ハ何如ン前ニ負擔維持ノ事ヲ示セル故ニ賦金ヲ課スルニ及ハストシテ削除シタルヤ是レ必ス理由アランモ發議者ノ說ニ依レハ朱書ノ徵ノ字ヲ除クノ外ハ悉皆原案ニ復スト云フ然ラハ此賦金モ原案ニ復スルヤ其削除ノ理由ハ前キニ調査委員ヨリ辯明セラレタルモ其單簡ナリシト日數ノ經タル爲メニ之ヲ記憶セス只今發議者幸ニ座席ニ着レタレハ一應答辯センコトヲ望ム

○議長 午時ヲ過タレハ一旦散會シ午餐ノ後ニ開會セン今日ハ午後休暇ナルモ本案ハ至急ノ議定ヲ要スレハ休暇ニ拘ラス開會ス又今日ハ出席人員少數ナレハ退席アリテ三分一ヨリ減シ爲メニ開會ニ差支ヲ生セシムル無キコトヲ望ム

午後零時十分閉場

午後第一時開場

退席	九番	津田	出
同	五十五番	野村	素介
同	六十六番	村田	保
同	六十九番	何	禮之

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○六十八番^{三浦} 午前ニ於ル一番ノ質問ニ答ヘン其質問タル最初第一項ノ「其創立」云云ヲ抹銷セシハ無形人タルヲ嫌フニ因ル歟又第二項ノ「賦金ヲ課シ」ヲ削除セシ理由ハ如何ト云フニ在リ今先ツ調査委員席ニ於テ調査シタル手續ヲ陳ンニ調査委員モ新設ノ取引所

ハ果シテ無形人ノ組織ナルヤ否ヤノ疑議ヲ生シタリシモ主務官吏ノ辯明ニ依リ遂ニ無形人ナリト云フニ歸着セリ因テ創立費用ヲ支辯スル爲メニ負債ヲ起ス等ハ會員ノ詮議次第ニテ自由ニ之ヲ處置セシム可ク法律ハ此ノ如キ細目ヲ指示スルヲ須ヒス約言スレハ會員ノ意度ニ任セ法律ノ干涉ス可キニ非ストノ議決ニ因テ第一項ノ末文ヲ抹銷セシナリ然ルニ只今議場ノ景況ヲ察スルニ負債ヲ起スコトヲ許セハ無形人ナルモ之ヲ削レハ無形人タラスト云フニ似タリ本官ハ淺學ニシテ深ク西洋各國ノ民法ナトヲ講究セス只僅カニ下付民法ノ調査ニ從事セシ以來其性質ノ一端ヲ聞ケルノミ故ニ無形人タレハ何程ノ區域ニ涉ルヤ或ハ佛蘭西ニ於テ稱スル無形人ト獨逸又ハ英吉利ニ於テ稱スル無形人トニ異同アルヤモ解スル能ハス

我國ニ於テハ未タ民法ヲ公布セサレハ所謂ル無形人ナル者ハ無カル可シ然レモ本案ノ如キ法律ヲ以テ組織スル取引所ナレハ自然ニ歐洲各國ノ既成法律ニ於ル無形人ニ相當スト云フニ過キサラン故ニ此取引所ヲ無形人ト看做スモ然ク看做サ、ルモ其解釋ハ自由ナリトス午餐後ノ休憩中ニ先輩議官ニ詢問セシニ幸ニ四十八番ハ商法ノ編纂ニ任セシヲ以テ詳細ニ無形人ノ性質ヲ說示セラレタリ其言ニ依レハ修正案ノ如クスルモ矢張り無形人ト爲ラス取引所カ農商務大臣ノ認可ヲ受ケテ負債ヲ起スハ只一回ニ限ルノミ是レ特別ノ處置ナリ若シ普通ノ無形人ナラハ幾回モ負債ヲ起シ且ツ財産ヲ所有スルコトヲ得ヘシ故ニ本條ノ場合ニ於テハ原案ヲ以テスルモ修正案ヲ以テスルモ共ニ決シテ無形人ト看做スヘキニ非スト之ヲ要

スルニ創立委員カ或ハ此起債ニ因テ特別ノ權力ヲ占ル如キコ有ラ
ハ折角ト株式組織ニ生スル壟斷ノ弊害ヲ一洗セン爲メニ創立スル
取引所ナルニ復タ其様ナルコアリテハ深ク憂慮スヘシトシテ然ク
抹銷ニ付セシナリ又其「各會員ニ賦金ヲ課シ」ヲ削除セシハ此事自
ラ前項ノ「會員之ヲ負擔スヘシ」ト言ヘル中ニ包含スト云フニ在リ
シ只今ハ第三讀會ニシテ發議者スラ二回ノ發言ヲ爲スヲ得ルニ止
マレハ簡單ニ原案ニ復スル說ヲ提出セシナレトモ若シ會員ニ賦金ヲ
課スルコハ無用ナリトセハ賛成諸君ノ同意ヲ得テ此事ノミハ削除
スルモ可ナラン是レ前項ノ如ク意義ニ關係セサレハナリ

○一番笑作
麟祥

發議者ノ答辯ヲ得テ抹銷ノ理由ヲ領會ス然レトモ本官ハ
現問題ニ同意スル能ハス最初一考セシ時ニハ現問題ノ如クシテ可

ナリト思惟セシモ爾後再考スルニヤハリ調査委員ノ修正案ヲ妥當
ナリトス無形人ノ解釋ニ關シ發議者其性質ノ何タルヲ知ラス又英
佛獨等ノ各國ニ於テ其組織ヲ異ニスルヤ否ヤヲ知ラスト云フモ其
言フ所ヲ聞ケハ分明ニ之ヲ知レルナリ即チ本官モ無形人トハ發議
者ノ解釋セル如キ者ナリト信ス俸テ初メ「其創立ニ係ル費用」云云
以下ヲ抹銷セシハ無形人ノ觀ヲ呈スルヲ嫌フ爲メニ非スシテ其細
目ニマテ立入ルハ他ノ條項ト權衡ヲ得サル爲メナリト云ヒ又某議
官ノ解説ヲ引キテ此四十餘字ノ文句ヲ存スルトモ無形人ニ非スト解
釋スルヲ得ヘシト云ヘルモ畢竟各己ノ見解次第ニテ何様ニモ解釋
スルコヲ得ヘケレトモ本官ハ本官ノ見解ヲ以テスレハ「一時」ノ文字
アレハトテ無形人ニ非ストハ解釋セス何處マテモ六十八番ノ最初

ニ見解ヲ下セシ如ク無形人ナリト看做スナリ成程此「一時」ノ文字ハ創立費用ノ爲メニ一時起債スルニハ相違ナケレト一時ト云フニハ定マレル界限アラズ即チ其一時カ一年ニ亘ルヤラ五年十年ニ及フヤラモ知ル可ラス此年月間ニ取引所カ負債ヲ起ストセハ類似的ノ無形人ヲ構成スルニ非スヤ眞正的ノ無形人ハ永久ノ組織體ニシテ國モ會社モ同シク無形人ナリ國ハ先ツ不死不滅ノ者ナレト會社ノ如キハ其性命ニ指定ノ期限アリテ永遠無窮ニ生存スル者ニ非ス然ルモ其無形人タルコハ法律ノ認識スル所トス故ニ假令ヒ一時タリト負債ヲ起ストヲ得レハ財産モ所有スルコヲ得ルナリ今日我國ノ法律上ニハ無形人ナル文字ヲ明掲セサルモ學生判官代言師等ハ皆現ニ此語ヲ唱ヘリ左レハ新設ノ取引所ハ今日ノ米商會所株式

取引所ト同シク無形人ナリヤ否ヤノ疑問起ルニ當リタトヘ一時ナリト起債スルコヲ得レハ是レ無形人ナリト看做スニ至ルハ正當ノ解釋ナルヘシ故ヲ以テ此末文ヲ存スルトハ無形人タルニ嫌ハシケレハ現問題ニハ賛成セサルナリ本官ハ第一讀會ニ陳辯シ及ヒ第二讀會ニモ朱書第十三條ヲ削除スル動議ニ左袒セシ如ク今回ノ改正ハ株式組織ノ壟斷ヲ防クカ大眼目ナレハ若シ取引所ヲシテ無形人タラシムルヤ隨テ壟斷主義ヲ成シ今日ノ米商會所株式取引所ト擇フ無キニ至リ詰リ一ノ患害ヲ除キテ一ノ患害ヲ興サンノミ新設ノ取引所ニシテ取引所ノ名義ヲ以テ財産ヲ所有シ且ツ權利ヲ行ヒ義務ヲ負ヒ會員ニモ其身元ニ制限ヲ立ルナレハ勢ヒ必ス若干數ナル商人ノ手中ニ利益ヲ握ルコト爲リテ毫モ此法律ヲ以テ改正ヲ加